

平成27年度
県民の体力・スポーツに関する調査
結果報告書

平成28年 2 月

神奈川県立体育センター

信じよう。スポーツの力を。



平成27年度
県民の体力・スポーツに関する調査
結果報告書

平成28年2月

神奈川県立体育センター

はじめに

全国有数の速さで超高齢化社会が進展する神奈川県では、健康寿命を伸ばし高齢になっても生き生きと健康に暮らせる社会の実現のため、健康寿命日本一を目指し「未病を治す」取組みを進めています。

運動やスポーツは、まさに体力の向上や健康の維持、生活習慣病の予防、爽快感・達成感・ストレスの発散・他者との連帯感等の精神的充足など、心身の健康の保持増進に大きな効果があり、生活に生きがいや潤いをもたらしてくれます。そこで県民の皆さんがよりよい環境で運動やスポーツに関わることができるような社会を実現することが超高齢化への対応として求められています。

本県では「スポーツのあるまち・くらしづくり」を基本理念として、県民の皆さんが、いつでも、どこでも、だれでも、いつまでも、運動やスポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会の実現に向け、神奈川県スポーツ振興指針「アクティブかながわ・スポーツビジョン」を策定しました。この指針では生涯を通じたスポーツ活動の推進（アクションプログラム）とスポーツ活動を広げる環境づくりの推進（サポートプログラム）の2本柱を掲げ、さまざまな形で運動やスポーツを楽しんでいただき、健康で明るく豊かなスポーツライフを送っていただくためのライフステージに応じた取組みを行っています。

これらの取組みをさらに充実させるために、平成13・18・22年度に引き続き、県民の体力・スポーツに関する意識や運動・スポーツの実施状況等を把握するためのアンケート調査を実施しました。

この報告書は、アンケート調査結果を集計・分析しまとめたもので、今後の本県における「スポーツのあるまち・くらしづくり」の実現に向けた様々な取組みの基礎資料とするものです。運動やスポーツに携わる皆様に、今後の健康・体力づくりの推進やスポーツの普及・振興を図る上でお役に立てていただければ幸いです。

神奈川県立体育センター
所 長 田中 不二夫

目 次

I	調査の概要	1
1	調査目的	3
2	調査実施概要	3
—(1)	調査地域	3
(2)	調査対象者	3
(3)	標本数	3
(4)	抽出方法	3
(5)	調査方法	3
(6)	調査期間	3
(7)	調査実施機関	3
3	集計上の地域区分について	4
4	調査項目	4
5	回答者の属性	5
II	調査結果の要約	7
1	健康・体力観	8
2	運動・スポーツの実施状況及び今後の意向	10
3	スポーツ施設	11
4	県のスポーツ施策	12
5	スポーツ全般についての意見	13
III	調査結果の詳細	17
1	健康・体力観	20
(1)	自身の健康観	20
(2)	自身の体力観	22
(3)	肉体的な疲労	24
(4)	精神的な疲労・ストレス	26
(5)	体力の衰え	28
(6)	運動不足	30
(7)	自身の肥満度	32
(8)	健康や体力への注意	34
(9)	健康・体力維持への留意点	36
2	運動・スポーツの実施状況及び今後の意向	38
(1)	1年間に行った運動・スポーツ種目	38
ア	楽しみや比較的軽い運動として行うスポーツ	38
イ	野外活動等	40
ウ	競技として行うスポーツ	42
(2)	1年間に行った運動・スポーツの日数	44
(3)	運動・スポーツをした理由	48
(4)	運動・スポーツをした効果	50
(5)	運動・スポーツをしなかった理由	52
(6)	運動・スポーツ活動の満足度	54
(7)	今後（も）行いたい（行ってみたい）運動・スポーツ	56
ア	楽しみや比較的軽い運動として行うスポーツ	56
イ	野外活動等	58

ウ 競技として行うスポーツ	60
3 スポーツ施設	62
(1) 公立スポーツ施設設置状況	62
(2) 公立スポーツ施設への要望	64
(3) 学校の体育施設利用状況	66
(4) 学校の体育施設を利用しなかった理由	68
(5) 今後設置を希望する公共スポーツ施設	70
4 県のスポーツ施策	72
(1) 「総合型地域スポーツクラブ」の認知	72
(2) 「3033 (サマルサッサ) 運動」の認知	74
(3) 「3033 (サマルサッサ) 運動」の実践	76
(4) 「県民スポーツ週間」の認知	78
(5) 「県民スポーツ週間」への参加状況	80
(6) 「県民スポーツ週間」参加経験イベント	82
5 スポーツ全般についての意見	84
(1) 運動・スポーツ関連情報ニーズ	84
(2) 運動・スポーツ行事・教室について	86
ア 県・市町村のスポーツ行事参加状況	86
イ 県・市町村主催のスポーツ教室参加状況	88
ウ 県・市町村主催のスポーツ教室参加意向	90
(3) 運動やスポーツのクラブ・同好会について	92
ア 運動やスポーツのクラブ・同好会への加入状況	92
イ 加入している運動やスポーツのクラブ・同好会の種類	94
ウ 運動やスポーツのクラブ・同好会への加入動機及び目的	96
エ 現非加入者の今後の加入意向	98
オ 加入したい運動やスポーツのクラブ・同好会	100
(4) スポーツ観戦について	102
ア スポーツ観戦への関心	102
イ スポーツ観戦経験	104
ウ 希望するスポーツ観戦レベル	106
エ 希望するスポーツ観戦競技	108
(5) スポーツに関するボランティア活動について	110
ア スポーツに関するボランティア活動経験	110
イ スポーツに関するボランティア活動の内容	112
ウ スポーツに関するボランティア活動への今後の参加意向	114
(6) 地域のスポーツ振興について	116
ア 地域のスポーツ振興に期待する効果	116
イ 県の取組みへの要望	118
IV 資料	121
アンケート調査票	121

I 調査の概要

1 調査目的

県民の体力・スポーツの意識や実態を把握するとともに過去の同調査と比較し、今後のスポーツ施策等の基礎資料を得る。

2 調査実施概要

(1) 調査地域

神奈川県全域

(2) 調査対象者

平成27年4月1日現在で満20歳以上の男女個人

(3) 標本数

- ◆ 設定標本数 : 3,000サンプル
 - ◆ 有効回収標本数 : 1,268サンプル
 - ◆ 有効回収率 : 42.3%
- ※回収した標本のうち、全て無回答のものを無効票とした

(4) 抽出方法

住民基本台帳を用いた層化二段階無作為抽出法

- ◆ 第1段抽出：調査地点の抽出
調査地域内をあらかじめ8地区（後述）に分割のうえ、県内の人口世帯累積表に基づいて150箇所の調査地点（町丁目単位）を抽出した。

※ ただし、全ての市町村から地点を抽出したため、地区別でみた場合、人口構成比と抽出数に差がある地区がある。
- ◆ 第2段抽出：調査世帯の抽出
各調査地点より、条件に当てはまる男女個人を、住民基本台帳を用いて等間隔に20サンプルずつ抽出した。

(5) 調査方法

アンケート調査票を用いた往復郵送調査法

(6) 調査期間

平成 27年 8月 14日（金）～9月 14日（月）

(7) 調査実施機関

株式会社日本能率協会総合研究所

3 集計上の地域区分について

この調査の実施に当たって、神奈川県内を次の8地区に分割し、居住地区をはじめとした分析軸の類別に用いた。分割地区名と該当行政地区は次のとおり。

分割地区名	行政地区名
① 横浜地区	横浜市
② 川崎地区	川崎市
③ 相模原地区	相模原市
④ 横須賀・三浦地区	横須賀市・鎌倉市・逗子市・三浦市・葉山町
⑤ 湘南地区	平塚市・藤沢市・茅ヶ崎市・秦野市・伊勢原市・寒川町・大磯町・二宮町
⑥ 西湘地区	小田原市・箱根町・真鶴町・湯河原町
⑦ 県央地区	厚木市・大和市・海老名市・座間市・綾瀬市・愛川町・清川村
⑧ 足柄上地区	南足柄市・中井町・大井町・松田町・山北町・開成町

4 調査項目

1 健康・体力観

(1) 自身の健康観、(2) 自身の体力観、(3) 肉体的な疲労、(4) 精神的な疲労・ストレス、(5) 体力の衰え、(6) 運動不足、(7) 自身の肥満度、(8) 健康や体力への注意、(9) 健康・体力維持増進への留意点

2 運動・スポーツの実施状況及び今後の意向

(1) 1年間に1日30分以上行った運動・スポーツ種目〔ア 楽しみや比較的軽い運動として行うスポーツ・イ 野外活動等・ウ 競技として行うスポーツ〕、(2) 1年間に1日30分以上行った運動・スポーツの日数、(3) 運動・スポーツをした理由、(4) 運動・スポーツをした効果、(5) 運動・スポーツをしなかった理由、(6) 運動・スポーツ活動の満足度、(7) 今後(も)行いたい(行ってみたい)運動・スポーツ〔ア 楽しみや比較的軽い運動として行うスポーツ・イ 野外活動等・ウ 競技として行うスポーツ〕

3 スポーツ施設

(1) 公立スポーツ施設設置状況、(2) 公立スポーツ施設への要望、(3) 学校の体育施設利用状況、(4) 学校の体育施設を利用しなかった理由、(5) 今後設置を希望する公共スポーツ施設

4 県のスポーツ施策

(1) 「総合型地域スポーツクラブ」の認知、(2) 「3033(サマルサナン)運動」の認知、(3) 「3033(サマルサナン)運動」の実践、(4) 「県民スポーツ週間」の認知、(5) 「県民スポーツ週間」への参加状況、(6) 「県民スポーツ週間」での参加イベント

5 スポーツ全般についての意見

(1) 運動・スポーツ関連情報ニーズ、(2) 運動・スポーツ行事・教室について [ア 県・市町村のスポーツ行事参加状況、イ 県・市町村主催スポーツ教室参加状況、ウ 県・市町村主催のスポーツ教室参加意向]、(3) 運動やスポーツのクラブ・同好会について [ア 運動やスポーツのクラブ・同好会への加入状況、イ 加入している運動やスポーツのクラブ・同好会の種類、ウ 運動やスポーツのクラブ・同好会への加入動機及び目的、エ 現非加入者の今後の加入意向、オ 加入したい運動やスポーツのクラブ・同好会]、(4) スポーツ観戦について [ア スポーツ観戦への関心、イ スポーツ観戦経験、ウ 希望するスポーツ観戦レベル、エ 希望するスポーツ観戦競技]、(5) スポーツに関するボランティア活動について [ア スポーツに関するボランティア活動経験、イ スポーツに関するボランティア活動の内容、ウ スポーツに関するボランティア活動への今後の参加意向]、(6) 地域のスポーツ振興について [ア 地域のスポーツ振興に期待する効果、イ 県の取組みへの要望]

5 回答者の属性

数値の単位：実数＝回答人数、％＝項目ごとの比率

(1) 居住地区別

	横浜地区	川崎地区	相模原地区	横須賀・三浦地区	湘南地区	西湘地区	県央地区	足柄上地区	
実数	1,268	471	153	82	121	157	87	113	84
％	100.0	37.1	12.1	6.5	9.5	12.4	6.9	8.9	6.6

(2) 性別

	男性	女性	
実数	1,268	611	657
％	100.0	48.2	51.8

(3) 年代別

	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	
実数	1,268	73	157	236	237	294	271
％	100.0	5.8	12.4	18.6	18.7	23.2	21.4

Ⅱ 調査結果の要約

1 健康・体力観

(1) 自身の健康観 《P. 20》

全員に自身の健康をたずねたところ、「まあ健康である」(77.8%)が最も高く、次いで「健康でない」(10.7%)、「大いに健康である」(9.9%)となった。また、「健康である計(「健康である」+「まあ健康である」)」は、全体の9割弱(87.7%)が健康であると回答した。

(2) 自身の体力観 《P. 22》

全員に自身の体力についてたずねたところ、「普通である」(66.5%)が最も高く、次いで「自信がない」(25.1%)、「自信がある」(7.6%)となった。

(3) 肉体的な疲労 《P. 24》

全員に日頃の肉体的な疲労についてたずねたところ、「少し感じる」(68.8%)が最も高く、次いで「感じない」(15.7%)、「大いに感じる」(14.5%)となった。また、「肉体的な疲労を感じる計(「大いに感じる」+「少し感じる」)」は、全体の8割台半ば(83.3%)が肉体的疲労を感じていると回答した。

(4) 精神的な疲労・ストレス 《P. 26》

全員に日頃の精神的な疲労・ストレスについてたずねたところ、「少し感じる」(60.6%)が最も高く、次いで「感じない」(20.8%)、「大いに感じる」(17.0%)となった。また、「精神的な疲労を感じる計(「大いに感じる」+「少し感じる」)」は、全体の8割弱(77.6%)であった。

(5) 体力の衰え 《P. 28》

全員に日頃の体力の衰えについてたずねたところ、「少し感じる」(64.2%)が最も高く、次いで「大いに感じる」(28.6%)、「感じない」(6.6%)となった。「体力の衰えを感じる計(「大いに感じる」+「少し感じる」)」は、全体の9割強(92.8%)であった。

(6) 運動不足 《P. 30》

全員に日頃、運動不足を感じるかについてたずねたところ、「少し感じる」(46.7%)が最も高く、次いで「大いに感じる」(38.0%)、「感じない」(14.6%)となった。「運動不足を感じる計(「大いに感じる」+「少し感じる」)」は、全体の8割台半ば(84.7%)であった。

(7) 自身の肥満度 《P. 32》

全員に自身が肥満であると思うかたずねたところ、「思わない」(59.5%)が最も高く、次いで「思う」(31.9%)、「非常に思う」(6.5%)となった。「肥満であると思う計(「非常に思う」+「思う」)」は、全体の4割弱(38.4%)であった。

(8) 健康や体力への注意 《P. 34》

全員に日頃の健康や体力への注意の意識をたずねたところ、「少し（時々）注意している」（48.4%）が最も高く、次いで「注意している」（36.7%）、「注意していない」（10.4%）となった。《健康や体力に注意している計（「注意している」+「少し（時々）注意している」）》は、全体の8割台半ば（85.1%）であった。

(9) 健康・体力維持への留意点 《P. 36》

[(8)健康や体力への注意]で「1 注意している」または「2 少し（時々）注意している」に○をつけた人（1,079人）に、日頃の健康や体力の維持増進のために心掛けていることについてたずねた（3つまで回答可）ところ、「食生活に気をつける」（69.5%）が最も高く、次いで「睡眠や休養を十分にとる」（47.8%）、「運動やスポーツ（体操や散歩を含む）をする」（41.7%）となった。

2 運動・スポーツの実施状況及び今後の意向

(1) 1年間に行った運動・スポーツ種目《P. 38》

全員に、この1年間で1日あたり30分以上行った運動・スポーツについて、①楽しみや比較的軽い運動として行うスポーツ、②野外活動等、③競技として行うスポーツを、それぞれたずねた（3つまで回答可）結果は次のとおりとなった。

- ① 【楽しみや比較的軽い運動として行うスポーツ】は、「ウォーキング（散歩などを含む）」（46.5%）が最も高く、次いで「室内運動器具（ダンベル・チューブなど）を使ってする運動」（11.4%）、「ジョギング」（11.1%）となった。
- ② 【野外活動等】は、「登山、ハイキング」（13.2%）が最も高く、次いで「ゴルフ」（9.4%）、「サイクリング」（8.4%）となった。ただし、「していない」は5割強（52.9%）であった。
- ③ 【競技として行うスポーツ】は、「テニス、卓球、バドミントン（車いすテニス、サウンドテーブルテニスなどを含む）」（6.3%）が最も高く、次いで「野球、ソフトボール」（4.1%）、「サッカー、フットサル（ブラインドサッカーなどを含む）」（3.0%）となった。ただし、「していない」が約7割（69.5%）であった。

(2) 1年間に行った運動・スポーツの日数《P. 44》

前述の①～③において、いずれかの運動・スポーツを行った人に、①1年間に行った運動・スポーツの日数、②運動・スポーツをした理由、③運動・スポーツをした効果について、それぞれたずねた（3つまで回答可）結果は次のとおりとなった。

- ① 【運動・スポーツの日数】は、「週に3日以上（151日以上）」（23.8%）が比較的高いものの、全体的に分散している傾向であった。なお、「週1日以上」運動やスポーツを行った人の割合は、5割台半ば（55.7%）であった。
- ② 【運動やスポーツをした理由】は、「健康・体力づくりのため」（52.0%）が最も高く、次いで「運動不足の解消のため」（48.0%）、「楽しみ、気晴らしのため」（47.2%）となった。
- ③ 【運動やスポーツの効果】は、「楽しみ、気晴らし」（48.5%）が最も高く、次いで「運動不足の解消」（44.8%）、「健康・体力づくり」（43.4%）となった。【②運動・スポーツの理由】と同様の傾向がみられた。

(3) 運動・スポーツをしなかった理由《P. 52》

この1年間で30分以上運動・スポーツをしなかった人（278人）に、この1年間で運動・スポーツをしなかった理由をたずねた（3つまで回答可）ところ、「仕事（家事・育児を含む）が忙しくて時間がないから」（47.1%）が最も高く、次いで「機会がなかったから」（39.2%）、「年をとったから」（21.9%）となった。

(4) 運動・スポーツ活動の満足度《P. 54》

全員に運動・スポーツ活動の満足度をたずねたところ、「運動・スポーツを行いたいと思ってはいるが、できない」(46.8%)が最も高く、次いで「運動・スポーツを行ってはいるが、もっと行いたい」(27.5%)となった。また、「運動・スポーツを十分に行っており、満足している」は1割(10.0%)であった。

(5) 今後(も)行いたい(行ってみたい)運動・スポーツ《P. 56》

全員に、今後(も)行いたい(行ってみたい)運動やスポーツについて、①楽しみや比較的軽い運動として行うスポーツ、②野外活動等、③競技として行うスポーツを、それぞれたずねた(3つまで回答可)結果は次のとおりとなった。

- ① 【楽しみや比較的軽い運動として行うスポーツ】は、「ウォーキング(散歩などを含む)」(46.9%)が最も高く、次いで「軽い水泳(水中ウォーキングなどを含む)」(28.6%)、「エアロビックダンス、ヨガ」(21.5%)となった。なお、「比較的軽い運動・スポーツには関心がない」は、1割弱(8.4%)であった。
- ② 【野外活動等】は、「登山、ハイキング」(33.6%)が最も高く、次いで「サイクリング」(19.6%)、「ゴルフ」(16.4%)となった。なお、「野外活動等には関心がない」は、約2割(20.3%)であった。
- ③ 【競技として行うスポーツ】は、「テニス、卓球、バドミントン(車いすテニス、サウンドテーブルテニスなどを含む)」(23.3%)が最も高く、他の競技はいずれも1割未満であった。なお、「競技として行うスポーツには関心がない」は、4割強(41.8%)であった。

3 スポーツ施設

(1) 公立スポーツ施設設置状況《P. 62》

全員に、公立スポーツ施設の設置状況についてたずねたところ、「施設の数も整備内容も不十分」(17.9%)が最も高く、次いで「十分整備されている」(14.7%)、「施設の数が少ないが、整備内容は十分」(8.7%)となった。ただし、4割台半ば(46.8%)の人は、「わからない」と回答した。

(2) 公立スポーツ施設への要望《P. 64》

全員に、公立スポーツ施設への要望をたずねた(3つまで回答可)ところ、「施設数の増加」(23.6%)が最も高く、次いで「初心者向けのスポーツ教室やスポーツ行事の充実」(20.1%)、「利用案内など広報の充実」(14.4%)となった。ただし、「わからない」は、3割強(32.1%)であった。

(3) 学校の体育施設利用状況《P. 66》

全員に、この1年間の学校の体育施設利用状況をたずねたところ、「利用した」は7.7%、「利用しなかった」は85.6%であった。

(4) 学校の体育施設を利用しなかった理由《P. 68》

この1年間に学校の体育施設を利用しなかったと回答した人(1,085人)に、その理由をたずねた(3つまで回答可)ところ、「利用できることを知らなかったから」(24.1%)が最も高く、次いで「時間帯が限られており、利用したいときにできないから」(13.7%)、「個人単位では、利用ができないから」(13.1%)となった。ただし「特になし」が、3割台半ば(36.5%)であった。

(5) 今後設置を希望する公共スポーツ施設《P. 70》

全員に、今後設置を希望する公共スポーツ施設についてたずねた(3つまで回答可)ところ、「屋内プール」(30.8%)が最も高く、次いで「多目的運動広場」(16.6%)、「トレーニング場」(12.6%)となった。ただし「特になし」が、3割強(31.1%)であった。

4 県のスポーツ施策

(1) 「総合型地域スポーツクラブ」の認知《P. 72》

全員に、「総合型地域スポーツクラブ」を知っているかたずねたところ、「知らない」(84.3%)が最も高く、次いで「県内や地域に総合型スポーツクラブがあることは知っている」(6.3%)、「総合型地域スポーツクラブという言葉聞いたことがある」(5.8%)となった。また、《認知計(「仕組みや特徴も含め、よく知っている」+「県内や地域に総合型スポーツクラブがあることは知っている」+「総合型地域スポーツクラブという言葉聞いたことがある」)》は、全体の約1割(13.3%)であった。

(2) 「3033(サンマルサン)運動」の認知《P. 74》

全員に「3033運動」を知っているかたずねたところ、「知らない」(88.2%)が最も高く、次いで「「3033運動」という言葉は聞いたことはある」は6.3%、「「3033運動」という言葉の意味を知っている」(2.7%)となった。また、《認知計(「内容や効果について、よく知っている」+「「3033運動」という言葉の意味を知っている」+「「3033運動」という言葉は聞いたことはある」)》は、全体の1割弱(9.8%)であった。

(3) 「3033(サンマルサン)運動」の実践《P. 76》

「3033運動」を知っている《認知計》と答えた人(124人)に、「3033運動」を実践しているかたずねたところ、「実践している」は、2割台半ば(23.4%)となった。また、「実践していないが、これから実践したい」が約5割(50.8%)と最も高かった。

(4) 「県民スポーツ週間」の認知《P. 78》

全員に「県民スポーツ週間」を知っているかたずねたところ、「「県民スポーツ週間」という言葉は知っている(聞いたことはある)」は9.9%、「知らない」は87.2%であった。なお、《認知計(「時期や内容について、よく知っている」+「「県民スポーツ週間」という言葉は知っている(聞いたことはある)」)》は、全体の約1割(10.6%)であった。

(5) 「県民スポーツ週間」への参加状況《P. 80》

「県民スポーツ週間」を知っている《認知計》と答えた人（134人）に「県民スポーツ週間」のイベントに参加しているかたずねたところ、「参加した」は1割弱（9.0%）となり、「参加していない」が8割台半ば（85.1%）であった。

(6) 「県民スポーツ週間」参加経験イベント《P. 82》

「県民スポーツ週間」へ参加経験のあると答えた人（12人）に「県民スポーツ週間」の参加経験イベントをたずねた（複数回答可）ところ、「市町村でのイベント」（75.0%）が最も高く、7割台半ばの人が参加しているという結果であった。次いで「県立体育センターでのイベント」と「県立武道館でのイベント」（ともに16.7%）であった。

5 スポーツ全般についての意見

(1) 運動・スポーツ関連情報ニーズ《P. 84》

全員に、運動やスポーツに関する欲しい情報についてたずねた（3つまで回答可）ところ、「スポーツ施設の案内」（30.0%）が最も高く、次いで「健康・体力づくり情報」（28.2%）、「各種スポーツ教室の案内」（23.7%）となった。

(2) 運動・スポーツ行事・教室について《P. 86》

全員に、この1年間の県や市町村が主催するスポーツ行事への参加状況をたずねたところ、《参加・見学計（「参加した」+「見に行った」）》は、6.5%であった。

全員に、この1年間の県や市町村が主催するスポーツ教室への参加状況をたずねたところ、「参加した」は1.6%、「参加しなかった」が95.3%であった。

全員に、今後の県や市町村が主催するスポーツ行事やスポーツ教室への参加意向をたずねたところ、《参加したい計（「ぜひ参加したい」+「できれば参加したい」）》が30.0%、《参加したくない計（「あまり参加したくない」+「参加するつもりはない」）》が67.3%であった。

(3) 運動やスポーツのクラブ・同好会について《P. 92》

全員に、運動やスポーツのクラブ・同好会への加入状況をたずねたところ、「加入している」が18.3%、「加入していない」が73.7%であった。

運動やスポーツのクラブ・同好会へ加入していると答えた人（232人）に、加入しているクラブ・同好会の種類についてたずねた（複数回答可）ところ、「民間スポーツ施設の会員制のクラブ」（40.1%）が最も高く、次いで「仲間や友達と活動するクラブ・同好会」（34.1%）、「市町村内の人を対象とした地域クラブ・同好会」（20.3%）となった。

運動やスポーツのクラブ・同好会へ加入していると答えた人（232人）に、そのクラブ・同好会に加入した動機や目的についてたずねた（3つまで回答可）ところ、「健康・体力づくりのため」（69.4%）が最も高く、次いで「親睦のため（仲間との交流）」（39.7%）、「継続してできるから」（35.3%）となった。

運動やスポーツのクラブ・同好会へ加入していないと答えた人（935人）に、好きな運動やスポーツのクラブ・同好会への加入意向をたずねたところ、《加入したい計（「ぜひ加入したい」＋「できれば加入したい」）》は30.8%、《加入したくない計（「あまり加入したくない」＋「加入するつもりはない」）》が66.8%となった。

前述で、現在は運動やスポーツのクラブ・同好会に加入していないが、今後加入したいと答えた人（288人）に、加入したいクラブ・同好会についてたずねた（3つまで回答可）ところ、「市町村内の人を対象とした地域クラブ・同好会」（62.2%）が最も高く、次いで「仲間や友達と活動するクラブ（学校OBやOGなども含む）」（29.9%）、「総合型地域スポーツクラブ」（28.1%）となった。

（4）スポーツ観戦について《P. 102》

全員にスポーツ観戦への関心についてたずねたところ、「ある」は63.5%、「ない」は28.9%であった。

全員に、この1年間、直接会場でのスポーツ観戦の経験をたずねたところ、「した」は27.0%、「していない」は67.1%であった。

スポーツ観戦について関心があると答えた人（805人）に、直接会場でのスポーツ観戦レベルの希望についてたずねた（2つまで回答可）ところ、「国内のプロスポーツ」（63.2%）が最も高く、次いで「オリンピックやパラリンピックなど国際大会」（55.7%）となった。

スポーツ観戦について関心があると答えた人（805人）に、直接会場でのスポーツ観戦を希望する競技についてたずねた（3つまで回答可）ところ、「野球、ソフトボール」（56.3%）が最も高く、次いで「サッカー、フットサル（ブラインドサッカーなどを含む）」（38.1%）、「テニス、卓球、バドミントン（車いすテニス、サウンドテーブルテニスなどを含む）」（25.6%）となった。

（5）スポーツに関するボランティア活動について《P. 110》

全員に、この1年間のスポーツに関するボランティア活動についての経験をたずねたところ、「行った」は4.4%で、「行わなかった」は89.2%であった。

この1年間にスポーツに関するボランティア活動を体験したと答えた人（56人）に、この1年間に行ったスポーツに関するボランティア活動の内容についてたずねた（複数回答可）ところ、「スポーツ大会やスポーツイベントなどでのボランティア活動」（48.2%）が最も高く、次いで「競技団体、自治会、クラブの役員などスポーツ活動の運営」（39.3%）、「スポーツの指導」（33.9%）となった。

全員に、今後のスポーツに関するボランティア活動への参加意向をたずねたところ、《行いたい計（「ぜひ行いたい」＋「できれば行いたい」）》は22.2%、《行いたくない計（「あまり行いたくない」＋「行うつもりはない」）》が75.4%であった。

（6）地域のスポーツ振興に期待する効果《P. 116》

全員に、地域のスポーツ振興に期待する効果をたずねた（3つまで回答可）ところ、「地域のコミュニティの形成」（38.4%）が最も高く、次いで「世代間交流の促進」（24.1%）、

「親子や家族の交流」(22.7%)、「生きがいづくり」(21.1%)となった。

全員にスポーツ振興を図るための、県による今後の取組みへの要望をたずねた(3つまで回答可)ところ、「手軽にスポーツができる公園整備」(29.1%)が最も高く、次いで「中高齢者の健康増進のための取組み」(28.2%)、「各種スポーツ施設の整備」(18.8%)となった。

Ⅲ 調査結果の詳細

本章は、アンケート調査票のうち、「問2（1）」から「問15（2）」についての結果を図表化のうえ、特徴点を記述したものである。

- 1 クロス集計結果のうち、
 - (1) 地区別
 - (2) 性別
 - (3) 年代別について、図表化を行った。
- 2 それらのうち、特徴的な部分について記述した。ただし、回答者が少なく、地域別、性別、年代別でみた際に50サンプル未満となる区分が多い場合は、記述を省略することとした。
- 3 集計（図表の数値）は、小数点第2位を四捨五入しており、単数回答結果の、数値の合計が100.0%にならない場合がある。
- 4 図表の「全体（1,268）」などは、該当する回答者数を表す。同様に小数点付き数値は、該当選択肢への回答率を表す。

1 健康・体力観

(1) 自身の健康観

問2 (1) ご自身の健康について、どう思いますか。1つだけ○をつけてください。

1 大いに健康である 2 まあ健康である 3 健康でない 4 わからない

《全体集計結果》

全員に自身の健康をたずねたところ、「まあ健康である」(77.8%)が最も高く、次いで「健康でない」(10.7%)、「大いに健康である」(9.9%)となった。また、《健康である計(「健康である」+「まあ健康である」)》は、全体の9割弱(87.7%)が健康であると回答した。

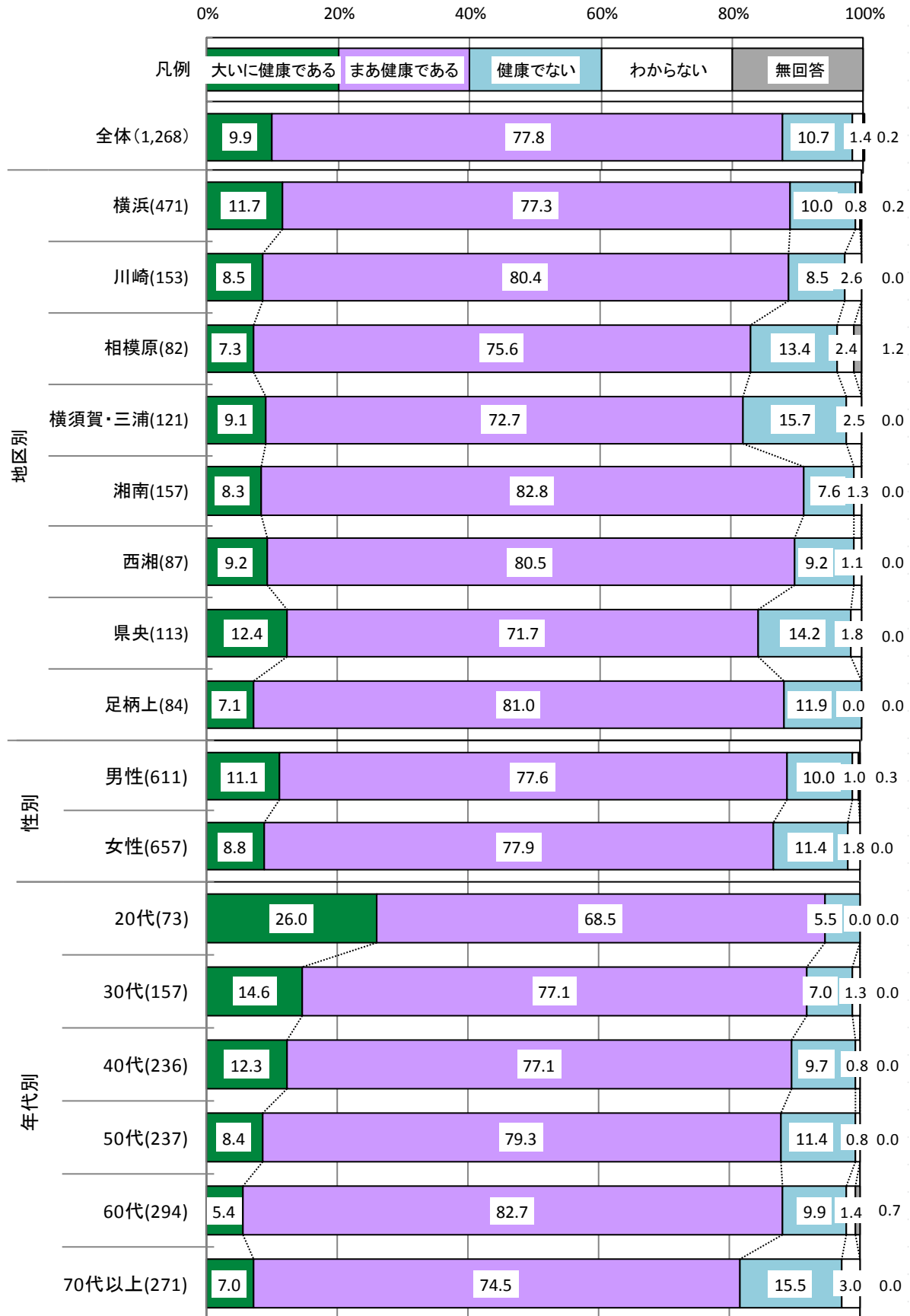
《属性別集計結果》

地区別でみると、《健康である計》は、湘南地区(91.1%)で最も高く、横須賀・三浦地区(81.8%)で最も低かった。

性別でみると、「大いに健康である」は、男性(11.1%)が女性に比べて高かった。

年代別でみると、「大いに健康である」は20代(26.0%)が最も高く、年代が上がるにつれ、60代(5.4%)まで低下した。

【図表 1 - 1 : 自身の健康観／単一回答】



(2) 自身の体力観

問2 (2) ご自身の体力について、どう思いますか。1つだけ○をつけてください。

1 自信がある 2 普通である 3 自信がない 4 わからない

《全体集計結果》

全員に自身の体力についてたずねたところ、「普通である」(66.5%)が最も高く、次いで「自信がない」(25.1%)、「自信がある」(7.6%)となった。

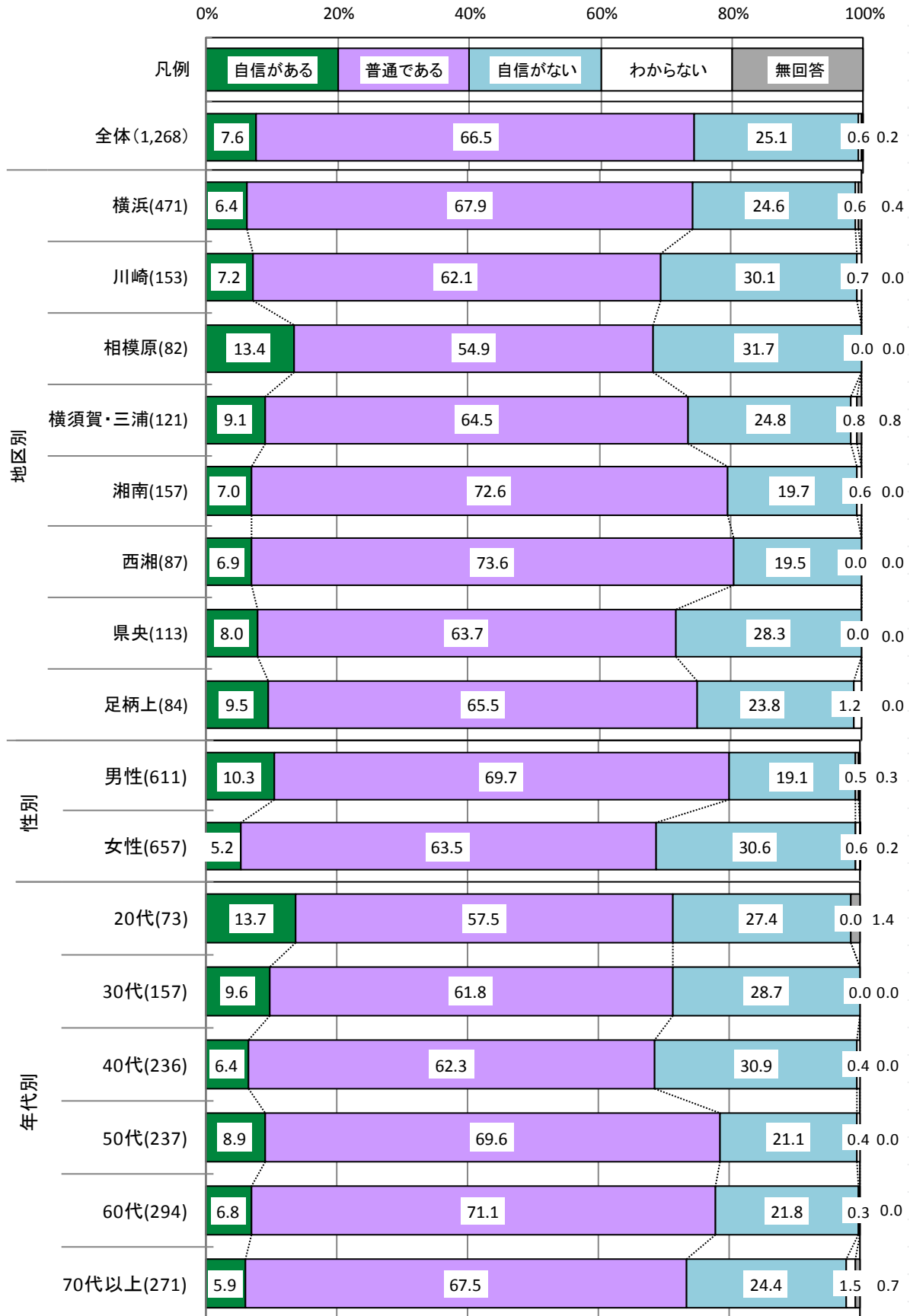
《属性別集計結果》

地区別でみると、「自信がない」は、相模原地区(31.7%)、川崎地区(30.1%)で高く、ともに3割以上であった。反対に、西湘地区(19.5%)と湘南地区(19.7%)は他の地区に比べ低く、2割弱であった。また「自信がある」は、相模原地区(13.4%)で唯一1割を上回った。

性別でみると、「自信がある」は男性(10.3%)が女性より高く、「自信がない」は女性(30.6%)が男性より高かった。

年代別でみると、「自信がある」は20代(13.7%)が唯一1割を上回り、最も高かった。また「自信がない」は40代(30.9%)が最も高く、50代(21.1%)、60代(21.8%)の順で低かった。

【図表 1 - 2 : 自身の体力観／単一回答】



(3) 肉体的な疲労

問2 (3) 日頃、肉体的な疲労を感じますか。1つだけ○をつけてください。

1 大いに感じる 2 少し感じる 3 感じない 4 わからない

《全体集計結果》

全員に日頃の肉体的な疲労についてたずねたところ、「少し感じる」(68.8%)が最も高く、次いで「感じない」(15.7%)、「大いに感じる」(14.5%)となった。また、《肉体的な疲労を感じる計(「大いに感じる」+「少し感じる」)》は、全体の8割台半ば(83.3%)が肉体的疲労を感じていると回答した。

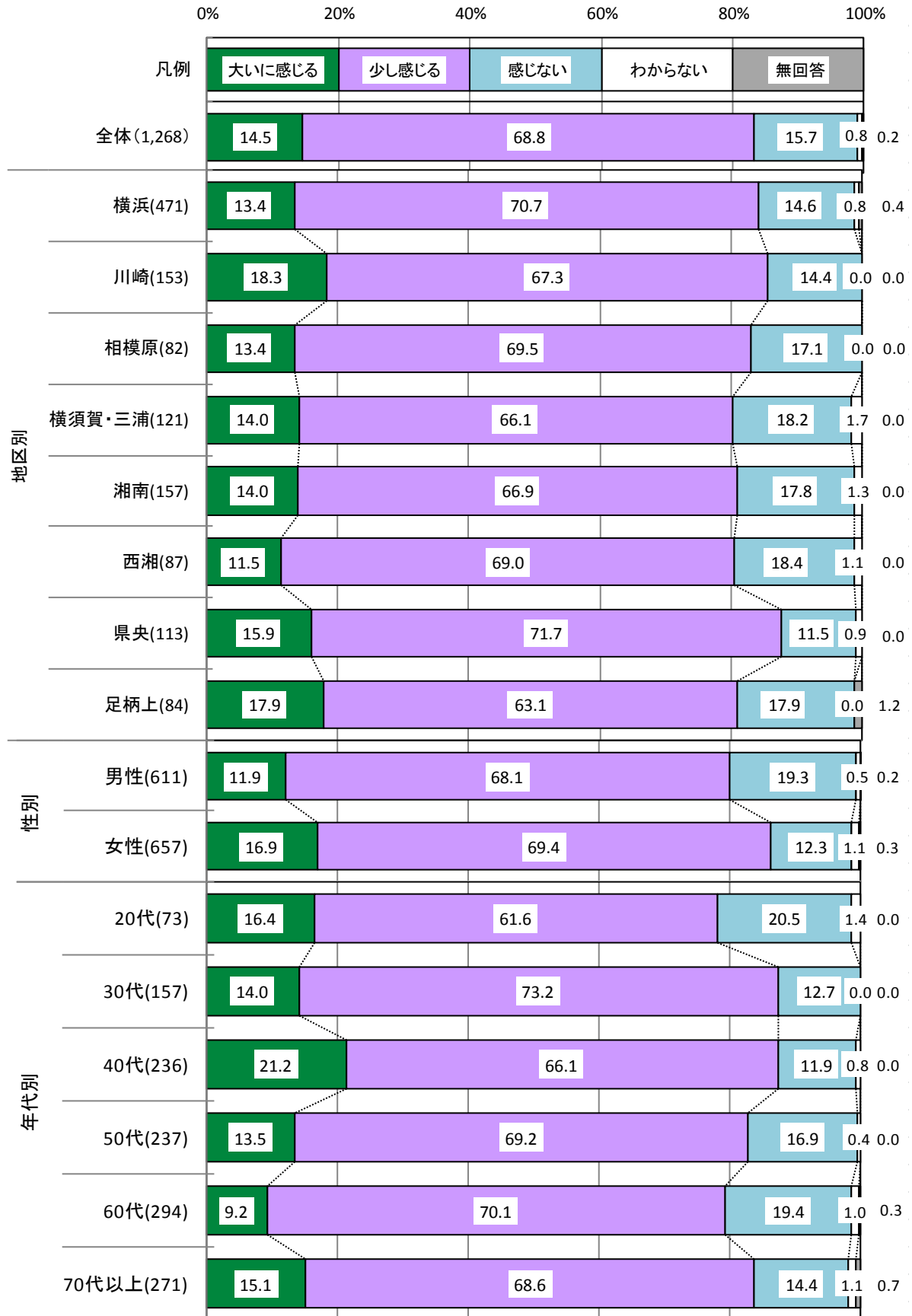
《属性別集計結果》

地区別でみると、《肉体的疲労を感じる計》は、県央地区(87.6%)で最も高かった。

性別でみると、「大いに感じる」は、女性(16.9%)が男性よりも高かった。

年代別でみると、「大いに感じる」は40代(21.2%)が最も高く、60代(9.2%)が最も低かった。また、「感じない」は、40代(11.9%)、30代(12.7%)の順に低かった。

【図表 1 - 3 : 肉体的な疲労／単一回答】



(4) 精神的な疲労・ストレス

問2 (4) 日頃、精神的な疲労、ストレスを感じますか。1つだけ○をつけてください。

1 大いに感じる 2 少し感じる 3 感じない 4 わからない

《全体集計結果》

全員に日頃の精神的な疲労・ストレスについてたずねたところ、「少し感じる」(60.6%)が最も高く、次いで「感じない」(20.8%)、「大いに感じる」(17.0%)となった。また、《精神的な疲労を感じる計(「大いに感じる」+「少し感じる」)》は、全体の8割弱(77.6%)であった。

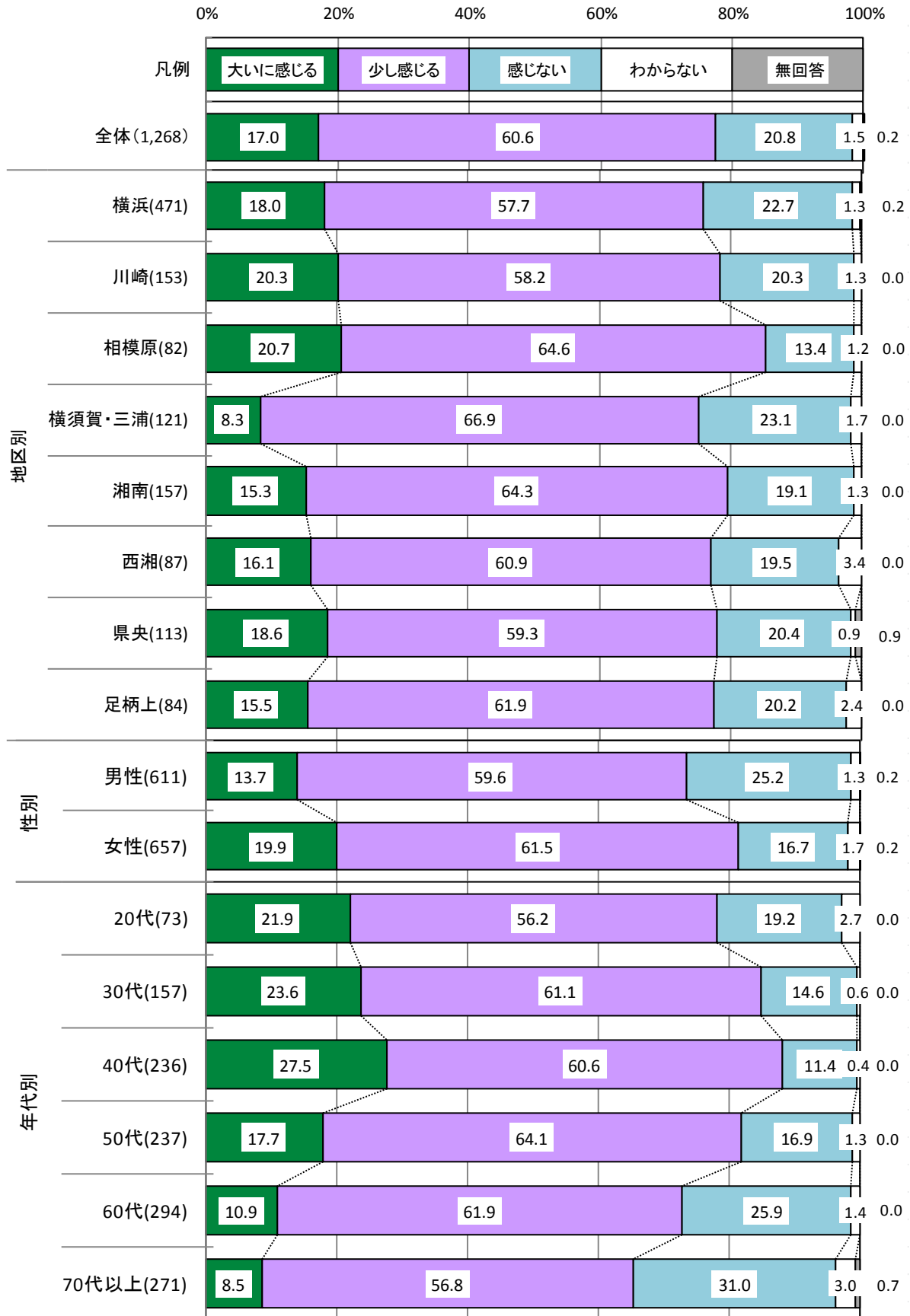
《属性別集計結果》

地区別でみると、「大いに感じる」は横須賀・三浦地区(8.3%)、「感じない」は相模原地区(13.4%)で最も低かった。また、《精神的な疲労を感じる計》は、相模原地区(85.3%)で最も高かった。

性別でみると、「大いに感じる」は、女性(19.9%)が、男性に比べ高かった。

年代別でみると、「大いに感じる」は20代(21.9%)、30代(23.6%)、40代(27.5%)と年代が上がるにつれ高くなり、50代以降は年代が上がるにつれ低くなった。反対に、「感じない」は、20代(19.2%)、30代(14.6%)、40代(11.4%)と年代が上がるにつれ低くなり、50代以降は年代が上がるにつれ高くなり、70代以上(31.0%)で最も高く3割強であった。

【図表 1-4 : 精神的な疲労・ストレス／単一回答】



(5) 体力の衰え

問2 (5) 日頃、体力の衰えを感じますか。1つだけ○をつけてください。

1 大いに感じる 2 少し感じる 3 感じない 4 わからない

《全体集計結果》

全員に日頃の体力の衰えについてたずねたところ、「少し感じる」(64.2%)が最も高く、次いで「大いに感じる」(28.6%)、「感じない」(6.6%)となった。《体力の衰えを感じる計(「大いに感じる」+「少し感じる」)》は、全体の9割強(92.8%)であった。

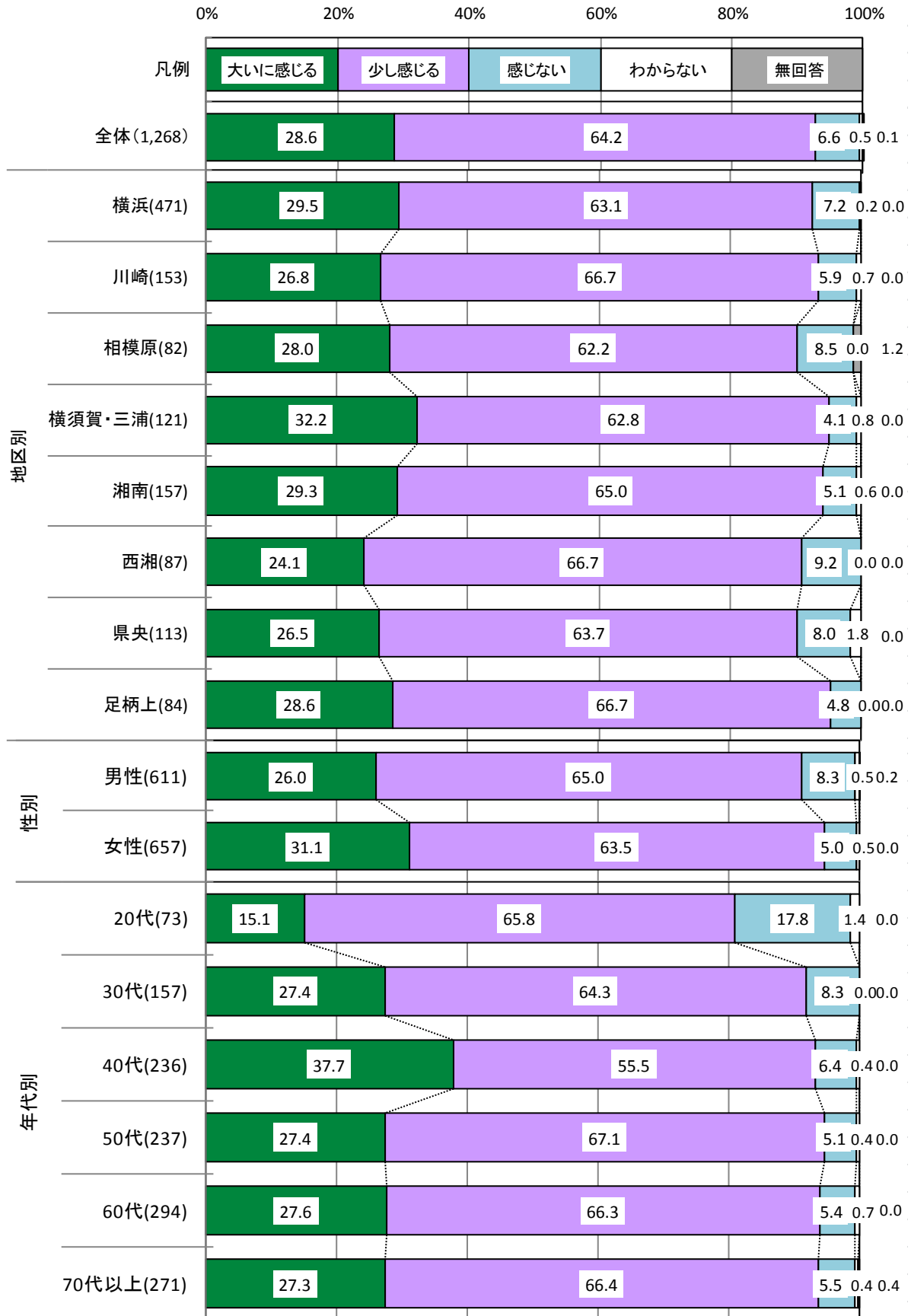
《属性別集計結果》

地区別でみると、「大いに感じる」は横須賀・三浦地区(32.2%)で、また「感じない」は、西湘地区(9.2%)で最も高かった。

性別でみると、「大いに感じる」は、女性(31.1%)が、男性に比べ高かった。

年代別でみると、「大いに感じる」は40代(37.7%)が最も高く、20代(15.1%)が最も低かった。また「感じない」は20代(17.8%)が最も高く、唯一1割を超えていた。

【図表 1-5 : 体力の衰え／単一回答】



(6) 運動不足

問2 (6) 日頃、運動不足を感じますか。1つだけ○をつけてください。

1 大いに感じる 2 少し感じる 3 感じない 4 わからない

《全体集計結果》

全員に日頃、運動不足を感じるかについてたずねたところ、「少し感じる」(46.7%)が最も高く、次いで「大いに感じる」(38.0%)、「感じない」(14.6%)となった。《運動不足を感じる計(「大いに感じる」+「少し感じる」)》は、全体の8割台半ば(84.7%)であった。

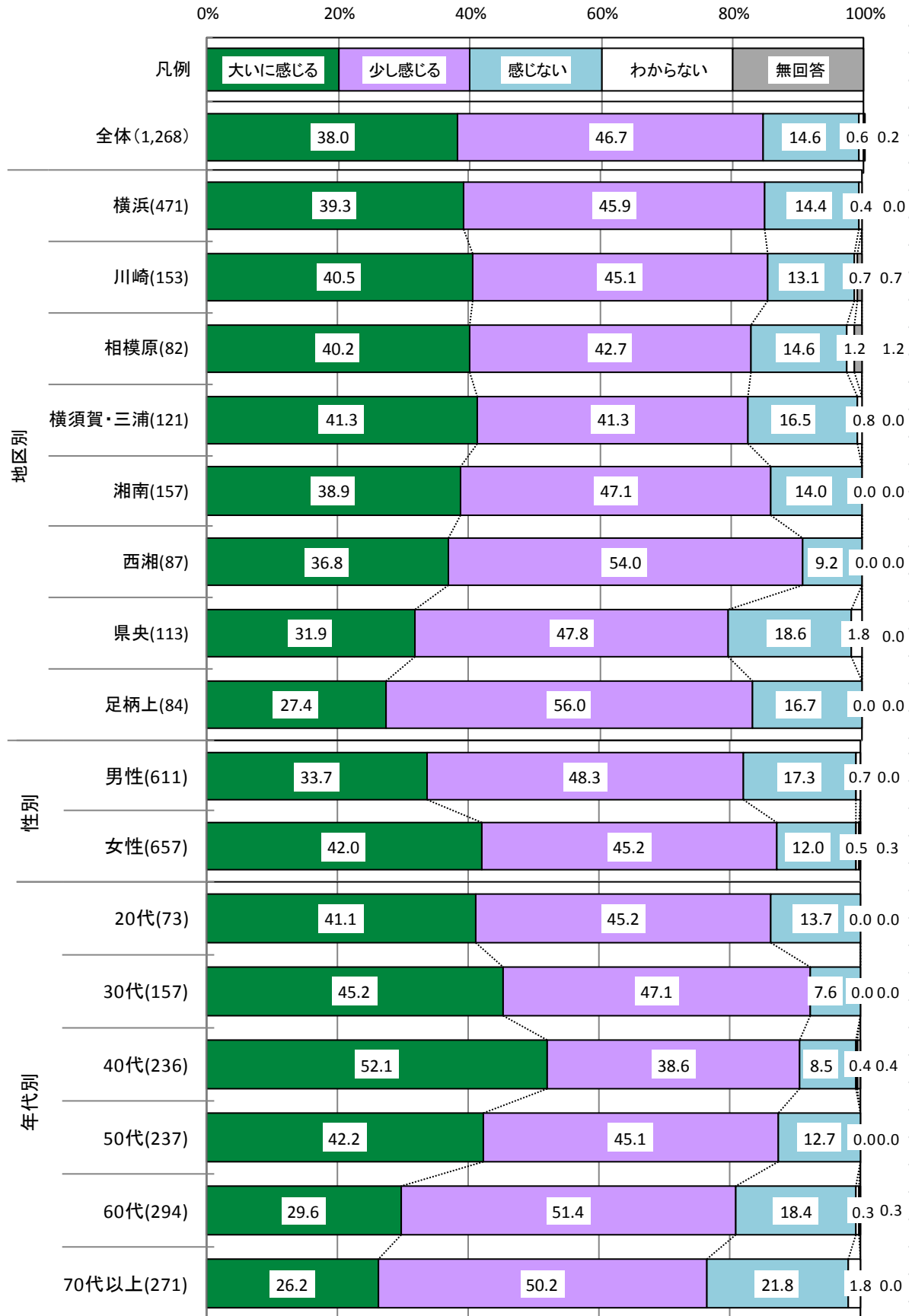
《属性別集計結果》

地区別でみると、「大いに感じる」は横須賀・三浦地区(41.3%)で最も高く、足柄上地区(27.4%)で最も低かった。また「感じない」は県央地区(18.6%)で最も高く、西湘地区(9.2%)で最も低かった。

性別でみると、「大いに感じる」は女性(42.0%)が、男性に比べ高かった。

年代別でみると、「大いに感じる」は40代(52.1%)で最も高く5割を超え、以降年代が上がるにつれ低くなった。

【図表 1 - 6 : 運動不足／単一回答】



(7) 自身の肥満度

問2 (7) ご自身は肥満であると思いますか。1つだけ○をつけてください。

1 非常に思う 2 思う 3 思わない 4 わからない

《全体集計結果》

全員に自身が肥満であると思うかたずねたところ、「思わない」(59.5%)が最も高く、次いで「思う」(31.9%)、「非常に思う」(6.5%)となった。《肥満であると思う計(「非常に思う」+「思う」)》は、全体の4割弱(38.4%)であった。

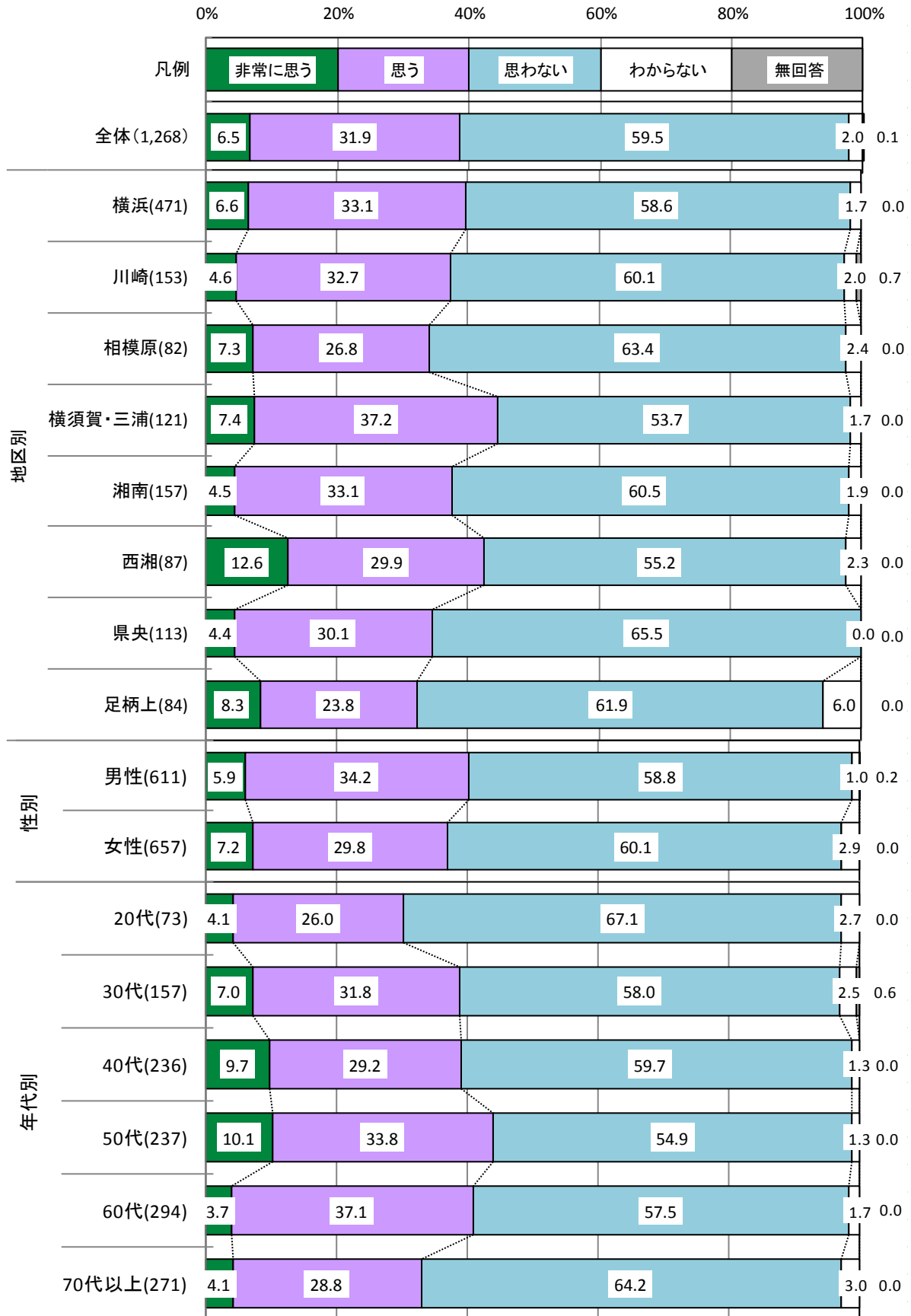
《属性別集計結果》

地区別でみると、「非常に思う」は西湘地区(12.6%)で唯一1割を超えた。また《肥満であると思う計》は、横須賀・三浦地区(44.6%)が高かった。なお「思わない」は県央地区(65.5%)で最も高く、6割台半ばであった。

性別でみると、《肥満であると思う計》は男性(40.1%)が、女性に比べ高かった。

年代別でみると、全体と比べ《肥満であると思う計》は、50代(43.9%)が最も高く、20代(30.1%)が最も低かった。

【図表 1-7：自身の肥満度／単一回答】



(8) 健康や体力への注意

問2 (8) 日頃、健康や体力に注意していますか。 1つだけ○をつけてください。

- | | | | |
|----------------|-------|---|----------|
| 1 注意している | _____ | → | 問2 (9) へ |
| 2 少し(時々)注意している | _____ | → | 問2 (9) へ |
| 3 注意していない | _____ | → | 問3 (1) へ |

《全体集計結果》

全員に日頃の健康や体力への注意の意識をたずねたところ、「少し(時々)注意している」(48.4%)が最も高く、次いで「注意している」(36.7%)、「注意していない」(10.4%)となった。《健康や体力に注意している計(「注意している」+「少し(時々)注意している」)》は、全体の8割台半ば(85.1%)であった。

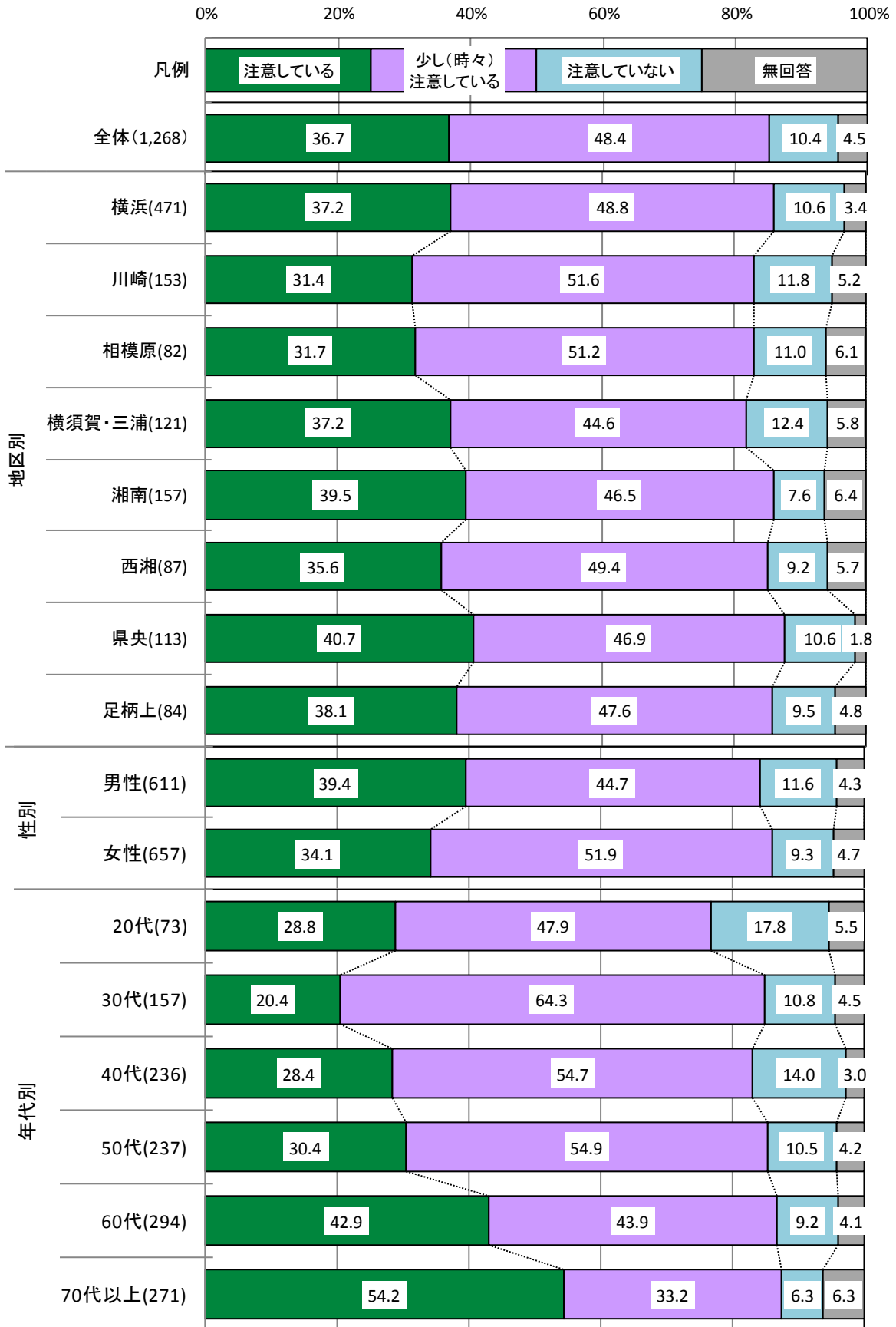
《属性別集計結果》

地区別でみると、「注意している」は、県央地区(40.7%)で最も高く、川崎地区(31.4%)、相模原地区(31.7%)で低かった。

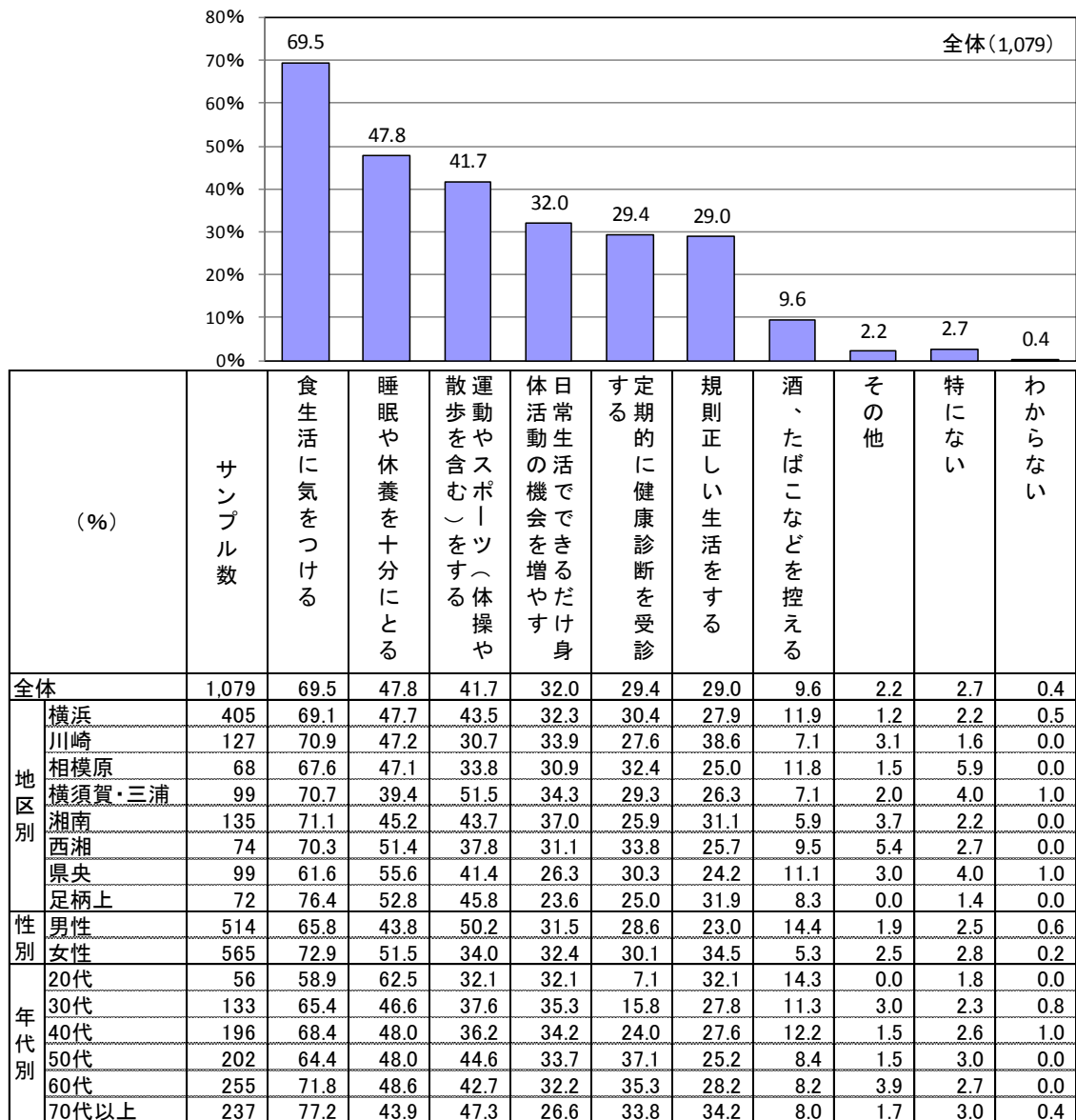
性別でみると、「注意している」は男性(39.4%)が、女性に比べ高かった。

年代別でみると、「注意している」は30代(20.4%)が最も低く、以降年代が上がるにつれ高くなり、70代以上(54.2%)で5割を超えた。また、《健康や体力に注意している計》は、20代(76.7%)が最も低かった。

【図表 1 - 8 : 健康や体力への注意／単一回答】



【図表 1-9：健康・体力維持への留意点／複数回答（3つまで）】



なお、「その他」への回答は、次の通りであった（代表的回答例）。

- ・ サプリメントの摂取
- ・ 毎日犬の散歩をする。（40分～60分）
- ・ 自分なりに冷えの改善法を行っている。

2 運動・スポーツの実施状況及び今後の意向

(1) 1年間に行った運動・スポーツ種目

ア 楽しみや比較的軽い運動として行うスポーツ

問3 この1年間で1日あたり30分※以上行った運動・スポーツは何ですか。

(1) 楽しみや比較的軽い運動として行うスポーツ (2) 野外活動等 (3) 競技として行うスポーツに分けて、回答してください。

※1日30分とは、1回10分程度の運動を合計して30分でも構いません。

(1) 楽しみや比較的軽い運動として行うスポーツ
あてはまる番号に、3つまで○をつけてください。

- 1 軽い球技 (キャッチボールなど)
- 2 体操 (縄跳びを含む)
- 3 エアロビックダンス、ヨガ
- 4 ウォーキング (散歩などを含む)
- 5 フォークダンス (社交ダンス、民踊、車いすダンスなどを含む)
- 6 ボウリング
- 7 ゲートボール、グラウンド・ゴルフ
- 8 ジョギング
- 9 軽い水泳 (水中ウォーキングなどを含む)
- 10 室内運動器具 (ダンベル、チューブなど) を使ってする運動
- 11 その他の軽い運動やスポーツ (種目名)
- 12 していない

《全体集計結果》

全員に、この1年間で1日あたり30分以上行った運動のうち【楽しみや比較的軽い運動として行うスポーツ】をたずねたところ、「ウォーキング (散歩などを含む) 」(46.5%) が最も高く、次いで「室内運動器具 (ダンベル・チューブなど) を使ってする運動」(11.4%)、「ジョギング」(11.1%) となった。

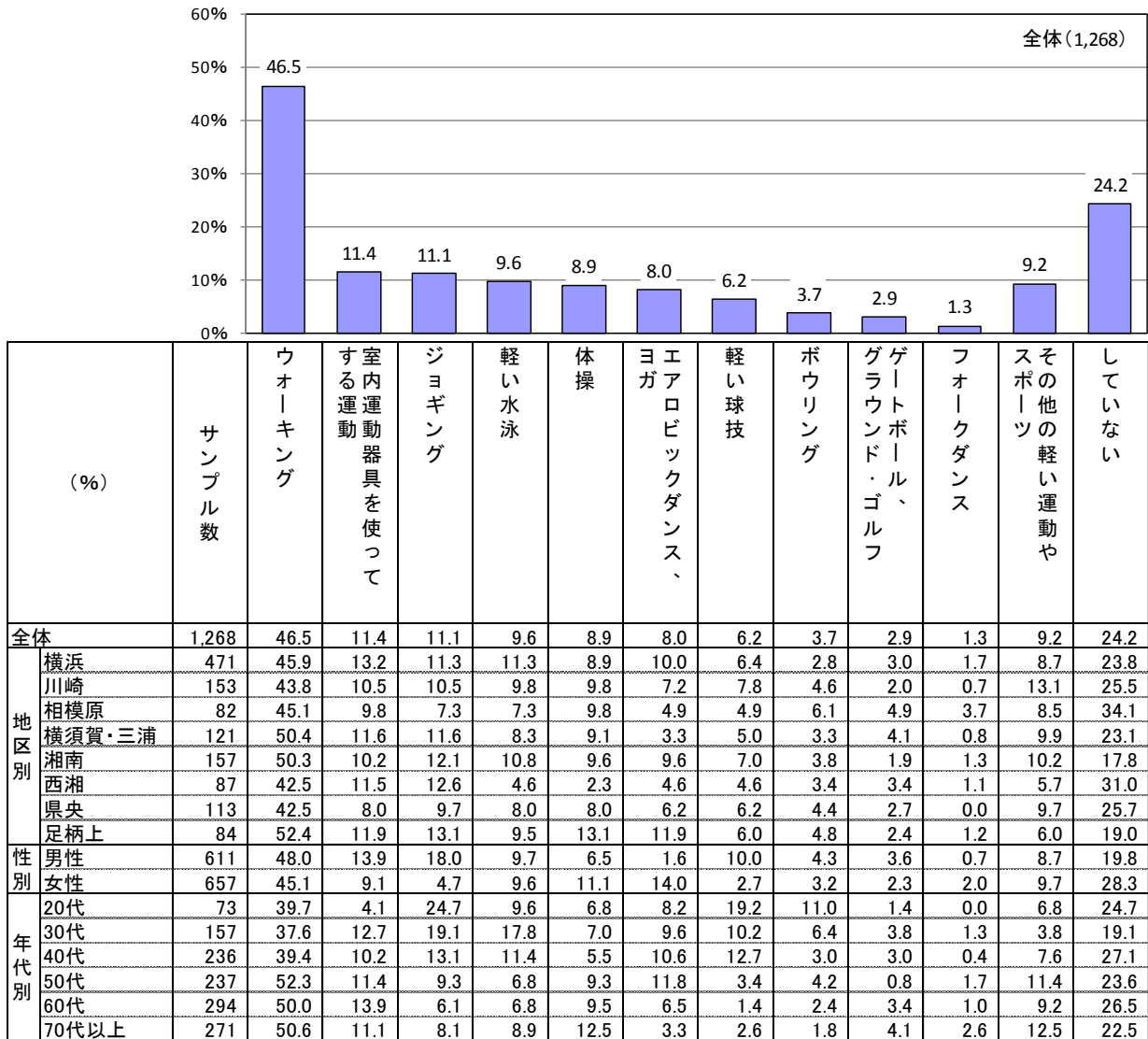
《属性別集計結果》

地区別でみると、「ウォーキング (散歩などを含む) 」は、足柄上地区 (52.4%) で、最も高かった。

性別でみると、男性の「ジョギング」(18.0%) や「軽い球技 (キャッチボール、バドミントン、テニスなど)」(10.0%) は、女性に比べ高く、「エアロビックダンス、ヨガ」は女性 (14.0%) が、男性より高かった。

年代別でみると、「ウォーキング (散歩などを含む) 」は、50代 (52.3%) 以降で5割を超えている。また、「ジョギング」や「軽い球技 (キャッチボール、バドミントン、テニスなど)」は若い年代 (20～40代) で他の年代に比べて高かった。

【図表 2-1 : ≪楽しみや比較的軽い運動として行うスポーツ≫の実施/複数回答(3つまで)】



なお、「その他の軽い運動やスポーツ(種目名)」への回答は、次の通りであった(代表的回答例)。

- ・ ラジオ体操
- ・ 太極拳
- ・ ゴルフ打ち放し。
- ・ 子供と一緒に参加する運動遊び

イ 野外活動等

問3 (2) 野外活動等

あてはまる番号に、3つまで○をつけてください。

- | | |
|---------------------------|------------------------|
| 1 スキー、スノーボード | 7 ゴルフ |
| 2 海水浴（遊泳） | 8 ハンググライダーなどのスカイスポーツ |
| 3 スケート | 9 サイクリング |
| 4 登山、ハイキング | 10 釣り |
| 5 キャンプ | 11 その他の野外活動等
(種目名) |
| 6 ヨット、サーフィンなどの
マリンスポーツ | 12 していない |

《全体集計結果》

全員に、この1年間で1日あたり30分以上行った運動のうち【野外活動等】についてたずねたところ、「登山、ハイキング」(13.2%)が最も高く、次いで「ゴルフ」(9.4%)、「サイクリング」(8.4%)となった。ただし、「していない」(52.9%)は5割強であった。

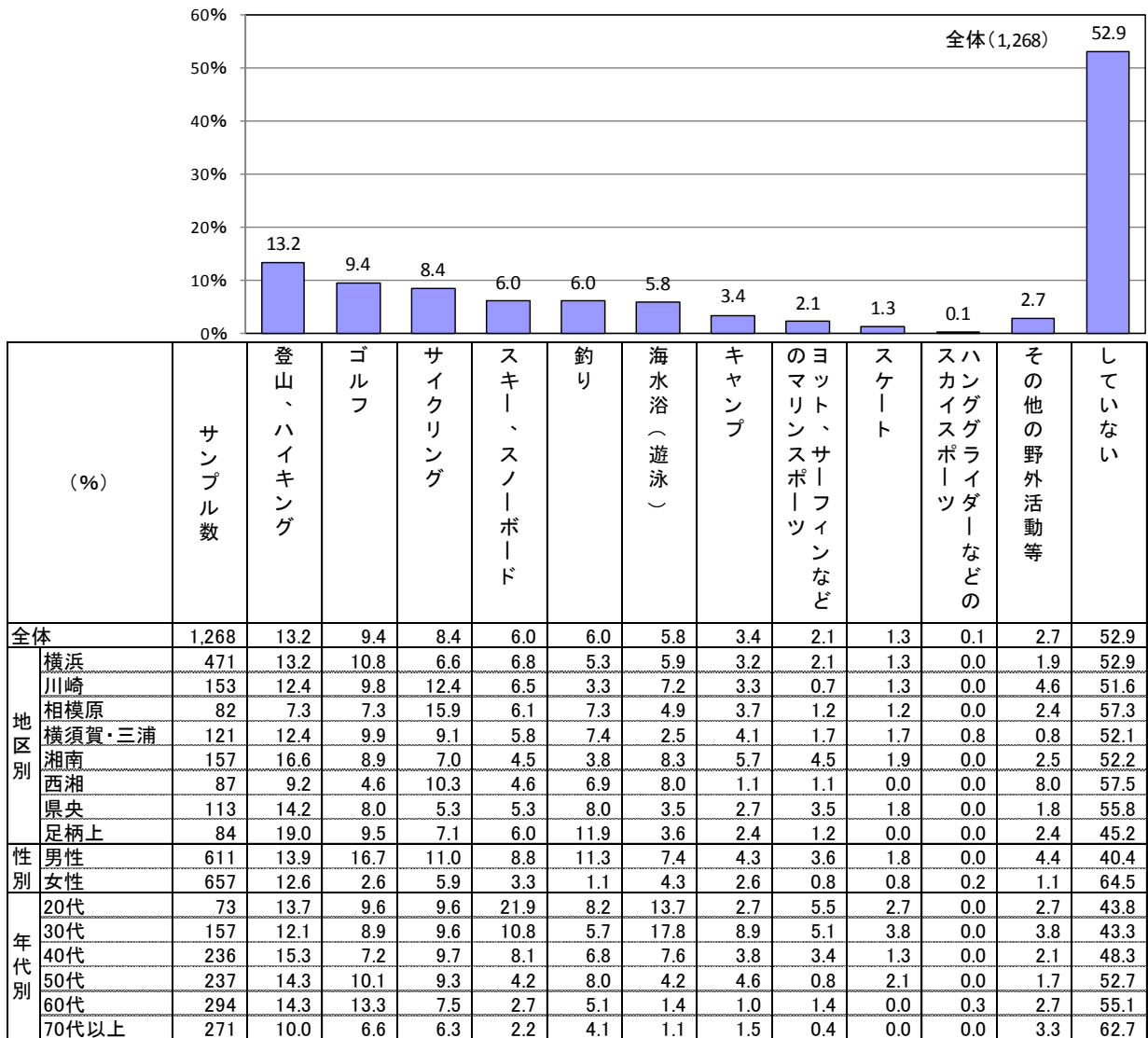
《属性別集計結果》

地区別でみると、相模原地区では「サイクリング」(15.9%)が高く、「登山、ハイキング」(7.3%)が最も低かった。また、「登山、ハイキング」(19.0%)と「釣り」(11.9%)は足柄上地区で最も高かった。

性別でみると、男性の「ゴルフ」(16.7%)や「釣り」(11.3%)は女性に比べて高く、「していない」は、女性(64.5%)が男性よりも高かった。

年代別でみると、「スキー、スノーボード」は20代(21.9%)が、「海水浴(遊泳)」は30代(17.8%)が、「ゴルフ」は60代(13.3%)が最も高かった。

【図表 2-2 : <<野外活動等>>の実施/複数回答 (3つまで)】



なお、「その他の野外活動等(種目名)」への回答は、次の通りであった(代表的回答例)。

- ・ 家庭菜園
- ・ 乗馬
- ・ パークゴルフ
- ・ ビーチバレー
- ・ 野鳥観察
- ・ ツーリング

ウ 競技として行うスポーツ

問3 (3) 競技として行うスポーツ

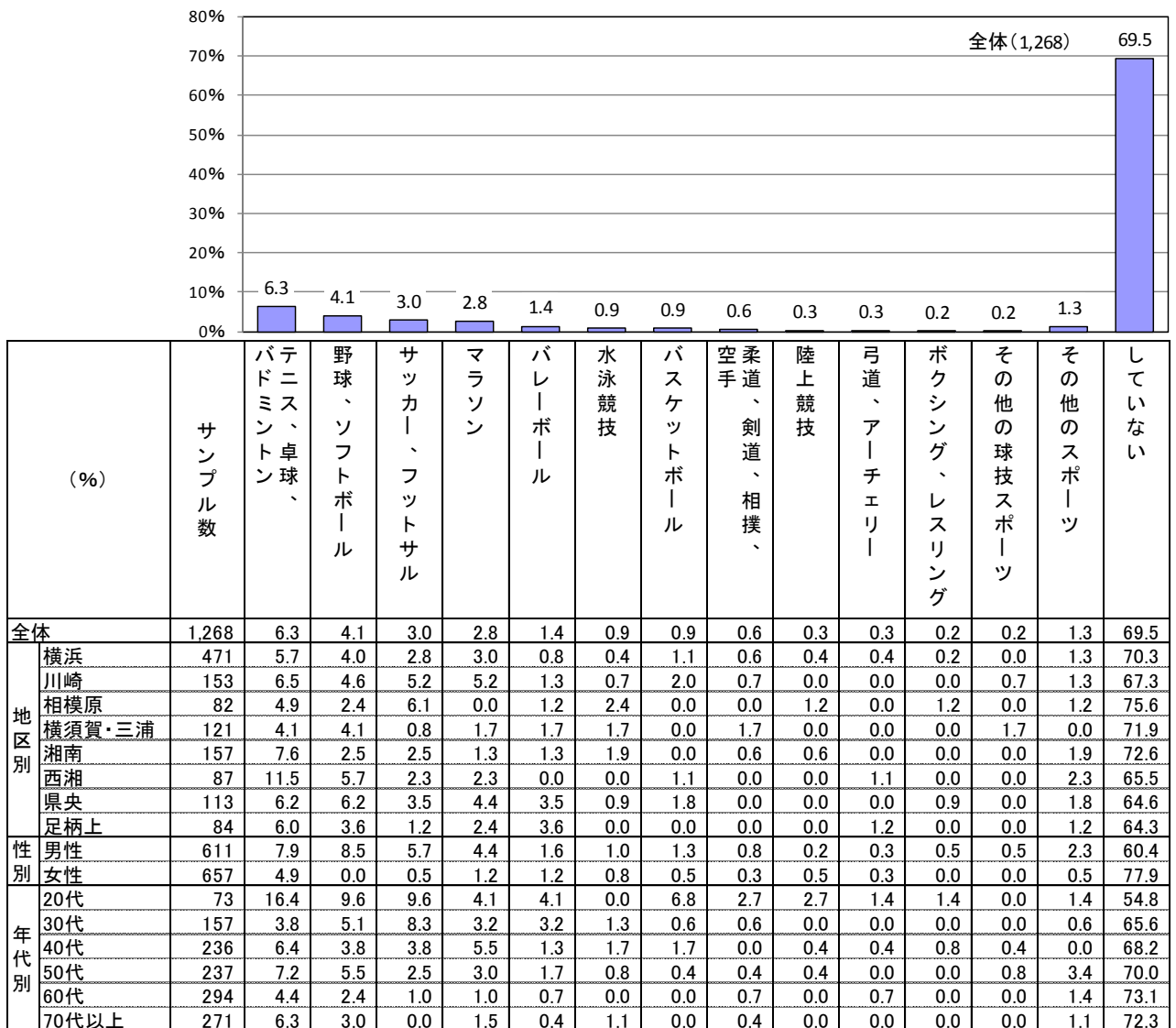
あてはまる番号に、3つまで○をつけてください。

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1 陸上競技 | 10 テニス、卓球、バドミントン |
| 2 マラソン | (車いすテニス、サウンドテーブル |
| 3 水泳競技 | テニスなどを含む) |
| 4 柔道、剣道、相撲、空手 | 11 バasketボール |
| 5 ボクシング、レスリング | (車いすBasketボールなどを含む) |
| 6 弓道、アーチェリー | 12 その他の球技スポーツ |
| 7 野球、ソフトボール | (ラグビー、ハンドボールなど) |
| 8 サッカー、フットサル | 13 その他のスポーツ |
| (ブラインドサッカーなどを含む) | (種目名) |
| 9 バレーボール | 14 していない |
| (シッティングバレーボールなど含む) | |

《全体集計結果》

全員に、この1年間で1日あたり30分以上行った運動のうち【競技として行うスポーツ】についてたずねたところ、「テニス、卓球、バドミントン(車いすテニス、サウンドテーブルテニスなどを含む)」(6.3%)が最も高く、次いで「野球、ソフトボール」(4.1%)、「サッカーフットサル(ブラインドサッカーなどを含む)」(3.0%)となった。ただし、「していない」(69.5%)が約7割であるため、属性別の結果は記載せず【図表2-3】の提示にとどめる。

【図表 2-3 : <<競技として行うスポーツ>>の実施/複数回答 (3つまで)】



なお、「その他のスポーツ (種目名)」への回答は、次の通りであった (代表的回答例)。

- ・ スノーボード
- ・ モータースポーツ、アイスホッケー
- ・ 競技スキー
- ・ ロードレース (自転車)
- ・ クラシックバレー
- ・ ジャズ体操
- ・ インディアカ

問3(1)(2)(3)で、いずれかの運動・スポーツを行った方	→ 問3(4)(5)(6)へ
問3(1)(2)(3)で、すべてに「していない」と答えた方	→ 問3(7)へ

(2) 1年間に行った運動・スポーツの日数

問3 (4) この1年間で1日に30分※以上運動・スポーツを、どの程度行いましたか。あてはまる番号に、1つだけ○をつけてください。

※1日30分とは、1回10分程度の運動を合計して30分でも構いません。

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1 週に3日以上 (151日以上) | 5 3か月に1～2日程度 (4～11日) |
| 2 週に2日程度 (101日～150日) | 6 1～3日程度 |
| 3 週に1日程度 (51日～100日) | 7 わからない |
| 4 月に1～3日程度 (12日～50日) | |

《全体集計結果》

[問3(1)(2)(3)]で、いずれかの運動・スポーツを行った人(960人)に、この1年間で30分以上運動・スポーツをどの程度行ったかたずねたところ、「週に3日以上(151日以上)」(23.8%)が最も高いものの、全体的に分散している傾向であった。なお、《週1日以上》運動・スポーツを行った人の割合は、5割台半ば(55.7%)であった。

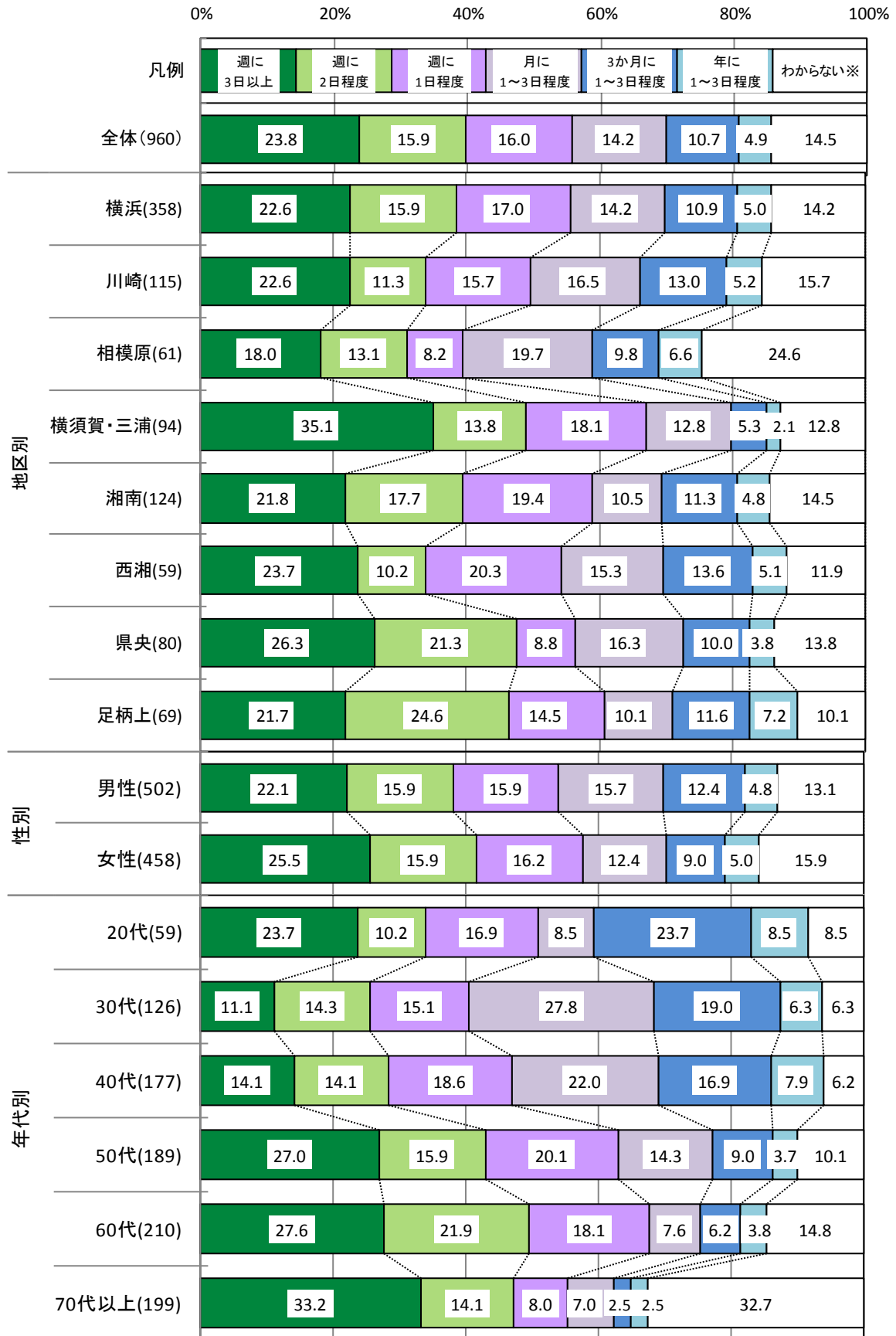
《属性別集計結果》

地区別でみると、横須賀・三浦地区は「週に3日以上(151日以上)」(35.1%)が、最も高かった。

性別でみると、「週に3日以上(151日以上)」は、女性(25.5%)が男性に比べて高かった。

年代別でみると、30代から60代にかけて、年代が上がるにつれ《週1日以上》の割合が高くなっている。《週1日以上》運動・スポーツを行っているのは、60代(67.6%)が7割弱と他の年代に比べて最も高く、30代(40.5%)が最も低かった。

【図表 2-4 : 1年間に行った運動・スポーツの日数／単一回答】



※「わからない」は、無回答者：96名を含んだ数値

【参考】

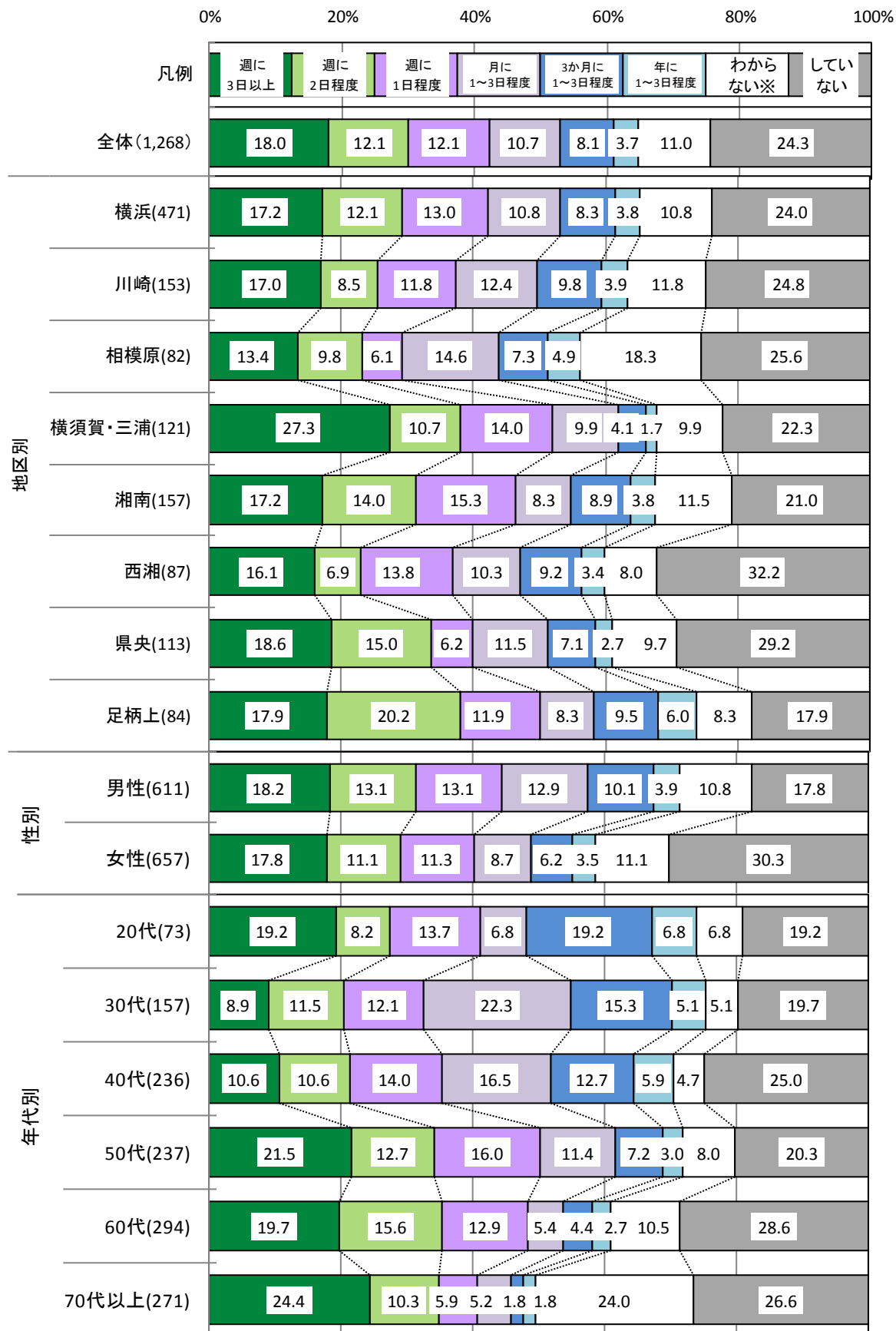
この1年間で1日あたり30分以上の運動・スポーツをしなかった層※を含め、全体からみたスポーツ実施日数は次の通りであった。

《全体集計結果》

この1年間で30分以上運動・スポーツをしなかった層※は24.3%であり、これを除けば「週に3日以上（151日以上）」（18.0%）が最も多く、次いで「週に2日程度（101日～150日）」と「週に1日程度（51日～100日）」（ともに12.1%）、「月に1～3日程度（12日～50日）」（10.7%）であった。《週1日以上》運動・スポーツを行った人の割合は、4割強（42.2%）であった。

※問3（1）（2）（3）で「していない」と答えた人及び無回答の人（308人《全体の24.3%》）

【参考図表1：「スポーツを行っていない」層を含めた1年間に行った運動・スポーツの日数／単一回答】



※「わからない」は、無回答者：96名を含んだ数値

(3) 運動・スポーツをした理由

問3 (5) この1年間で運動・スポーツをした理由は何ですか。あてはまる番号に、3つまで○をつけてください。

- | | |
|--------------------|----------------|
| 1 健康・体力づくりのため | 6 家族の触れ合いのため |
| 2 楽しみ、気晴らしのため | 7 友人・仲間との交流のため |
| 3 運動不足の解消のため | 8 美容や肥満解消のため |
| 4 精神の修養や訓練のため | 9 その他 () |
| 5 自己の記録や能力を向上させるため | 10 わからない |

《全体集計結果》

[問3(1)(2)(3)]で、いずれかの運動・スポーツを行った人(960人)に、この1年間で運動・スポーツをした理由をたずねたところ、「健康・体力づくりのため」(52.0%)が最も高く、次いで「運動不足の解消のため」(48.0%)、「楽しみ、気晴らしのため」(47.2%)となった。

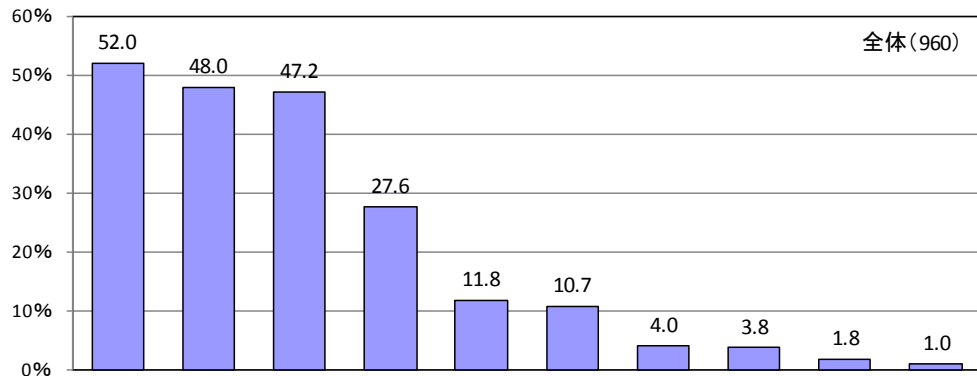
《属性別集計結果》

地区別で見ると、足柄上地区の「健康・体力づくりのため」(59.4%)、西湘地区の「運動不足解消のため」(57.6%)、相模原地区の「友人、仲間との交流のため」(36.1%)が、それぞれ他の地区に比べて高かった。なお、相模原地区では上位(「健康・体力づくりのため」「運動不足の解消のため」「楽しみ、気晴らしのため」)のすべてが他の地区より低かった。

性別で見ると、男性は「楽しみ、気晴らしのため」(52.8%)、「友人、仲間との交流のため」(32.1%)が女性に比べて高く、女性は「美容や肥満解消のため」(17.5%)が男性に比べて高かった。

年代別で見ると、「楽しみ、気晴らしのため」は20代(67.8%)が、「健康・体力づくりのため」は60代(62.9%)が、「家族の触れ合いのため」は40代(21.5%)が、それぞれ他の年代に比べて高かった。

【図表 2-5 : 運動・スポーツをした理由／複数回答（3つまで）】



(%)	サンプル数	健康・体力づくりのため	運動不足の解消のため	楽しみ、気晴らしのため	友人、仲間との交流のため	美容や肥満解消のため	家族の触れ合いのため	精神の修養や訓練のため	自己の記録や能力を向上させるため	その他	わからない	
全体	960	52.0	48.0	47.2	27.6	11.8	10.7	4.0	3.8	1.8	1.0	
地区別	横浜	358	52.2	47.5	51.7	26.5	12.3	11.2	3.9	2.8	1.7	1.1
	川崎	115	47.8	42.6	51.3	27.8	13.0	9.6	2.6	3.5	0.9	0.0
	相模原	61	32.8	37.7	36.1	36.1	13.1	9.8	4.9	0.0	3.3	1.6
	横須賀・三浦	94	56.4	46.8	44.7	33.0	12.8	8.5	2.1	3.2	2.1	0.0
	湘南	124	53.2	55.6	41.9	25.0	8.9	14.5	3.2	6.5	1.6	1.6
	西湘	59	54.2	57.6	47.5	27.1	10.2	6.8	8.5	5.1	0.0	0.0
	県央	80	56.3	50.0	45.0	25.0	12.5	13.8	2.5	6.3	1.3	2.5
	足柄上	69	59.4	46.4	42.0	26.1	10.1	7.2	7.2	4.3	4.3	1.4
性別	男性	502	52.2	48.2	52.8	32.1	6.6	8.6	4.8	5.0	1.6	1.6
	女性	458	51.7	47.8	41.0	22.7	17.5	13.1	3.1	2.4	2.0	0.4
年代別	20代	59	27.1	44.1	67.8	37.3	20.3	10.2	6.8	11.9	5.1	0.0
	30代	126	45.2	42.1	56.3	25.4	16.7	19.8	4.8	6.3	0.8	0.8
	40代	177	44.1	50.3	49.2	21.5	16.4	21.5	2.8	1.7	2.8	0.0
	50代	189	59.8	54.5	47.1	23.3	13.2	10.6	2.6	3.7	1.1	0.5
	60代	210	62.9	52.4	41.4	29.0	10.0	4.3	4.8	2.4	1.0	1.0
	70代以上	199	51.8	40.2	39.7	34.2	2.5	2.5	4.0	3.0	2.0	3.0

なお、「その他」への回答は、次の通りであった（代表的回答例）。

- ・ リハビリ運動
- ・ 会社行事
- ・ 大学の授業にて
- ・ 通勤のため
- ・ ペットの散歩を兼ねて

(4) 運動・スポーツをした効果

問3 (6) 運動・スポーツをしてどんな効果がありましたか。あてはまる番号に、3つまで ○をつけてください。

- | | |
|---------------|--------------|
| 1 健康・体力づくり | 7 友人・仲間との交流 |
| 2 楽しみ、気晴らし | 8 美容や肥満解消 |
| 3 運動不足の解消 | 9 その他 () |
| 4 精神の修養や訓練 | 10 わからない |
| 5 自己の記録や能力を向上 | 11 特に効果はなかった |
| 6 家族の触れ合い | |

《全体集計結果》

[問3(1)(2)(3)]で、いずれかの運動・スポーツを行った人(960人)に、この1年間でした運動やスポーツの効果をたずねたところ、「楽しみ、気晴らし」(48.5%)が最も高く、次いで「運動不足の解消」(44.8%)、「健康・体力づくり」(43.4%)となった。

前問【運動・スポーツの理由(問3(5))】と同様の傾向がみられた。

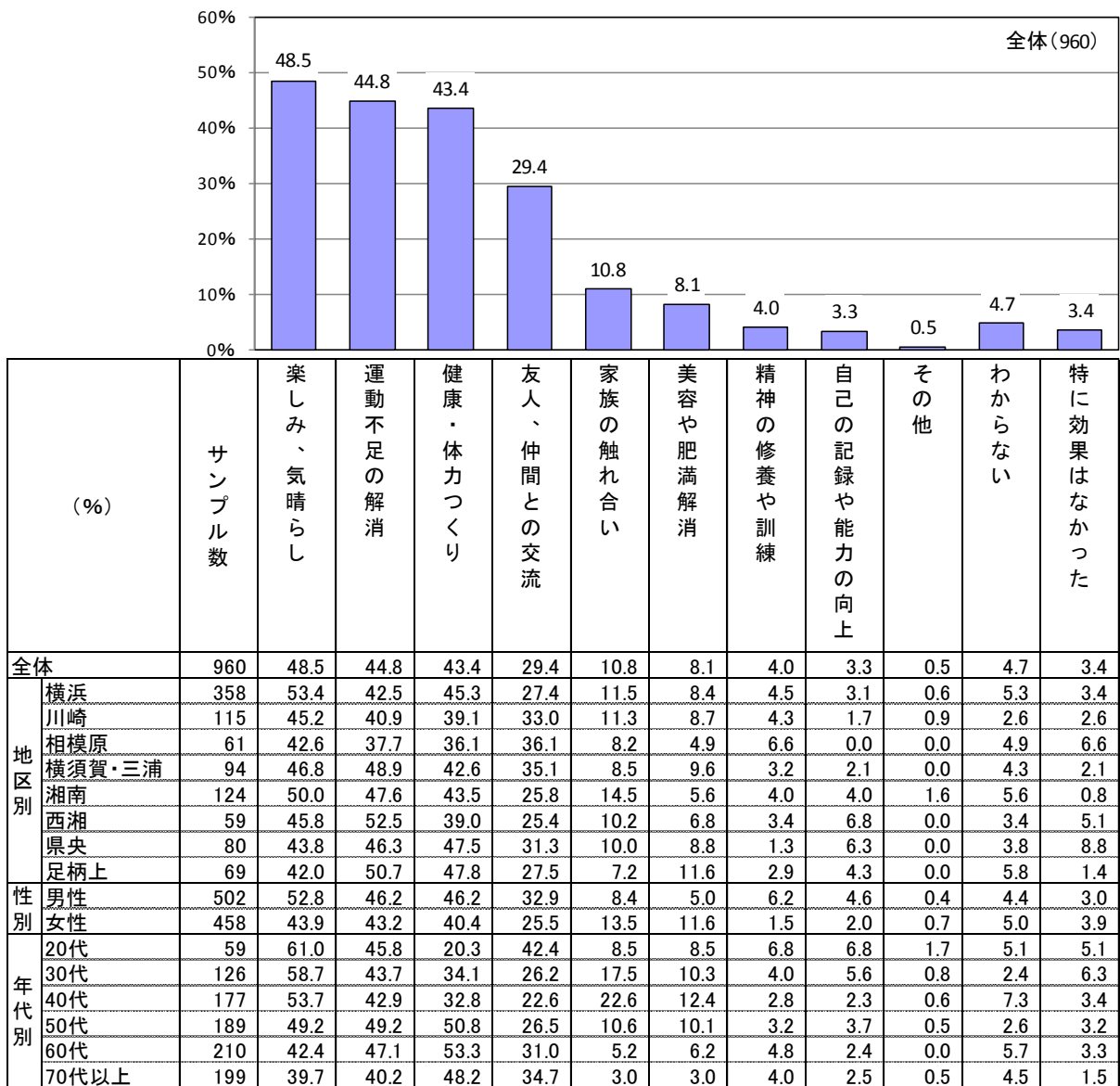
《属性別集計結果》

地区別でみると、横浜地区で「楽しみ、気晴らし」(53.4%)、西湘地区で「運動不足の解消」(52.5%)が、それぞれ他の地区に比べて高かった。

性別でみると、男性は「楽しみ、気晴らし」(52.8%)や「健康・体力づくり」(46.2%)、「友人、仲間との交流」(32.9%)が女性と比べて高く、女性は「家族の触れ合い」(13.5%)と「美容や肥満解消のため」(11.6%)が男性に比べて高かった。

年代別でみると、20代は「楽しみ、気晴らしとして」(61.0%)と「友人・仲間との交流」(42.4%)、40代は「家族の触れ合い」(22.6%)、60代は「健康・体力づくり」(53.3%)が他の年代に比べて高かった。

【図表 2-6 : 運動・スポーツをした効果／複数回答（3つまで）】



なお、「その他」への回答は、次の通りであった（代表的回答例）。

- ・ 足がつかなくなった。足首のむくみが和らぐ
- ・ 腰痛改善
- ・ バス代が節約できた

(5) 運動・スポーツをしなかった理由

問3 (7) この1年間で運動やスポーツをしなかった理由は何ですか。あてはまる番号に、3 つまで○をつけてください。

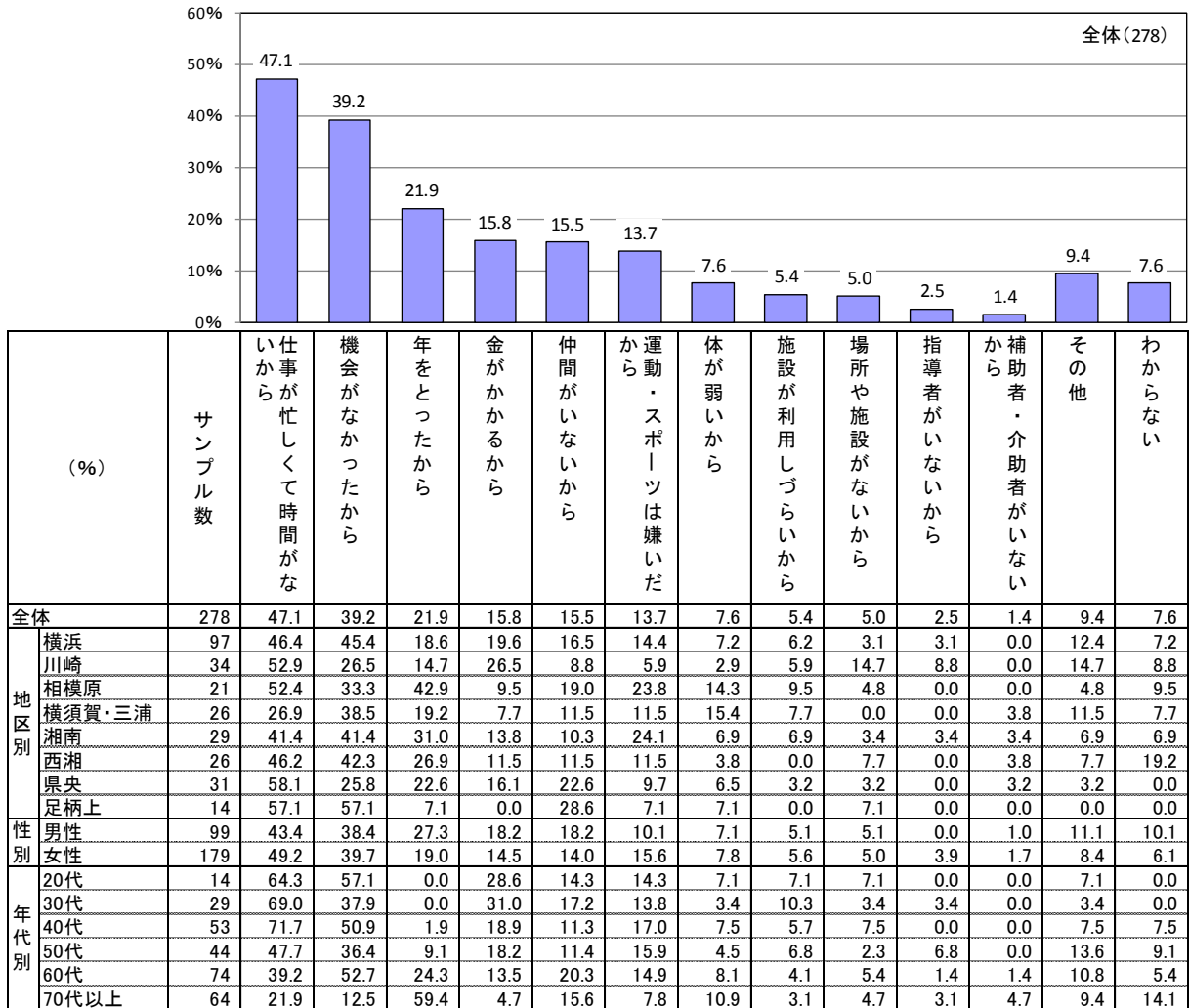
- | | |
|--------------------------------|------------------|
| 1 仕事(家事・育児を含む)が忙しくて
時間がないから | 7 指導者がいないから |
| 2 体が弱いから | 8 補助者・介助者がいないから |
| 3 年をとったから | 9 金がかかるから |
| 4 場所や施設がないから | 10 運動・スポーツは嫌いだから |
| 5 施設が利用しづらいから | 11 機会がなかったから |
| 6 仲間がいないから | 12 その他() |
| | 13 わからない |

《全体集計結果》

この1年間で30分以上運動・スポーツをしなかった人(278人)に、この1年間で運動・スポーツをしなかった理由をたずねたところ、「仕事(家事・育児を含む)が忙しくて時間がないから」(47.1%)が最も高く、次いで「機会がなかったから」(39.2%)、「年をとったから」(21.9%)の順となった。

なお、属性別集計結果のコメントは、回答者数(278人)が少ないため記載せず【図表2-7】の提示にとどめる。

【図表 2-7：運動・スポーツをしなかった理由／複数回答（3つまで）】



なお、「その他」への回答は、次の通りであった（代表的回答例）。

- ・ 体がつかれているので、出かけるより休日はゆっくり眠りたいから（昼寝したり）
- ・ 退職したから仲間がいなくなった。
- ・ 障害者である為利用施設の方法が分からない。
- ・ 介護の必要な家族がいる為、時間的に余裕がない
- ・ 膝を悪くしたから
- ・ 環境が変わったため

(6) 運動・スポーツ活動の満足度

問4 運動・スポーツについてどのようにお考えですか。あてはまる番号に、1つだけ○をつけてください。

- 1 運動・スポーツを十分に行っており、満足している
- 2 運動・スポーツを行ってはいるが、もっと行いたい
- 3 運動・スポーツを行いたいと思っはいるが、できない
- 4 運動・スポーツに関心がない

《全体集計結果》

全員に運動・スポーツ活動の満足度をたずねたところ、「運動・スポーツを行いたいと思っはいるが、できない」(46.8%)が最も高く、次いで「運動・スポーツを行ってはいるが、もっと行いたい」(27.5%)となった。また、「運動・スポーツを十分に行っており、満足している」は1割(10.0%)であった。

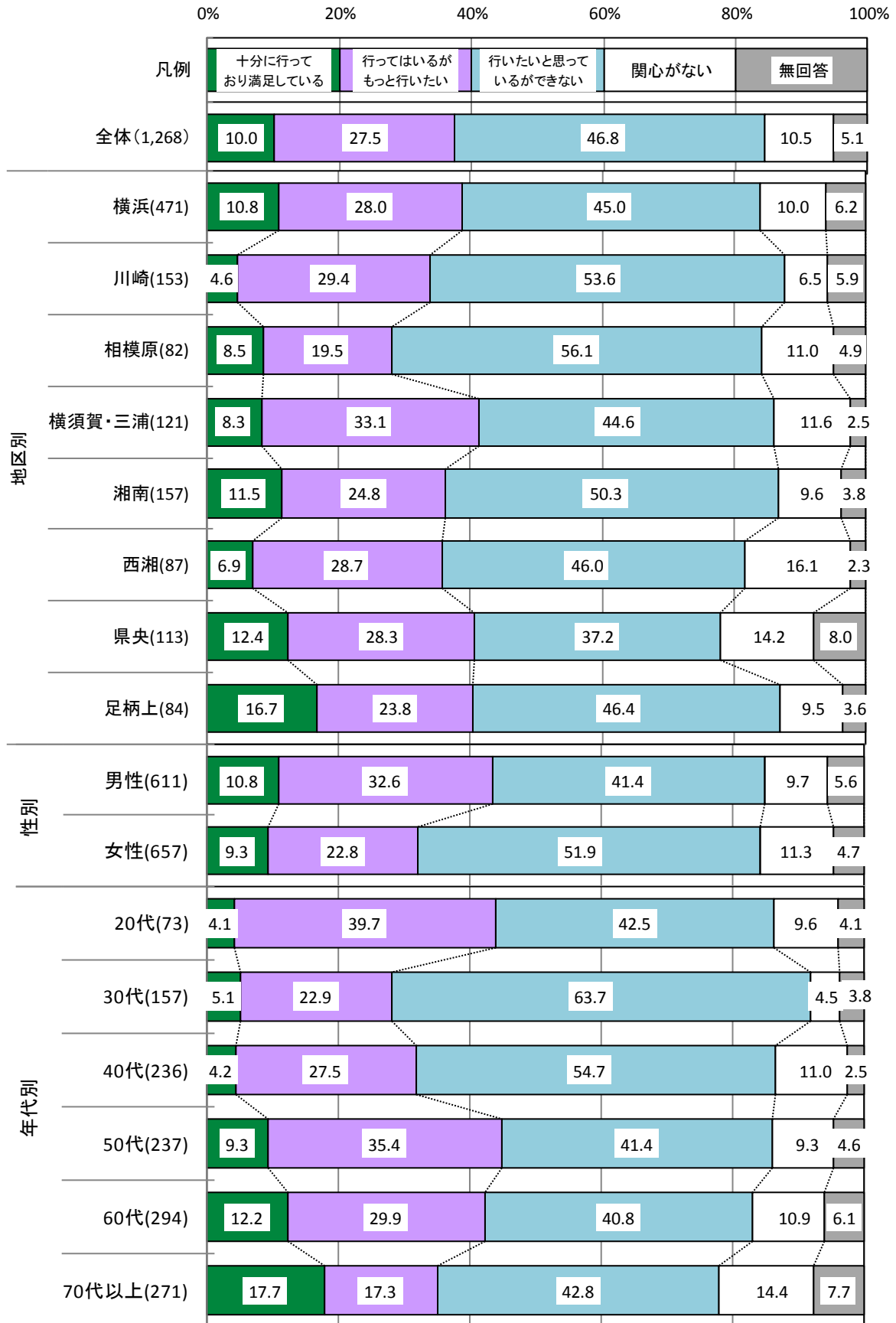
《属性別集計結果》

地区別でみると、相模原地区で「運動・スポーツを行いたいと思っはいるが、できない」(56.1%)が最も高く、「運動・スポーツを行ってはいるが、もっと行いたい」(19.5%)が最も低かった。また「運動・スポーツを十分に行っており、満足している」は、足柄上地区(16.7%)で最も高かった。

性別でみると、男性は「運動・スポーツを行ってはいるが、もっと行いたい」(32.6%)が女性に比べ高く、女性は「運動・スポーツを行いたいと思っはいるが、できない」(51.9%)が男性に比べ高かった。

年代別で見ると、20代は「運動・スポーツを行ってはいるが、もっと行いたい」(39.7%)が、30代は「運動・スポーツを行いたいと思っはいるが、できない」(63.7%)が、それぞれ他の年代に比べて高かった。また、「運動・スポーツを十分に行っており、満足している」は70代以上(17.7%)で最も高く、40代以降では年代が上がるにつれ高くなった。

【図表 2-8：運動・スポーツ活動の満足度／単一回答】



(7) 今後(も)行いたい(行ってみたい)運動・スポーツ

ア 楽しみや比較的軽い運動として行うスポーツ

問5 あなたが、今後(も)行いたい(行ってみたい)運動・スポーツには何がありますか。

(1) 楽しみや比較的軽い運動として行うスポーツ (2) 野外活動等 (3) 競技として行うスポーツに分けて、回答してください。

(1) 楽しみや比較的軽い運動として行うスポーツ

あてはまる番号に、3つまで○をつけてください。

- | | |
|---|--|
| 1 軽い球技(キャッチボールなど) | 8 ジョギング |
| 2 体操(縄跳びを含む) | 9 軽い水泳
(水中ウォーキングなどを含む) |
| 3 エアロビックダンス、ヨガ | 10 室内運動器具
(ダンベル・チューブなど)を
使ってする運動 |
| 4 ウォーキング(散歩などを含む) | 11 その他の軽い運動やスポーツ
(種目名) |
| 5 フォークダンス
(社交ダンス、民踊、
車いすダンスなどを含む) | 12 比較的軽い運動・スポーツには
関心がない |
| 6 ボウリング | |
| 7 ゲートボール、グラウンド・
ゴルフ | |

《全体集計結果》

全員に、今後(も)行いたい(行ってみたい)運動やスポーツのうち【楽しみや比較的軽い運動として行うスポーツ】についてたずねたところ、「ウォーキング(散歩などを含む)」(46.9%)が最も高く、次いで「軽い水泳(水中ウォーキングなどを含む)」(28.6%)、「エアロビックダンス、ヨガ」(21.5%)となった。なお、「比較的軽い運動・スポーツには関心がない」は、1割弱(8.4%)であった。

《属性別集計結果》

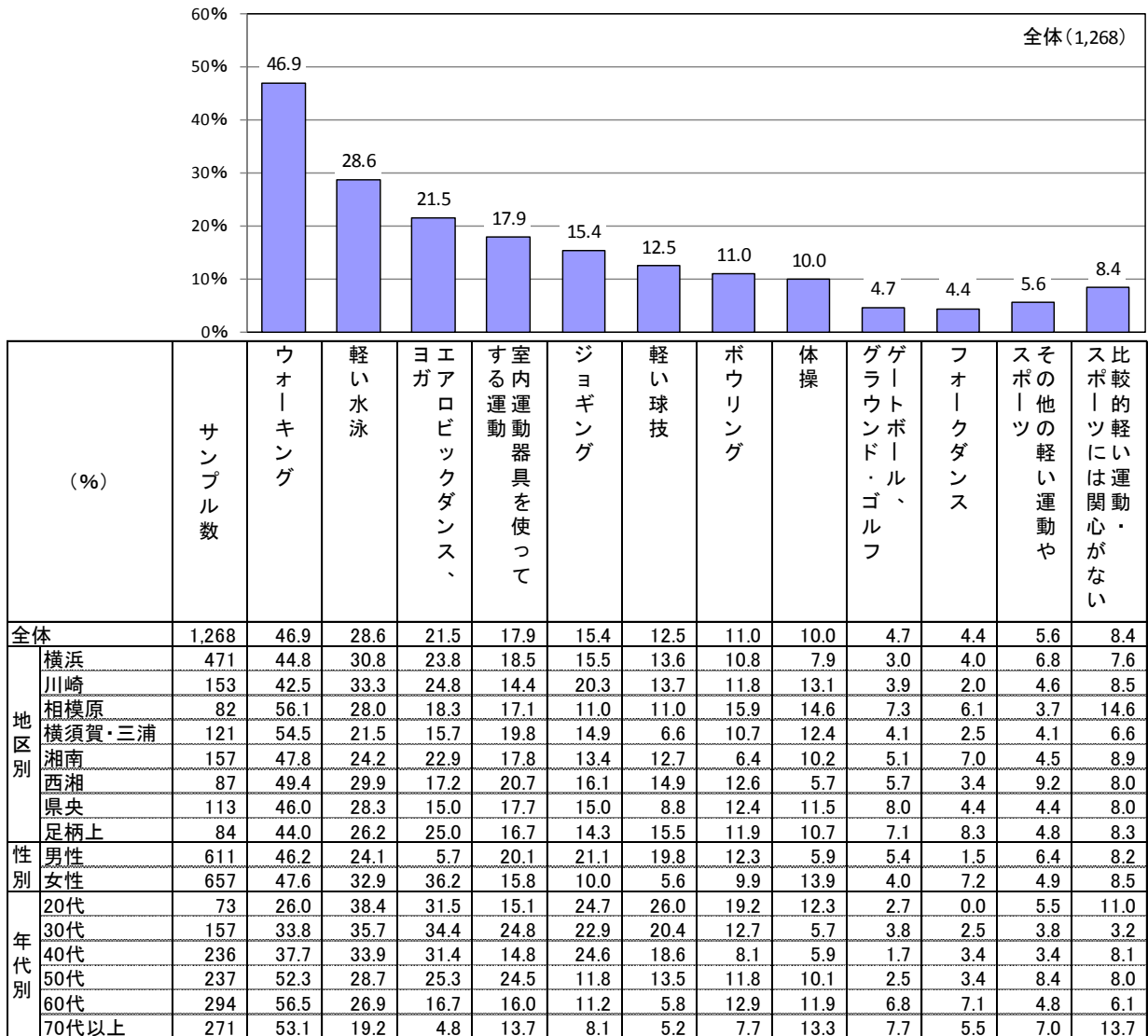
地区別でみると、「ウォーキング(散歩などを含む)」は相模原地区(56.1%)、横須賀・三浦地区(54.5%)の順で高かった。また、「軽い水泳(水中ウォーキングなどを含む)」は、川崎地区(33.3%)で最も高く、横須賀・三浦地区(21.5%)で最も低かった。その他に、「ジョギング」は川崎地区(20.3%)、「ボウリング」は相模原地区(15.9%)で、最も高かった。

性別でみると、「エアロビックダンス、ヨガ」は女性(36.2%)が男性に比べて高く、「軽い球技(キャッチボール)」は男性(19.8%)が女性に比べて高かった。

年代別でみると、「ウォーキング(散歩などを含む)」の60代までは年代が上がるにつれ高くなり、「軽い水泳(水中ウォーキングなどを含む)」と「軽い球技(キャッチボール)」は若い年代ほど高かった。

【図表 2-9：「楽しみや比較的軽い運動として行うスポーツ」の実施意向

／複数回答（3つまで）】



なお、「その他の軽い運動やスポーツ（種目名）」への回答は、次の通りであった（代表的回答例）。

- ・ ボルダリング
- ・ JAZZダンス・ヒップホップダンス
- ・ ストレッチ

イ 野外活動等

問5 (2) 野外活動等

あてはまる番号に、3つまで○をつけてください。

- | | |
|---------------------------|------------------------|
| 1 スキー、スノーボード | 7 ゴルフ |
| 2 海水浴（遊泳） | 8 ハンググライダーなどのスカイスポーツ |
| 3 スケート | 9 サイクリング |
| 4 登山、ハイキング | 10 釣り |
| 5 キャンプ | 11 その他の野外活動等
(種目名) |
| 6 ヨット、サーフィンなどの
マリンスポーツ | 12 野外活動等には関心がない |

《全体集計結果》

全員に、今後（も）行いたい（行ってみたい）運動やスポーツのうち【野外活動等】についてたずねたところ、「登山、ハイキング」（33.6%）が最も高く、次いで「サイクリング」（19.6%）、「ゴルフ」（16.4%）となった。なお、「野外活動等には関心がない」は、約2割（20.3%）であった。

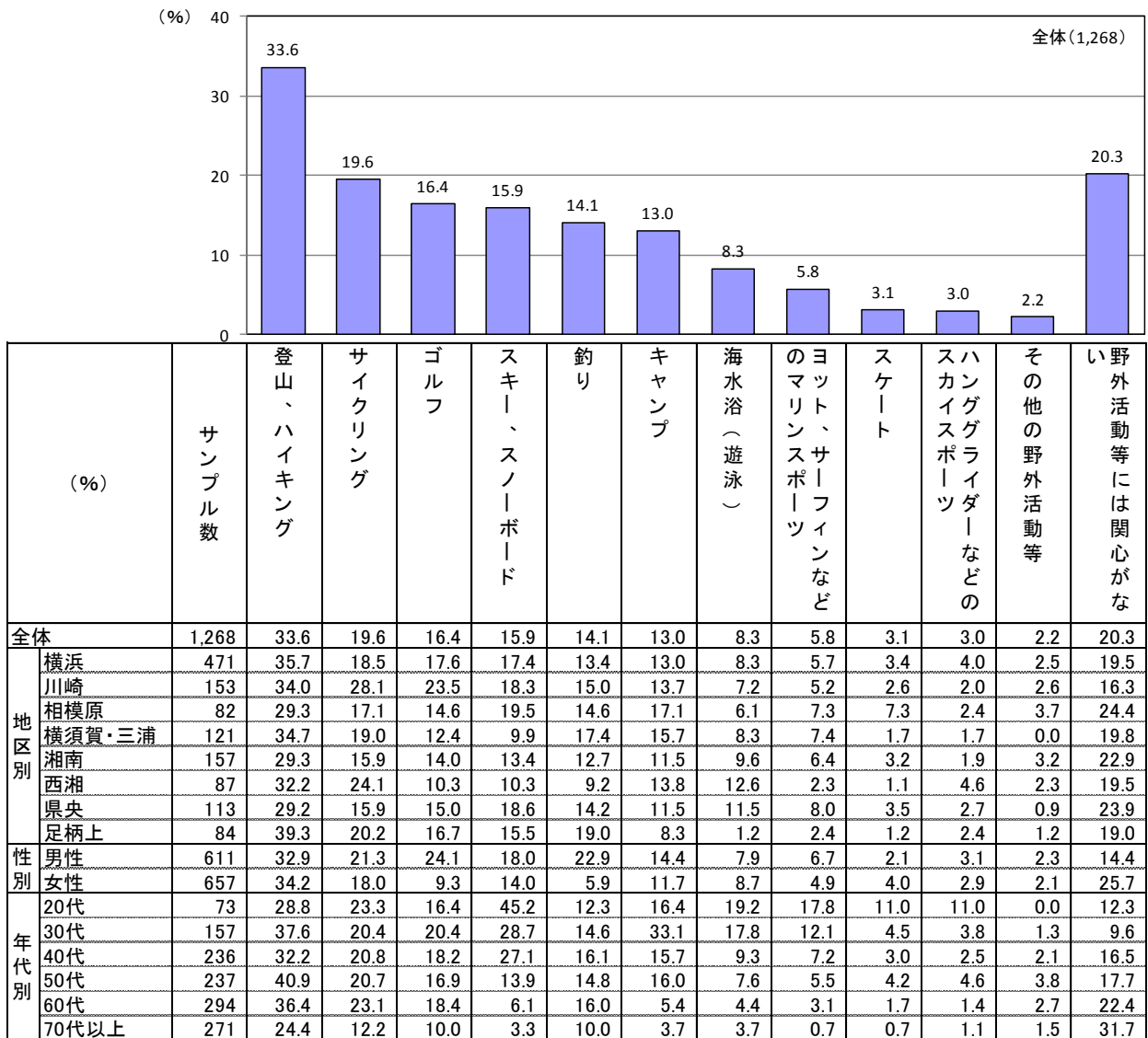
《属性別集計結果》

地区別でみると、川崎地区の「サイクリング」（28.1%）と「ゴルフ」（23.5%）が他の地区に比べて高く、足柄上地区の「海水浴（遊泳）」（1.2%）は他の地区に比べて低かった。

性別でみると、男性の「ゴルフ」（24.1%）、「釣り」（22.9%）が女性に比べて高かった。

年代別でみると、「登山、ハイキング」は50代（40.9%）で最も高くなっている。また、「スキー、スノーボード」や「海水浴（遊泳）」、「ヨット、サーフィンなどのマリンスポーツ」では、若い年代ほど高かった。20代の「スキー、スノーボード」（45.2%）と、30代の「キャンプ」（33.1%）は、他の年代に比べて15ポイント以上高かった。

【図表2-10：「野外活動等」の実施意向（全体結果）／複数回答（3つまで）】



なお、「その他の野外活動等（種目名）」への回答は、次の通りであった（代表的回答例）。

- ・ 耕作を伴う野菜栽培
- ・ モータースポーツ
- ・ ローラースケート
- ・ バイクツーリング
- ・ アーチェリー

ウ 競技として行うスポーツ

問5 (3) 競技として行うスポーツ

あてはまる番号に、3つまで○をつけてください。

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| 1 陸上競技 | 10 テニス、卓球、バドミントン |
| 2 マラソン | (車いすテニス、サウンドテーブル |
| 3 水泳競技 | テニスなどを含む) |
| 4 柔道、剣道、相撲、空手 | 11 バasketボール |
| 5 ボクシング、レスリング | (車いすバケットボールなどを含む) |
| 6 弓道、アーチェリー | 12 その他の球技スポーツ |
| 7 野球、ソフトボール | (ラグビー、ハンドボールなど) |
| 8 サッカー、フットサル | 13 その他のスポーツ |
| (ブラインドサッカーなどを含む) | (種目名) |
| 9 バレーボール | 14 競技として行うスポーツには関心がない |
| (シッティングバレーボールなどを含む) | |

《全体集計結果》

全員に、今後(も)行いたい(行ってみたい)運動やスポーツのうち【競技として行うスポーツ】をたずねたところ、「テニス、卓球、バドミントン(車いすテニス、サウンドテーブルテニスなどを含む)」(23.3%)が最も高く、他の競技はいずれも1割未満であった。ただし「競技として行うスポーツには関心がない」は、4割強(41.8%)であった。

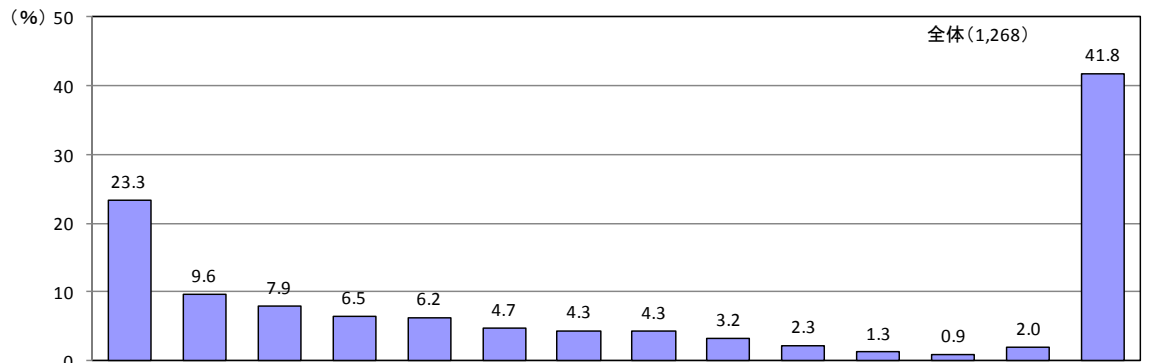
《属性別集計結果》

地区別でみると、西湘地区の「テニス、卓球、バドミントン(車いすテニス、サウンドテーブルテニスなどを含む)」(32.2%)、川崎地区の「マラソン」(11.8%)と「バasketボール(車いすバケットボールなどを含む)」(10.5%)、相模原地区の「柔道、剣道、相撲、空手」(8.5%)が、他の地区に比べて高かった。

性別でみると、男性は「野球、ソフトボール」(17.5%)、「サッカー、フットサル」(11.1%)が女性に比べて高かった。

年代別でみると、「テニス、卓球、バドミントン(車いすテニス、サウンドテーブルテニスなどを含む)」は20代(39.7%)が最も高く、70代以上(12.9%)で最も低かった。また、「サッカー、フットサル」は30代(19.1%)が、「バasketボール(車いすバケットボールなどを含む)」は20代(16.4%)が他の年代に比べて高かった。

【図表2-11：「競技として行うスポーツ」の実施意向／複数回答（3つまで）】



(%)	サンプル数	バドミントン	テニス、卓球	野球、ソフトボール	マラソン	サッカー、フットサル	水泳競技	バレーボール	バスケットボール	弓道、アーチェリー	柔道、剣道、相撲、空手	陸上競技	ボクシング、レスリング	その他の球技スポーツ	その他のスポーツ	競技として行うスポーツ（競技として行うスポーツに関心がない）
全体	1,268	23.3	9.6	7.9	6.5	6.2	4.7	4.3	4.3	3.2	2.3	1.3	0.9	2.0	41.8	
地区別	横浜	471	24.6	10.8	9.3	7.4	7.2	3.8	4.2	5.1	3.6	2.3	1.3	1.1	1.7	41.8
	川崎	153	25.5	11.8	11.8	5.9	6.5	6.5	10.5	2.0	2.6	3.9	0.7	0.7	3.3	38.6
	相模原	82	23.2	6.1	4.9	6.1	7.3	8.5	1.2	6.1	8.5	3.7	3.7	1.2	2.4	46.3
	横須賀・三浦	121	15.7	9.1	5.0	3.3	5.0	4.1	0.8	4.1	5.0	0.0	1.7	1.7	0.0	46.3
	湘南	157	26.1	5.1	6.4	7.0	6.4	1.9	2.5	4.5	1.3	1.9	0.0	0.0	3.2	43.9
	西湘	87	32.2	9.2	5.7	8.0	3.4	3.4	3.4	5.7	2.3	4.6	0.0	1.1	1.1	29.9
	県央	113	19.5	11.5	5.3	7.1	7.1	5.3	4.4	1.8	1.8	0.9	1.8	1.8	3.5	44.2
	足柄上	84	14.3	9.5	8.3	3.6	2.4	8.3	6.0	3.6	1.2	1.2	2.4	0.0	0.0	41.7
性別	男性	611	21.8	17.5	8.2	11.1	6.1	3.8	4.9	4.1	4.3	2.6	1.3	1.5	3.1	35.2
	女性	657	24.8	2.3	7.6	2.1	6.4	5.5	3.8	4.4	2.3	2.0	1.2	0.5	0.9	47.9
年代別	20代	73	39.7	17.8	12.3	15.1	15.1	6.8	16.4	11.0	9.6	1.4	4.1	1.4	1.4	26.0
	30代	157	25.5	12.1	14.0	19.1	9.6	7.6	11.5	4.5	5.1	1.9	3.2	1.3	1.3	31.2
	40代	236	29.2	10.6	15.3	10.2	5.1	5.9	6.4	4.7	3.8	1.3	2.1	0.8	0.8	36.4
	50代	237	28.7	13.5	6.8	3.4	4.6	4.2	2.1	4.2	2.5	5.5	0.8	1.3	4.6	42.6
	60代	294	18.7	5.8	2.7	2.4	6.5	4.8	1.0	3.4	2.4	1.4	0.0	1.0	1.4	48.3
	70代以上	271	12.9	5.9	3.3	0.7	4.1	1.5	0.7	3.0	1.5	1.8	0.4	0.4	1.8	49.1

なお、「その他のスポーツ（種目名）」への回答は、次の通りであった（代表的回答例）。

- ・ トライアスロン
- ・ 合気道
- ・ ダンス

3 スポーツ施設

(1) 公立スポーツ施設設置状況

問6 (1) 公立スポーツ施設（体育館、グラウンド、プール、テニスコート等）の設置状況は
どうですか。あてはまる番号に、1つだけ○をつけてください。

- 1 十分整備されている
- 2 施設の数はあるが、整備内容が不十分
- 3 施設の数が少ないが、整備内容は十分
- 4 施設の数も整備内容も不十分
- 5 その他（ ）
- 6 わからない

《全体集計結果》

全員に、公立スポーツ施設の設置状況についてたずねたところ、「施設の数も整備内容も不十分」（17.9%）が最も高く、次いで「十分整備されている」（14.7%）、「施設の数が少ないが、整備内容は十分」（8.7%）となった。ただし、4割台半ば（46.8%）の人は、「わからない」と回答している。

《属性別集計結果》

地区別でみると、「施設の数も整備内容も不十分」は、足柄上地区（28.6%）と横須賀・三浦地区（26.4%）、西湘地区（24.1%）の順で高く、相模原地区（4.9%）で最も低かった。また「十分整備されている」は、県央地区（24.8%）、湘南地区（21.0%）の順で高かった。

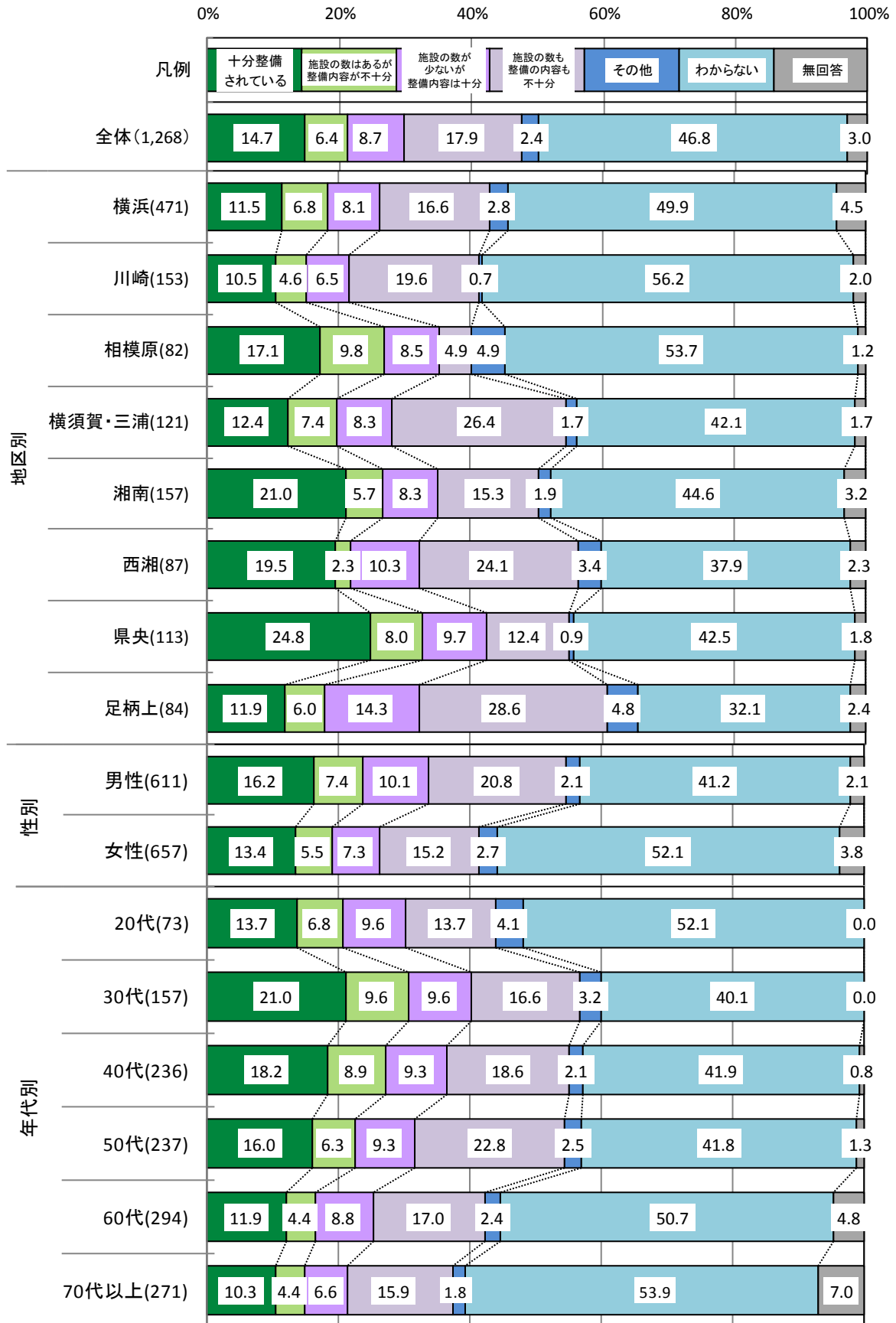
性別でみると、「施設の数も整備内容も不十分」は男性（20.8%）が、女性に比べて高かった。

年代別でみると、「十分整備されている」は30代（21.0%）が最も高く、以降年代が上がるにつれて低くなった。

なお、「その他」への回答は、次の通りであった（代表的回答例）。

- ・ 場所が確保できないからだとは思いますが、体育館・プール等が一つの場所に集まっていないので不便。2つあっても、せまい、不足がある
- ・ 遠い。だいたい丘の上にある不便な所。
- ・ 具体的な数はわからないが、最寄りにプールがなく残念に思っている。
- ・ 地域が偏っている。

【図表3-1：公立スポーツ施設設置状況／単一回答】



(2) 公立スポーツ施設への要望

問6 (2) 公立スポーツ施設(体育館、グラウンド、プール、テニスコート等)に対して要望等がありますか。あてはまる番号に、3つまで○をつけてください。

- 1 施設数の増加
- 2 指導者の配置
- 3 専門的なスタッフの配置
- 4 初心者向けのスポーツ教室やスポーツ行事の充実
- 5 利用手続き、料金支払い方法の簡略化
- 6 利用時間帯の拡大(早朝、夜間など)
- 7 利用案内など広報の充実
- 8 アフタースポーツのための施設(レストランなど)の充実
- 9 高齢者や障害者が利用しやすい施設・設備の整備
- 10 健康やスポーツに関する情報の充実
- 11 託児施設の充実
- 12 駐車場の整備
- 13 その他()
- 14 わからない

《全体集計結果》

全員に、公立スポーツ施設への要望をたずねたところ、「施設数の増加」(23.6%)が最も高く、次いで「初心者向けのスポーツ教室やスポーツ行事の充実」(20.1%)、「利用案内など広報の充実」(14.4%)となった。ただし、「わからない」は、3割強(32.1%)であった。

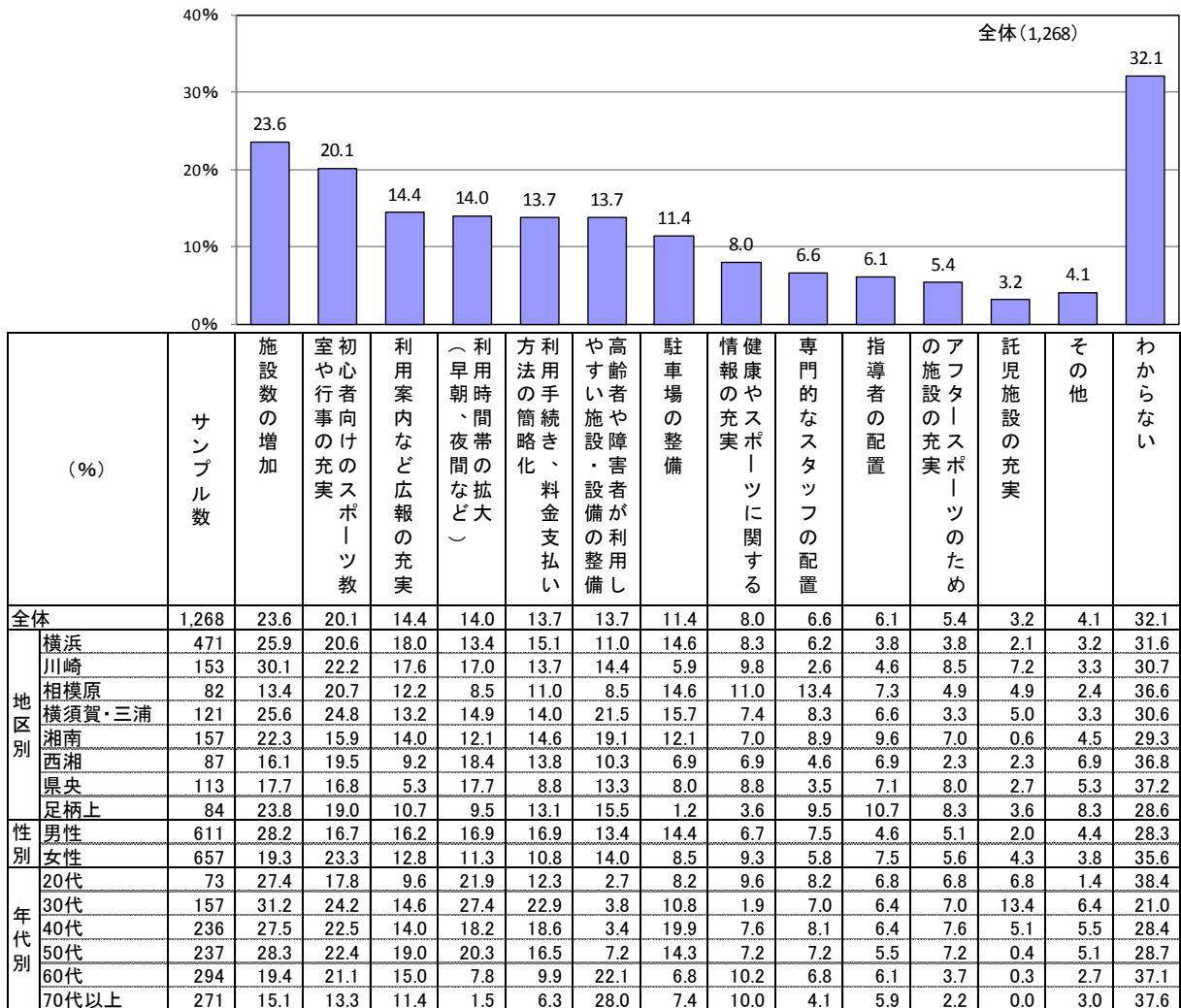
《属性別集計結果》

地区別でみると、「施設数の増加」は川崎地区(30.1%)が最も高く、相模原地区(13.4%)で最も低かった。また、「高齢者や障害者が利用しやすい施設・設備の整備」は横須賀・三浦地区(21.5%)で、「専門的なスタッフの配置」は相模原地区(13.4%)で最も高く、「利用案内など広報の充実」は県央地区(5.3%)、「駐車場の整備」は足柄上地区(1.2%)で最も低かった。

性別でみると、男性は「施設数の増加」(28.2%)が女性に比べて高かった。また、女性は「初心者向けのスポーツ教室やスポーツ行事の充実」(23.3%)が男性に比べて高かった。

年代別でみると、30代では複数の項目(「施設数の増加」「利用時間帯の拡大(早朝、夜間など)」「初心者向けのスポーツ教室やスポーツ行事の充実」「利用手続き、料金支払い方法の簡略化」「託児施設の充実」)で、他の年代に比べて高かった。また、60代以上では「高齢者や障害者が利用しやすい施設・設備の整備」が2割以上で他の年代に比べて高く、「利用時間帯の拡大(早朝、夜間など)」は1割を下回り他の年代に比べて低かった。

【図表3-2：公共スポーツ施設への要望／複数回答（3つまで）】



なお、「その他」への回答は、次の通りであった（代表的回答例）。

- ・ 特別に登録しなくても、施設に行けばその場ですぐに指導をうけられると良いと思う。
- ・ 車がないので遠い所にセンター他がたくさんあってもかよえない。
- ・ 病気を持った人であったスポーツ指導のできる人の配置が必要。持病があるからスポーツは無理とあきらめている。

(3) 学校の体育施設利用状況

問6(3) この1年間で、学校の体育施設(運動場、体育館、プールなど)を、運動やスポーツの目的のために利用しましたか。(学校主催による運動会等への参加は除きます)

1 利用した →問6(5)へ

2 利用しなかった →問6(4)(5)へ

《全体集計結果》

全員に、この1年間の学校の体育施設利用状況をたずねたところ、「利用した」は7.7%、「利用しなかった」は85.6%であった。

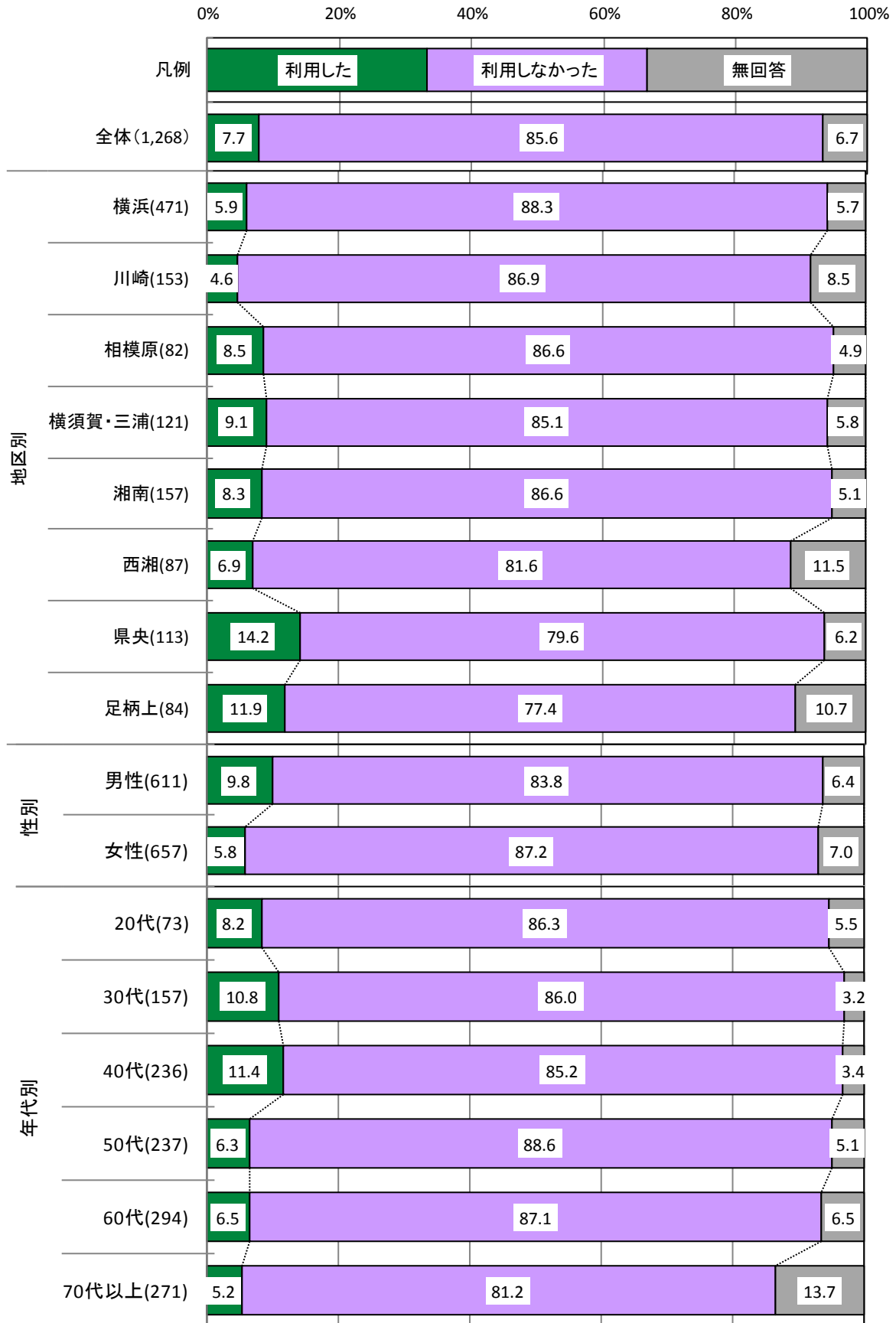
《属性別集計結果》

地区別でみると、「利用した」は県央地区(14.2%)と足柄上地区(11.9%)で1割以上と、他の地区に比べて高かった。

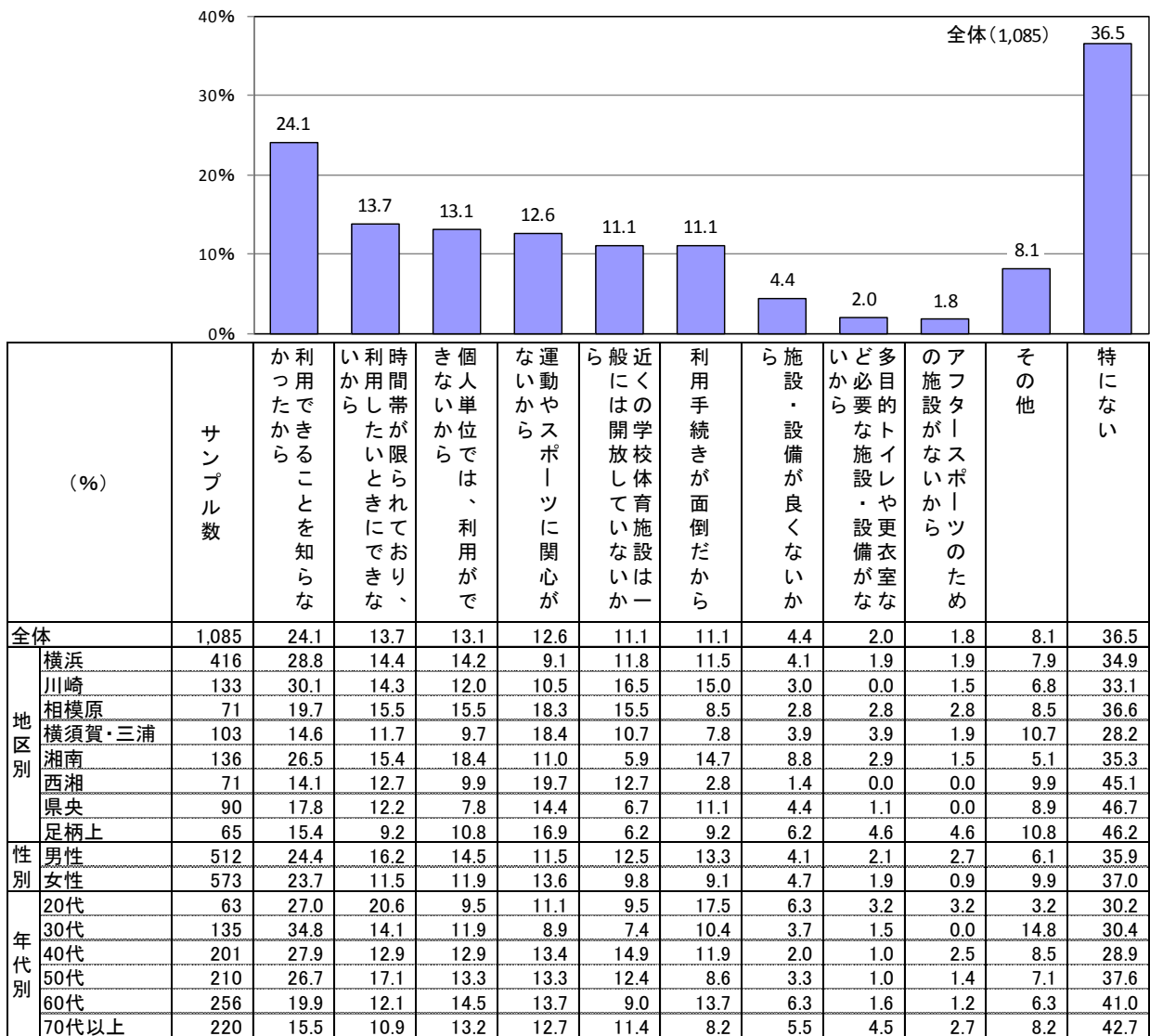
性別でみると、「利用した」は男性(9.8%)が女性に比べ高かった。

年代別でみると、「利用した」は40代(11.4%)と30代(10.8%)で1割以上と、他の年代に比べて高かった。

【図表 3 - 3 : 学校の体育施設利用状況／単一回答】



【図表3-4：学校の体育施設を利用しなかった理由／複数回答（3つまで）】



なお、「その他」への回答は、次の通りであった（代表的回答例）。

- ・ 抽選まちで予定がたたないため
- ・ 情報がない（どこに何の利用施設があるか利用方法等など）
- ・ 個人で利用できるような器具や設備がないため
- ・ 体育館—利用団体が決定しており利用出来ない様々な要素がある

(5) 今後設置を希望する公共スポーツ施設

問6 (5) 今後、設置を希望する公共のスポーツ施設は何ですか。あてはまる番号に、3つまで○をつけてください。

- | | |
|----------------|--------------------------------|
| 1 屋内プール | 11 柔・剣道場 |
| 2 屋外プール | 12 弓道場 |
| 3 体育館 | 13 漕艇場・カヌー場 |
| 4 多目的運動広場 | 14 射撃場 |
| 5 陸上競技場 | 15 卓球場 |
| 6 野球場（ソフトボール場） | 16 スケート場 |
| 7 テニスコート | 17 キャンプ場 |
| 8 トレーニング場 | 18 フットサル場 |
| 9 サッカー・ラグビー場 | 19 その他（ ） |
| 10 ゴルフ場 | 20 特にない |

《全体集計結果》

全員に、今後設置を希望する公共スポーツ施設についてたずねたところ、「屋内プール」(30.8%)が最も高く、次いで「多目的運動広場」(16.6%)、「トレーニング場」(12.6%)となった。ただし「特にない」が、3割強(31.1%)であった。

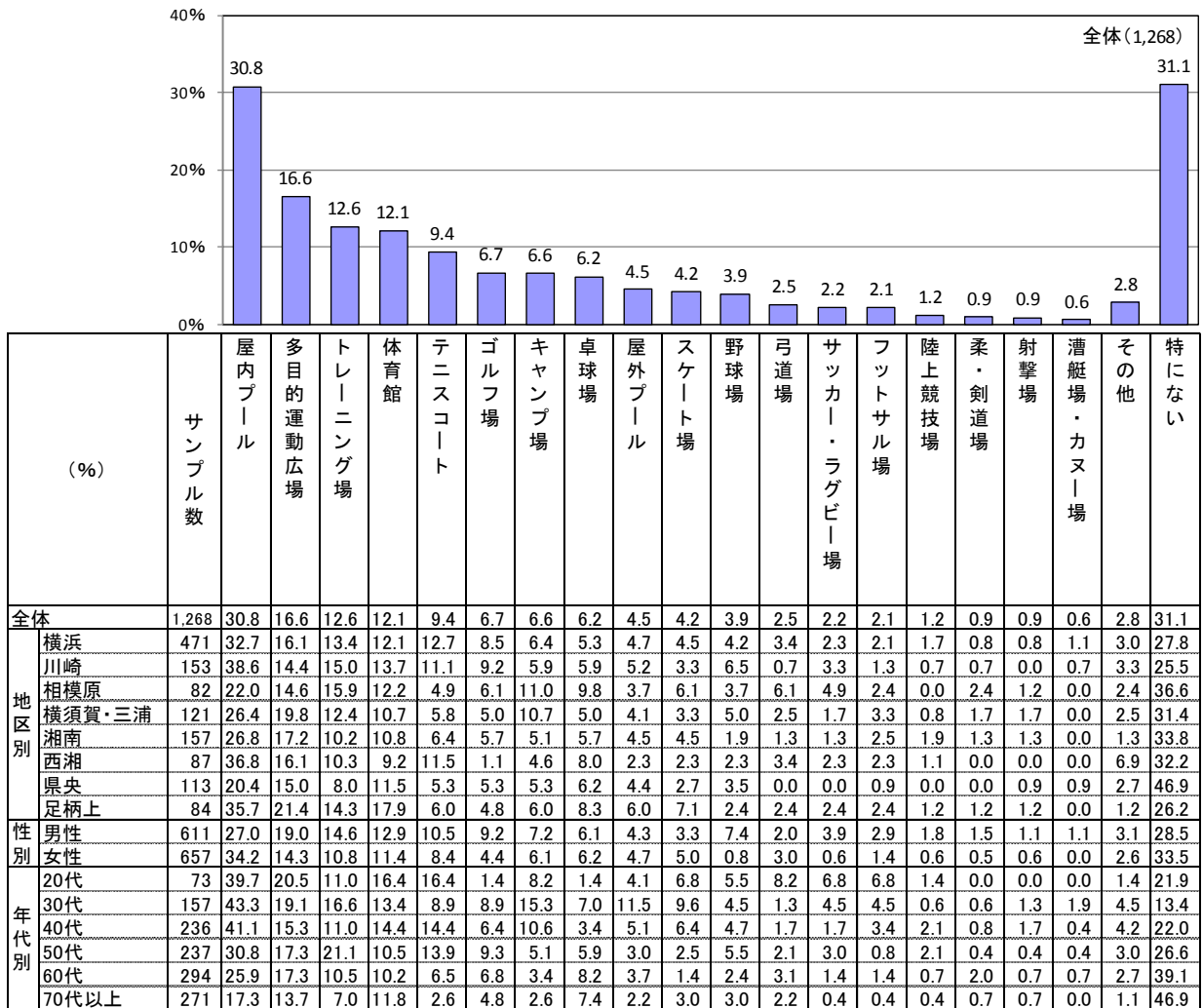
《属性別集計結果》

地区別でみると、「屋内プール」は川崎地区(38.6%)が最も高く、県央地区(20.4%)で最も低かった。また、足柄上地区の「多目的運動広場」(21.4%)と「体育館」(17.9%)が他の地区に比べて高く、県央地区は「トレーニング場」(8.0%)が最も低かった。

性別でみると、主な施設では、男性が複数項目（「多目的運動広場」(19.0%)、「トレーニング場」(14.6%)、「ゴルフ場」(9.2%)、「野球場」(7.4%)）で、女性に比べて高かった。女性は「屋内プール」(34.2%)が、男性に比べて高かった。

年代別でみると、「屋内プール」は30代(43.3%)、40代(41.1%)の順に高く、以降年代が上がるにつれ低くなった。また、20代の「テニスコート」(16.4%)、30代の「キャンプ場」(15.3%)と「屋外プール」(11.5%)、50代の「トレーニング場」(21.1%)が、それぞれ他の年代に比べて高かった。

【図表3-5：今後設置を希望する公共スポーツ施設／複数回答（3つまで）】



なお、「その他」への回答は、次の通りであった（代表的回答例）。

- ・ ヨガ、ピラティス等ができる場所及び企画
- ・ スカッシュ
- ・ 運動用具の設置してある公園
- ・ ジム（筋トレマシン）

4 県のスポーツ施策

※平成22年度調査より実施

(1) 「総合型地域スポーツクラブ」の認知

問7 「総合型地域スポーツクラブ」※について知っていますか。1つだけ○をつけてください。

※「総合型地域スポーツクラブ」とは、地域住民が主体となって運営する多種目・多世代・多志向型のスポーツクラブのことを指します。

- 1 仕組みや特徴も含め、よく知っている
- 2 県内や地域に総合型スポーツクラブがあることは知っている
- 3 総合型地域スポーツクラブという言葉聞いたことがある
- 4 知らない

《全体集計結果》

全員に、「総合型地域スポーツクラブ」を知っているかたずねたところ、「知らない」(84.3%)が最も高く、次いで「県内や地域に総合型スポーツクラブがあることは知っている」(6.3%)、「総合型地域スポーツクラブという言葉聞いたことがある」(5.8%)となった。また、《認知計(「仕組みや特徴も含め、よく知っている」+「県内や地域に総合型スポーツクラブがあることは知っている」+「総合型地域スポーツクラブという言葉聞いたことがある」)》は、全体の1割台半ば(13.3%)であった。

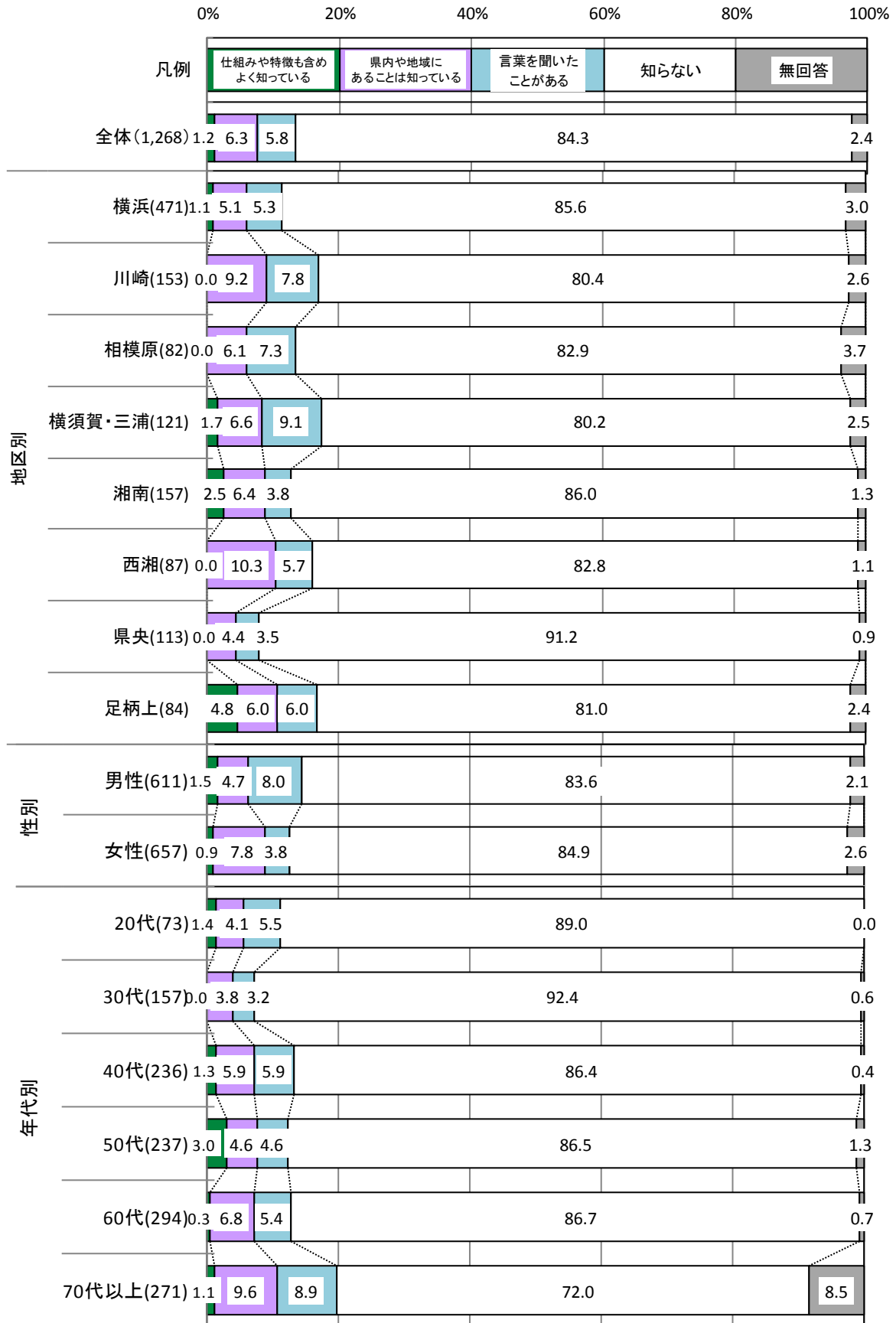
《属性別集計結果》

地区別で見ると、《認知計》は、横須賀・三浦地区(17.4%)が最も高く、県央地区(7.9%)が最も低かった。

性別で見ると、《認知計》は、男性(14.2%)が、女性に比べて高かった。

年代別で見ると、70代以上で《認知計》が19.6%と、他の年代に比べて高かった。

【図表4-1：「総合型地域スポーツクラブ」の認知／単一回答】



(2) 「3033 (サマルサンサン) 運動」の認知

問8 (1) 「3033 (サマルサンサン) 運動」※について知っていますか。1つだけ○をつけてください。

※1日30分、週3回、3ヶ月間継続して運動やスポーツを行い、運動やスポーツをくらしの一部として習慣化することを、「3033 (サマルサンサン) 運動」といいます。

- 1 内容や効果について、よく知っている
- 2 「3033運動」という言葉の意味を知っている
- 3 「3033運動」という言葉は聞いたことはある
- 4 知らない → 問9 (1) へ

《全体集計結果》

全員に「3033運動」を知っているかたずねたところ、「知らない」(88.2%)が最も高く、次いで「「3033運動」という言葉は聞いたことはある」(6.3%)、「「3033運動」という言葉の意味を知っている」(2.7%)となった。また、《認知計(「内容や効果について、よく知っている」+「3033運動」という言葉の意味を知っている+「3033運動」という言葉は聞いたことはある)》は、全体の約1割(9.8%)であった。

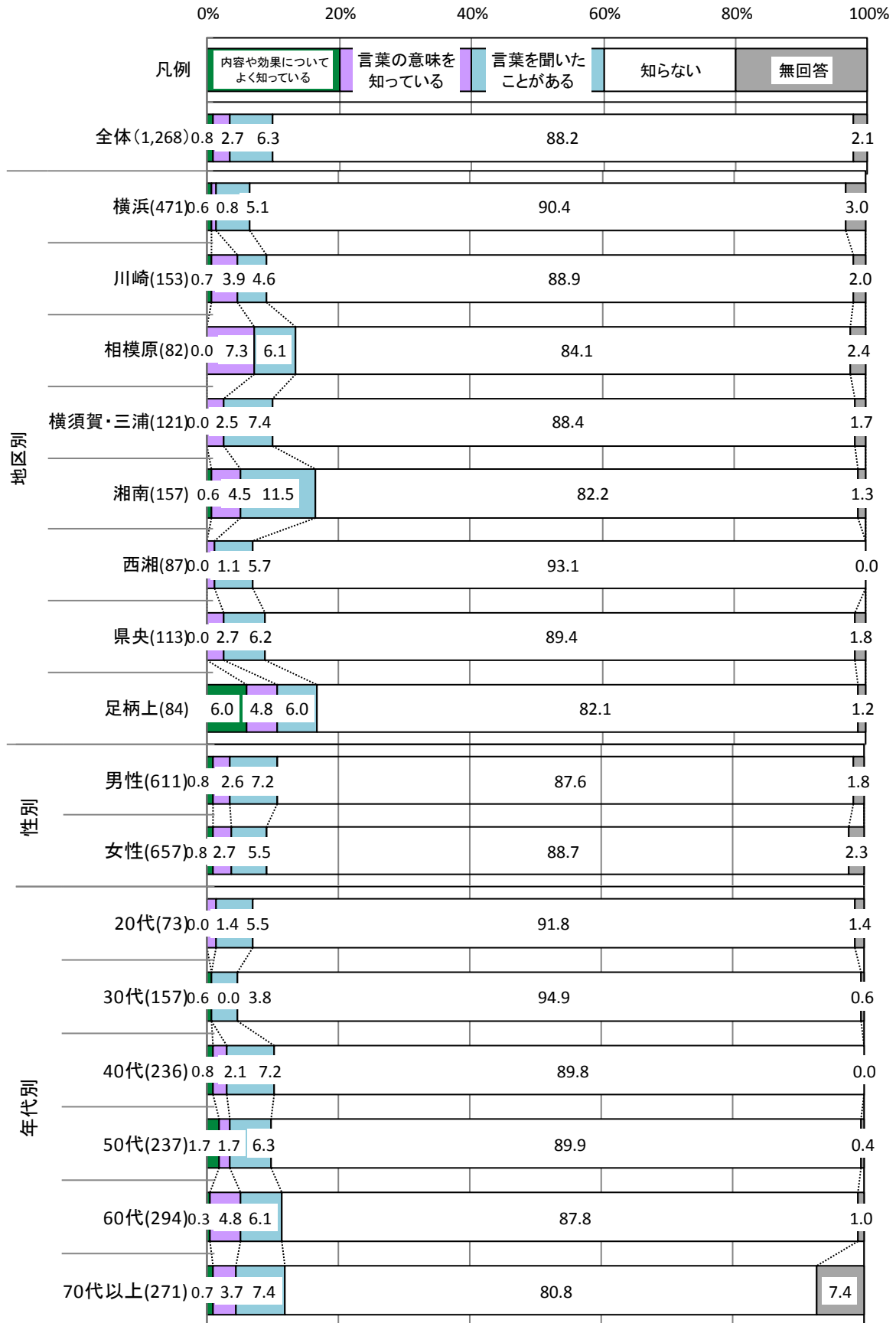
《属性別集計結果》

地区別でみると、《認知計》では、足柄上地区(16.8%)、湘南地区(16.6%)、相模原地区(13.4%)が高く、横浜地区(6.5%)、西湘地区(6.8%)が低かった。

性別でみると、《認知計》は男性(10.6%)が女性に比べて高かった。

年代別でみると、《認知計》は、70代以上(11.8%)、60代(11.2%)が高く、30代(4.4%)が最も低かった。

【図表4-2：「3033運動」の認知／単一回答】



(3) 「3033 (サマルササ) 運動」の実践

問8 (2) 「3033 (サマルササ) 運動」を実践していますか。 1つだけ○をつけてください。

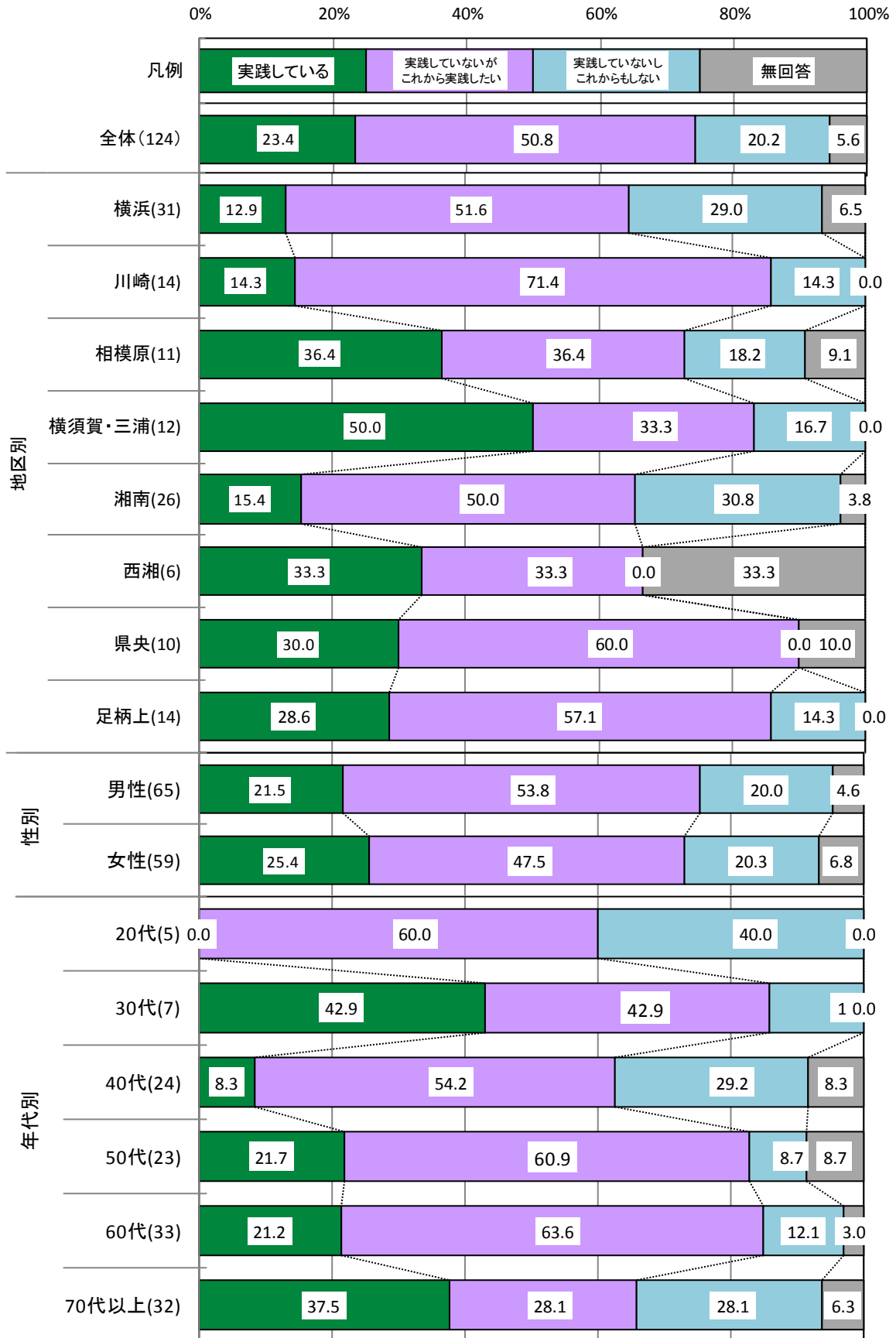
- 1 実践している
- 2 実践していないが、これから実践したい
- 3 実践していないし、これからも実践するつもりはない

《全体集計結果》

[問8(1)]で1または2または3と答えた人(124人)に、「3033運動」を実践しているかたずねたところ、「実践している」は、2割台半ば(23.4%)となった。なお、「実践していないが、これから実践したい」が約5割(50.8%)と最も高かった。

なお、属性別の結果のコメントは、回答者数(124人)が少ないため記載せず、【図表4-3】の提示にとどめる。

【図表4-3：「3033運動」の実践／単一回答】



(4) 「県民スポーツ週間」の認知

問9 (1) 「県民スポーツ週間」について知っていますか。1つだけ○をつけてください。

- | | |
|-----------------------------------|--------|
| 1 時期や内容について、よく知っている | |
| 2 「県民スポーツ週間」という言葉は知っている（聞いたことはある） | |
| 3 知らない | → 問10へ |

《全体集計結果》

全員に「県民スポーツ週間」を知っているかたずねたところ、「「県民スポーツ週間」という言葉は知っている（聞いたことはある）」は9.9%、「知らない」は87.2%であった。また、《認知計（「時期や内容について、よく知っている」+「「県民スポーツ週間」という言葉は知っている（聞いたことはある）」）》は、全体の約1割（10.6%）であった。

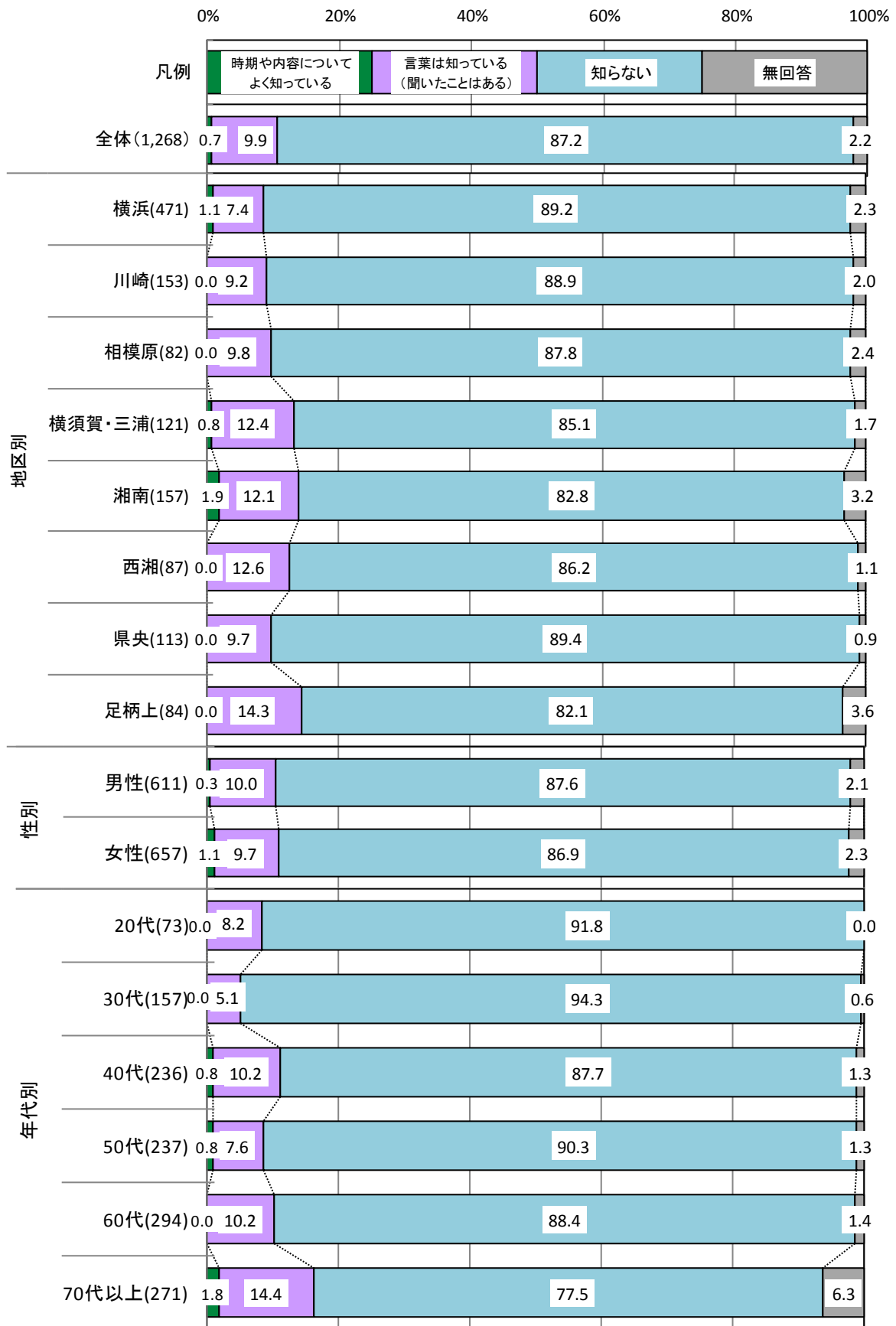
《属性別集計結果》

地区別でみると、《認知計》は足柄上地区（14.3%）、湘南地区（14.0%）の順に高く、横浜地区（8.5%）で最も低かった。

性別でみると、《認知計》の男女差は1ポイント弱であった。

年代別でみると、《認知計》は、70代以上（16.2%）が最も高く、30代（5.1%）で最も低かった。

【図表4-4：「県民スポーツ週間」の認知／単一回答】



(5) 「県民スポーツ週間」への参加状況

問9 (2) 「県民スポーツ週間」のイベントに参加しましたか。

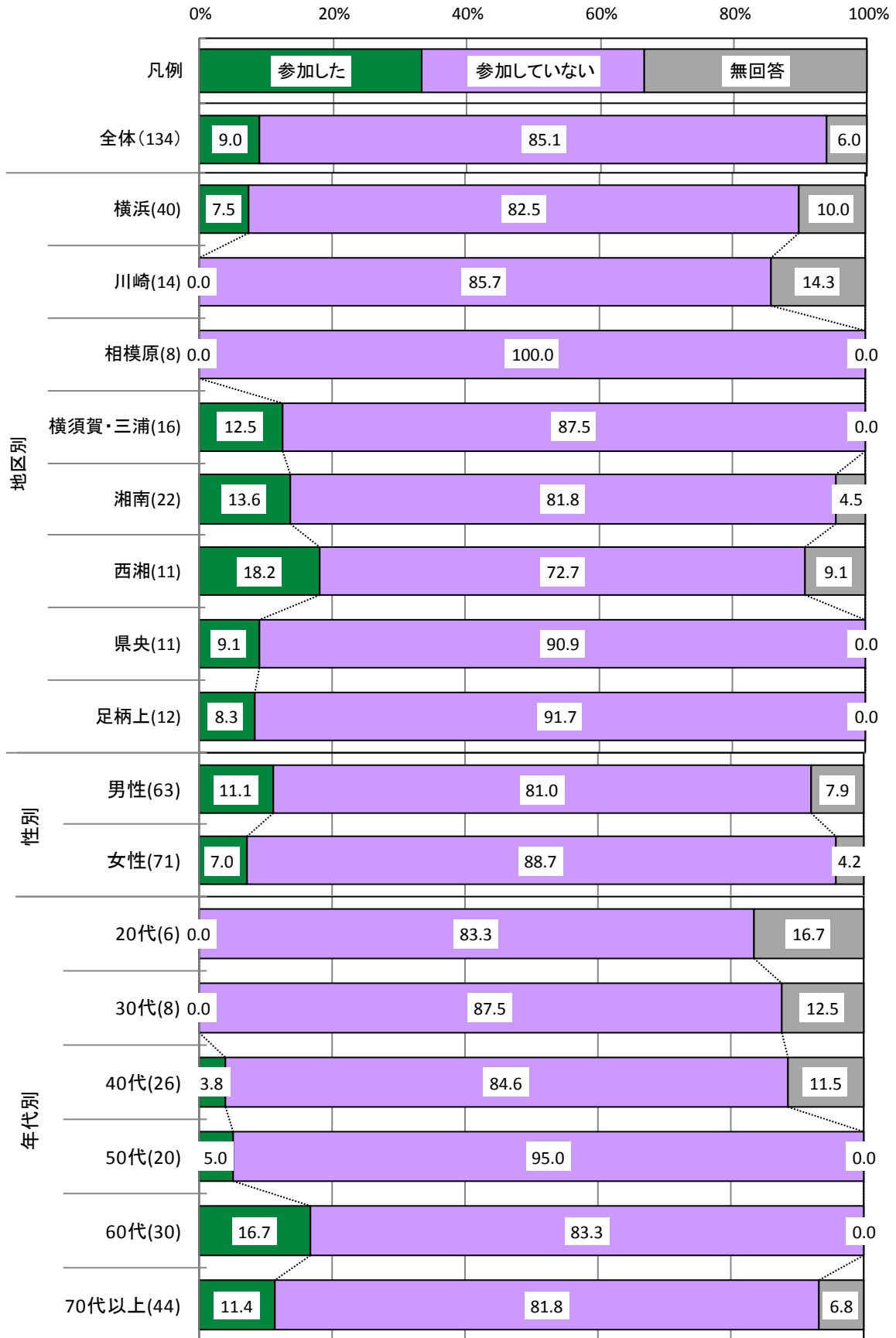
- | | |
|-----------|--------------------|
| 1 参加した | |
| 2 参加していない | —————→ <u>問10へ</u> |

《全体集計結果》

[問9(1)]で1または2と答えた人(134人)に「県民スポーツ週間」のイベントに参加しているかたずねたところ、「参加した」は1割弱(9.0%)となり、「参加していない」が8割台半ば(85.1%)であった。

なお、属性別の結果のコメントは、回答者数(134人)が少ないため記載せず、【図表4-5】の提示にとどめる。

【図表4-5：「県民スポーツ週間」への参加状況／単一回答】



(6) 「県民スポーツ週間」参加経験イベント

問9 (3) どのイベントに参加しましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

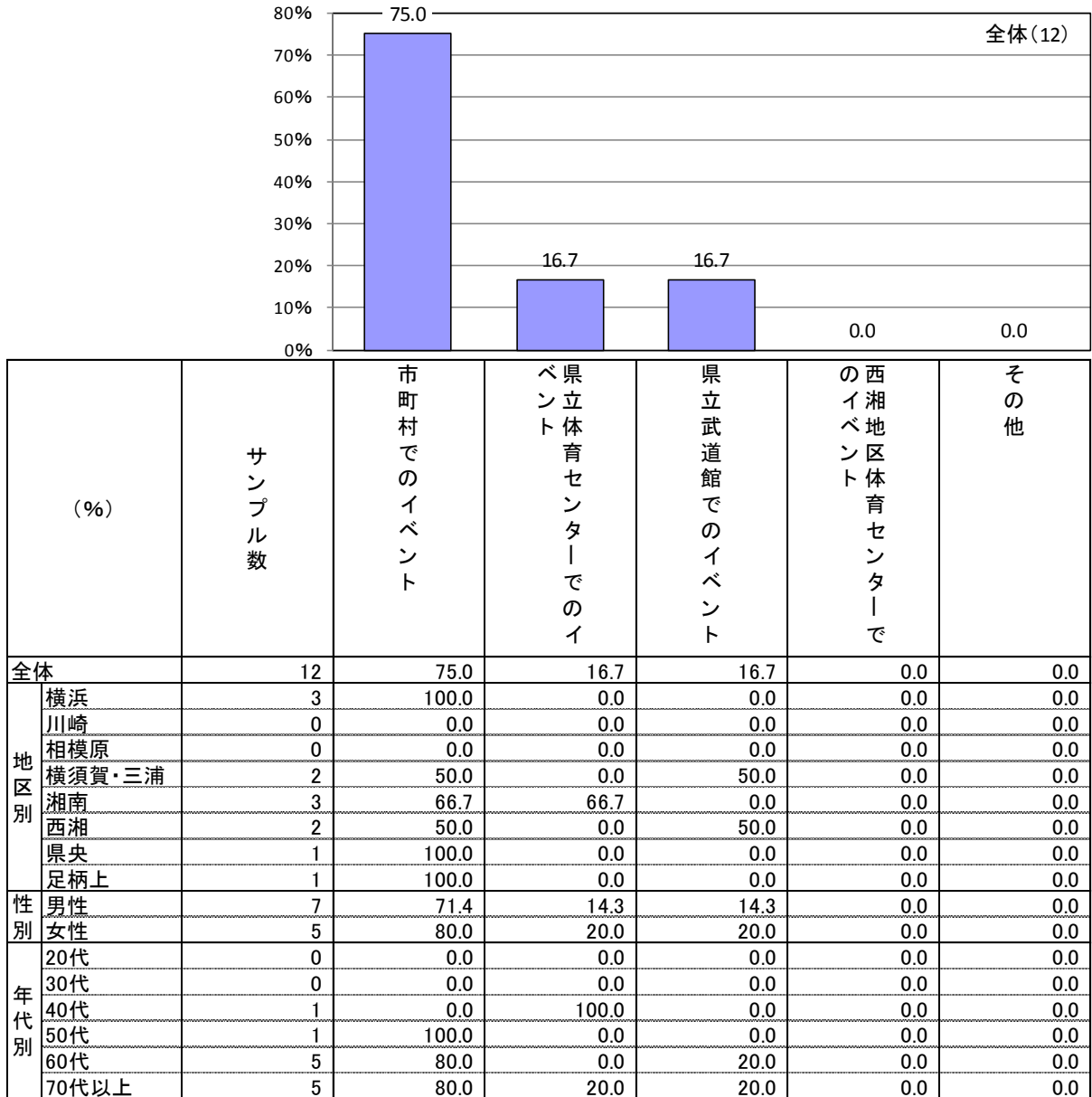
- 1 県立体育センターでのイベント
- 2 西湘地区体育センターでのイベント
- 3 県立武道館でのイベント
- 4 市町村でのイベント
- 5 その他 ()

《全体集計結果》

[問9(1)]で1または2と答えた人(12人)に「県民スポーツ週間」の参加経験イベントをたずねたところ、「市町村でのイベント」(75.0%)が最も高く、7割台半ばの人が参加しているという結果であった。次いで「県立体育センターでのイベント」と「県立武道館でのイベント」(ともに16.7%)となった。

なお、属性別の結果のコメントは、回答者数(12人)が少ないため記載せず【図表4-6】の提示にとどめる。

【図表４－６：「県民スポーツ週間」参加経験イベント／複数回答】



なお、「その他」への回答はなかった。

5 スポーツ全般についての意見

(1) 運動・スポーツ関連情報ニーズ

問10 運動やスポーツに関する情報のうちどのような情報が欲しいと思いますか。あてはまる番号に、3つまで○をつけてください。

- 1 スポーツ行事やスポーツイベントの情報
- 2 自分が参加できるスポーツ競技会の情報
- 3 高齢者や障害者が参加しやすいイベントや教室の情報
- 4 各種スポーツ教室の案内
- 5 スポーツ施設の案内
- 6 各種スポーツ指導者の紹介
- 7 新しいスポーツ、気軽にできるスポーツなどの情報
- 8 クラブ同好会などの活動案内
- 9 健康・体力づくり情報
- 10 スポーツに関する医学的・科学的情報
- 11 その他 ()
- 12 特にない

《全体集計結果》

全員に、運動やスポーツに関する欲しい情報についてたずねたところ、「スポーツ施設の案内」(30.0%)が最も高く、次いで「健康・体力づくり情報」(28.2%)、「各種スポーツ教室の案内」(23.7%)となった。

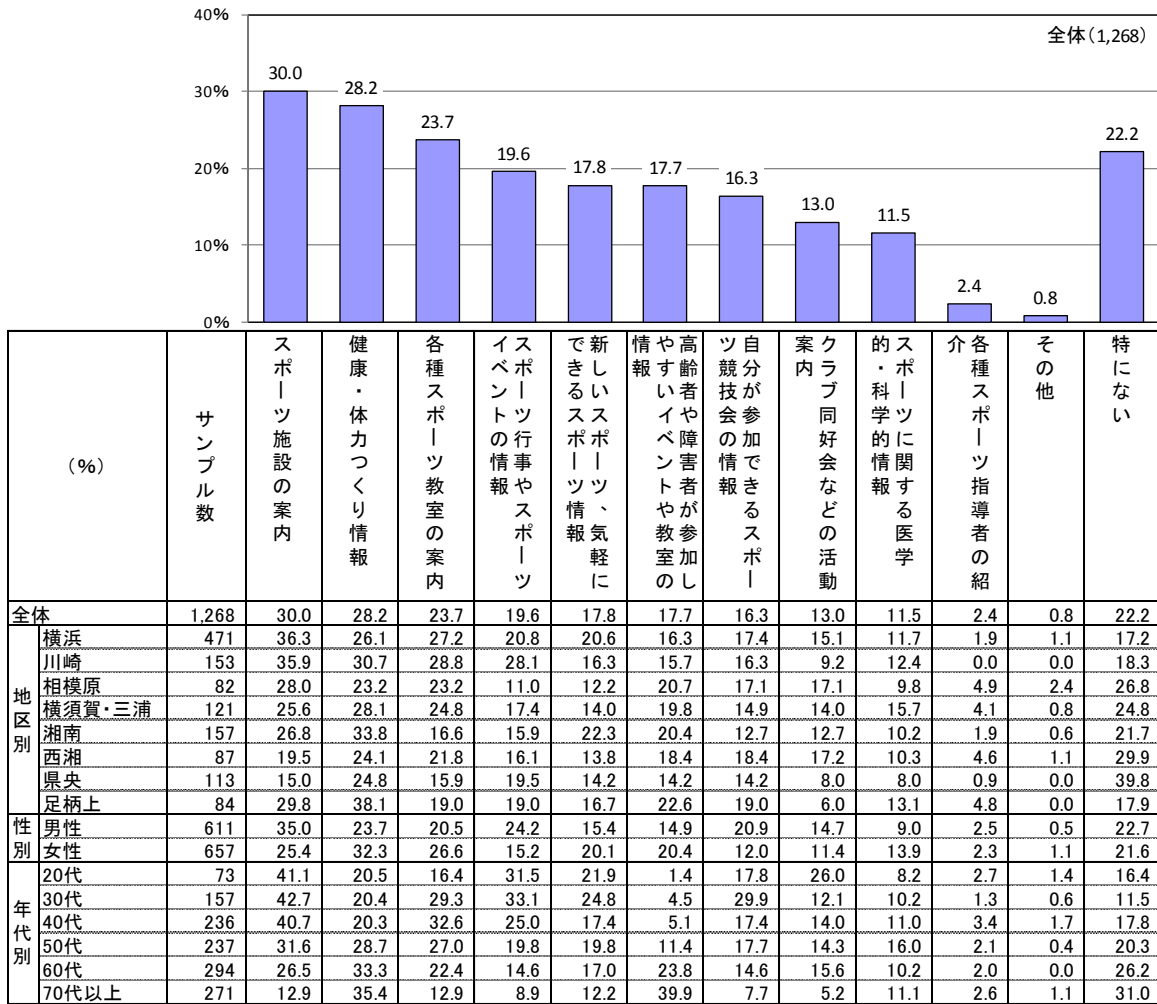
《属性別集計結果》

地区別でみると、横浜地区(36.3%)と川崎地区(35.9%)で「スポーツ施設の案内」、足柄上地区で「健康・体力づくり情報」(38.1%)、川崎地区で「スポーツ行事やスポーツイベントの情報」(28.1%)、湘南地区で「新しいスポーツ、気軽にできるスポーツ情報」(22.3%)が、それぞれ他の地区に比べて高かった。また、県央地区(15.0%)と西湘地区(19.5%)で「スポーツ施設の案内」、相模原地区で「スポーツ行事やスポーツイベントの情報」(11.0%)が他の地区に比べて低かった。

性別でみると、男性の「スポーツ施設の案内」(35.0%)、「スポーツ行事やスポーツイベントの情報」(24.2%)「自分が参加できるスポーツ競技会の情報」(20.9%)が女性に比べて高く、女性は「健康・体力づくり情報」(32.3%)が男性に比べて高かった。

年代別でみると、「スポーツ施設の案内」(20代：41.1%、30代：42.7%、40代：40.7%)と「スポーツ行事やスポーツイベントの情報」(20代：31.5%、30代：33.1%、40代：25.0%)は若い年代(20～40代)で50代以降に比べて高かった。また、30代は「自分が参加できるスポーツ競技会の情報」(29.9%)、60代以上は「高齢者や障害者が参加しやすいイベントや教室の情報」(60代：23.8%、70代以上：39.9%)、20代は「クラブ同好会などの活動案内」(26.0%)が他の年代に比べて高かった。

【図表5-1：運動・スポーツ関連情報ニーズ／複数回答（3つまで）】



なお、「その他」への回答は、次の通りであった（代表的回答例）。

- ・ 初心者が入りやすいと、参加しやすい。じょうずな方の中には、入りにくい。
- ・ 育児・仕事と両立できるように土日のできるスポーツ教室の開催

(2) 運動・スポーツ行事・教室について

ア 県・市町村のスポーツ行事参加状況

問11 (1) この1年間に県や市町村が主催するスポーツ行事に参加したことがありますか。
また、参加したスポーツ行事は何ですか。1つだけ○をつけてください。

- | | | |
|-----------|-----------|---|
| 1 参加した | →参加した行事（ | ） |
| 2 見に行った | →見に行った行事（ | ） |
| 3 参加しなかった | | |

《全体集計結果》

全員に、この1年間の県や市町村が主催するスポーツ行事への参加状況をたずねたところ、《参加・見学計（「参加した」＋「見に行った」）》は、6.5%であった。

《属性別集計結果》

地区別でみると、「参加した」が1割以上の地区は、西湘地区（13.8%）のみであった。

性別でみると、「参加した」は男性（6.1%）が女性より高かった。

年代別でみると、「参加した」は50代及び70代以上がともに6.3%で、他の年代に比べ高かった。

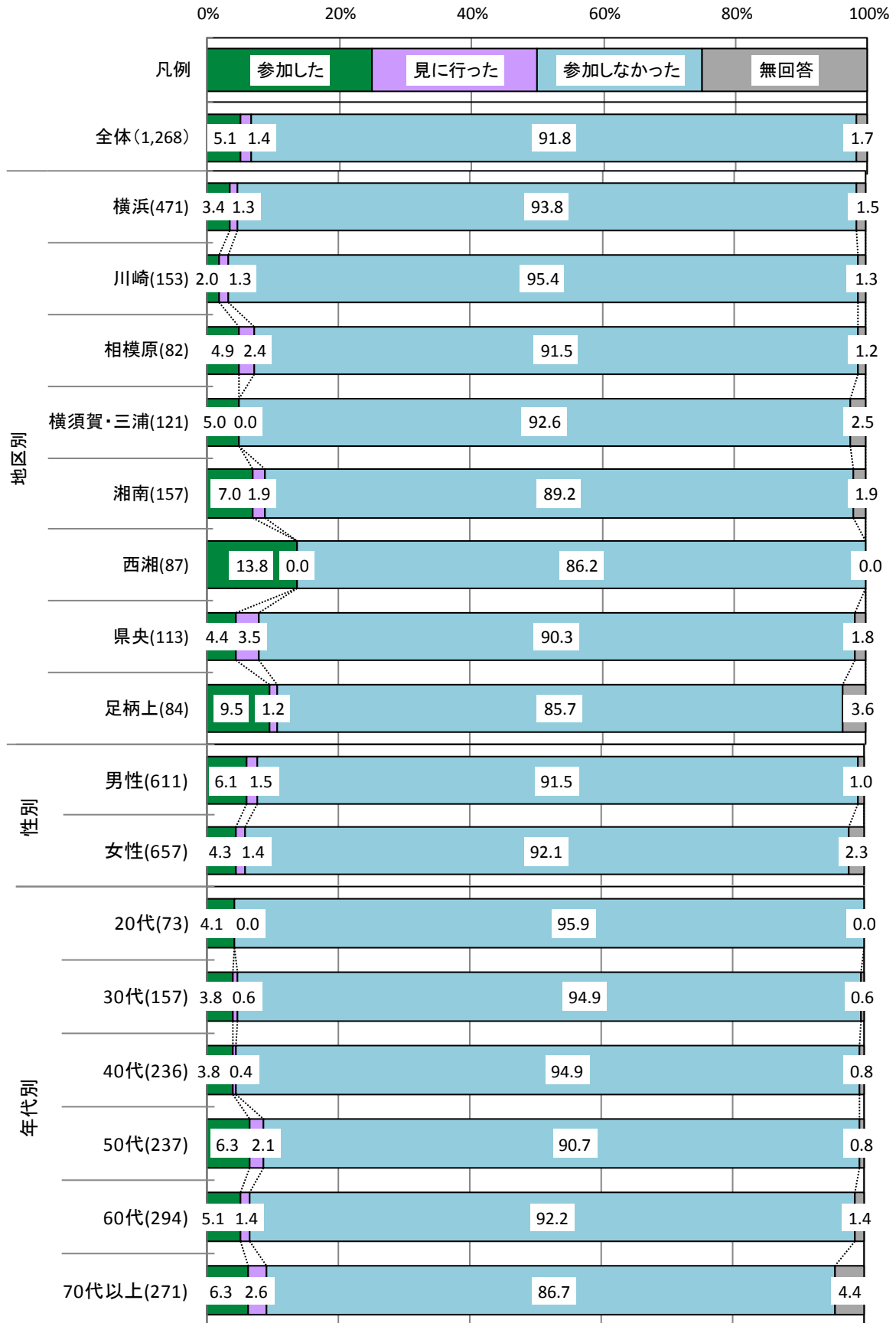
なお、「参加した行事」への回答は、次の通りであった（代表的回答例）。

- ・ 横浜市民マラソン2015／湘南国際マラソン／川崎市国際マラソン（多摩川）
- ・ 健民祭
- ・ チャレンジデー
- ・ みなとみらいさくらパレード&ストリートイベント、さくら綱引き選手権

なお、「見に行った行事」への回答は、次の通りであった（代表的回答例）。

- ・ 健民祭（小学校で開催された運動会）
- ・ 駅伝・マラソン大会
- ・ 室内プール振興事業

【図表5-2：県・市町村のスポーツ行事参加状況／単一回答】



イ 県・市町村主催のスポーツ教室参加状況

問11（2） この1年間に県や市町村が主催するスポーツ教室に参加したことがありますか。
また、参加したスポーツ種目は何ですか。

- | | | |
|-----------|----------|---|
| 1 参加した | →参加した種目（ | ） |
| 2 参加しなかった | | |

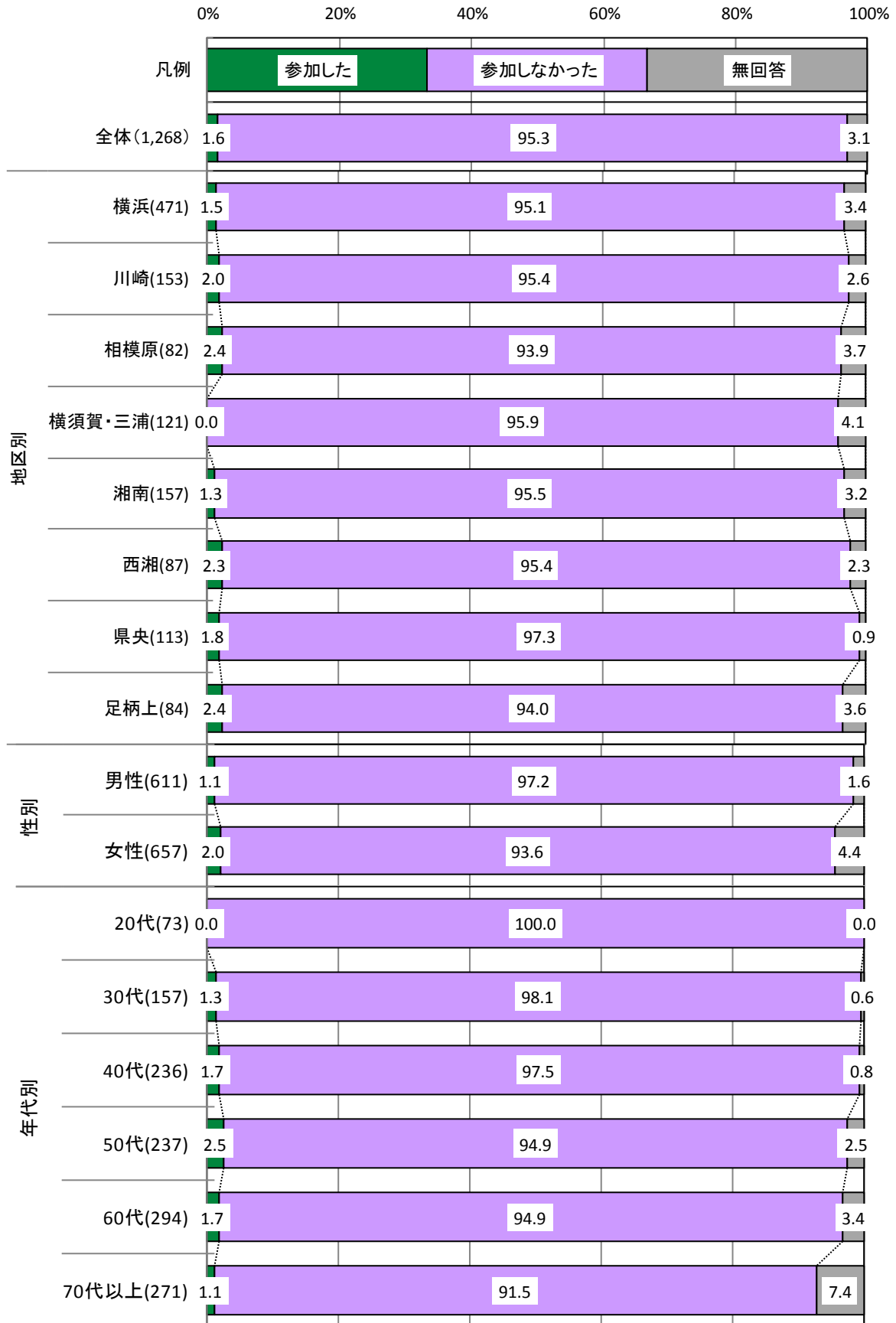
《全体集計結果》

全員に、この1年間の県や市町村が主催するスポーツ教室への参加状況をたずねたところ、「参加した」は1.6%、「参加しなかった」が95.3%であった。なお、属性別の結果のコメントは、「参加した」と回答した人が1.6%（20人）と少ないため、記載せず【図表5-3】の提示にとどめる。

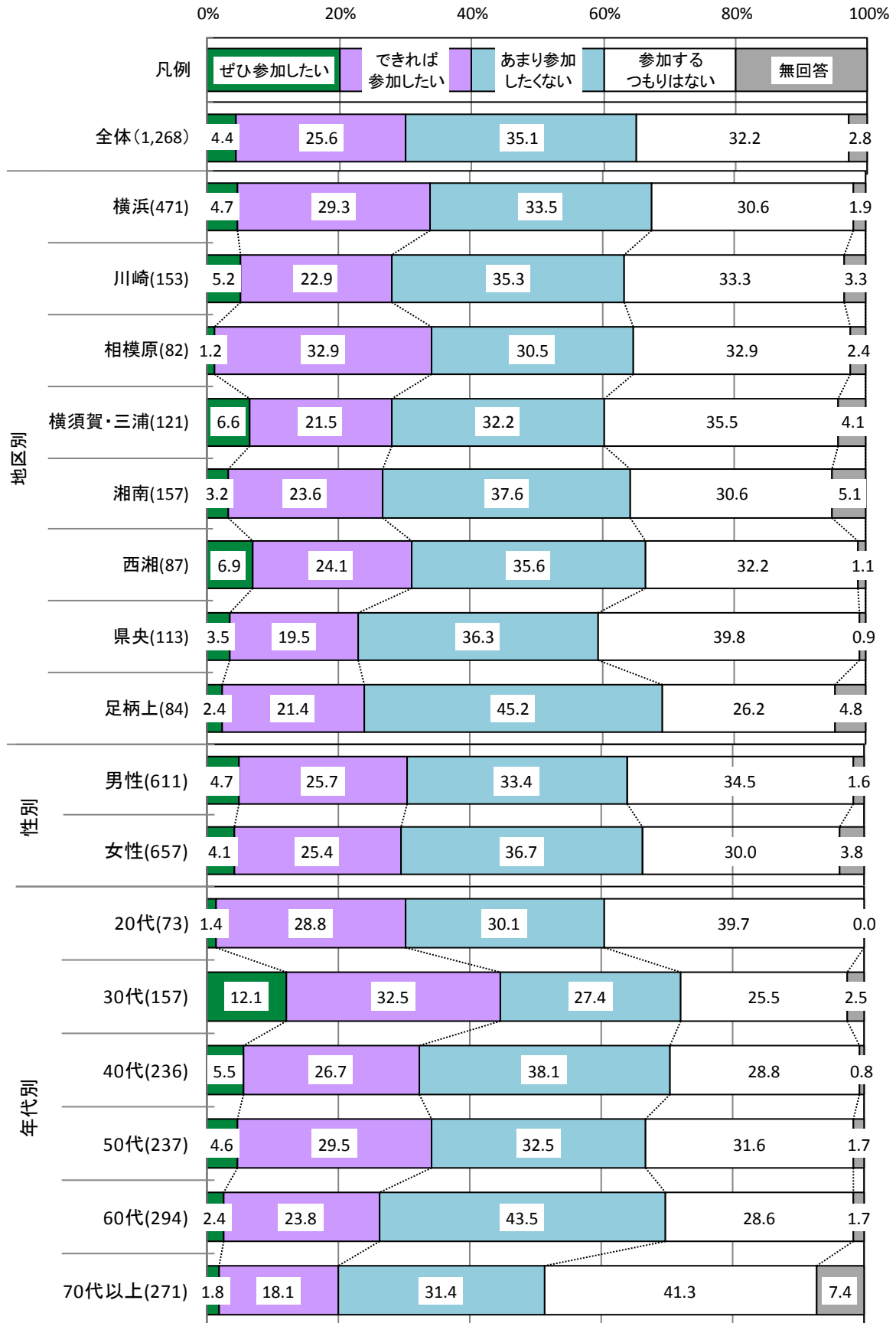
なお、「参加した種目」への回答は次の通りであった（代表的回答例）。

- ・ ヨガ／楽しくヨガ
- ・ 体操教室
- ・ エアロビックダンス／親子エアロビクス／産後エアロビクス
- ・ テニス
- ・ 卓球
- ・ ひょうたんまつり（お踊り）
- ・ 地区グランドゴルフ
- ・ みんなDEラジオ体操
- ・ カラオケ体操指導者講習会（3ヶ月間）

【図表5-3：県・市町村主催のスポーツ教室参加状況／単一回答】



【図表5-4：県・市町村主催のスポーツ教室参加意向／単一回答】



(3) 運動やスポーツのクラブ・同好会について

ア 運動やスポーツのクラブ・同好会への加入状況

問12(1) 現在、運動やスポーツのクラブ・同好会に加入していますか。

1 加入している →問12(2)(3)(4)へ 2 加入していない →問12(5)へ

《全体集計結果》

全員に、運動やスポーツのクラブ・同好会への加入状況をたずねたところ、「加入している」が18.3%、「加入していない」が73.7%であった。

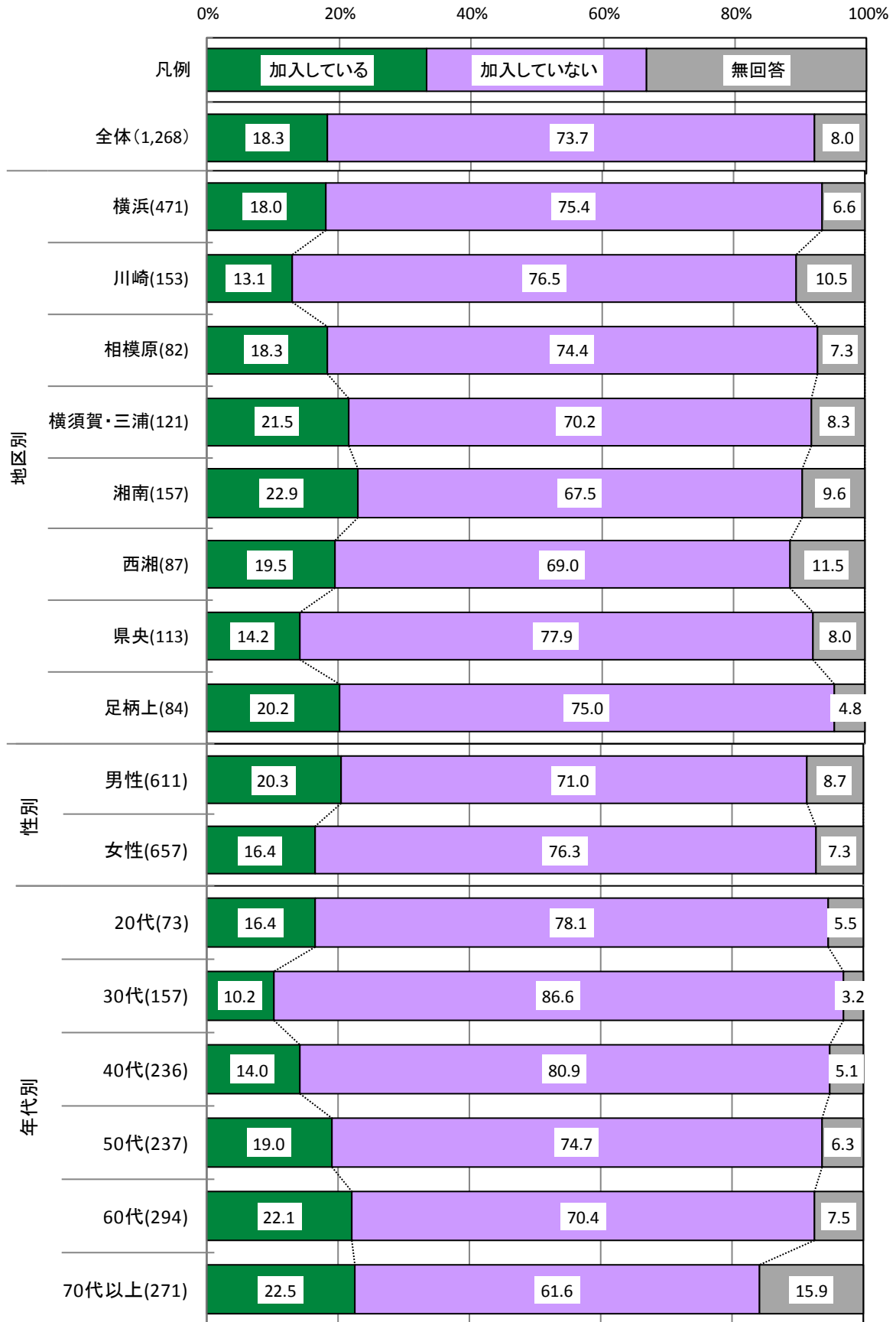
《属性別集計結果》

地区別で見ると、「加入している」は湘南地区(22.9%)で最も高かった。

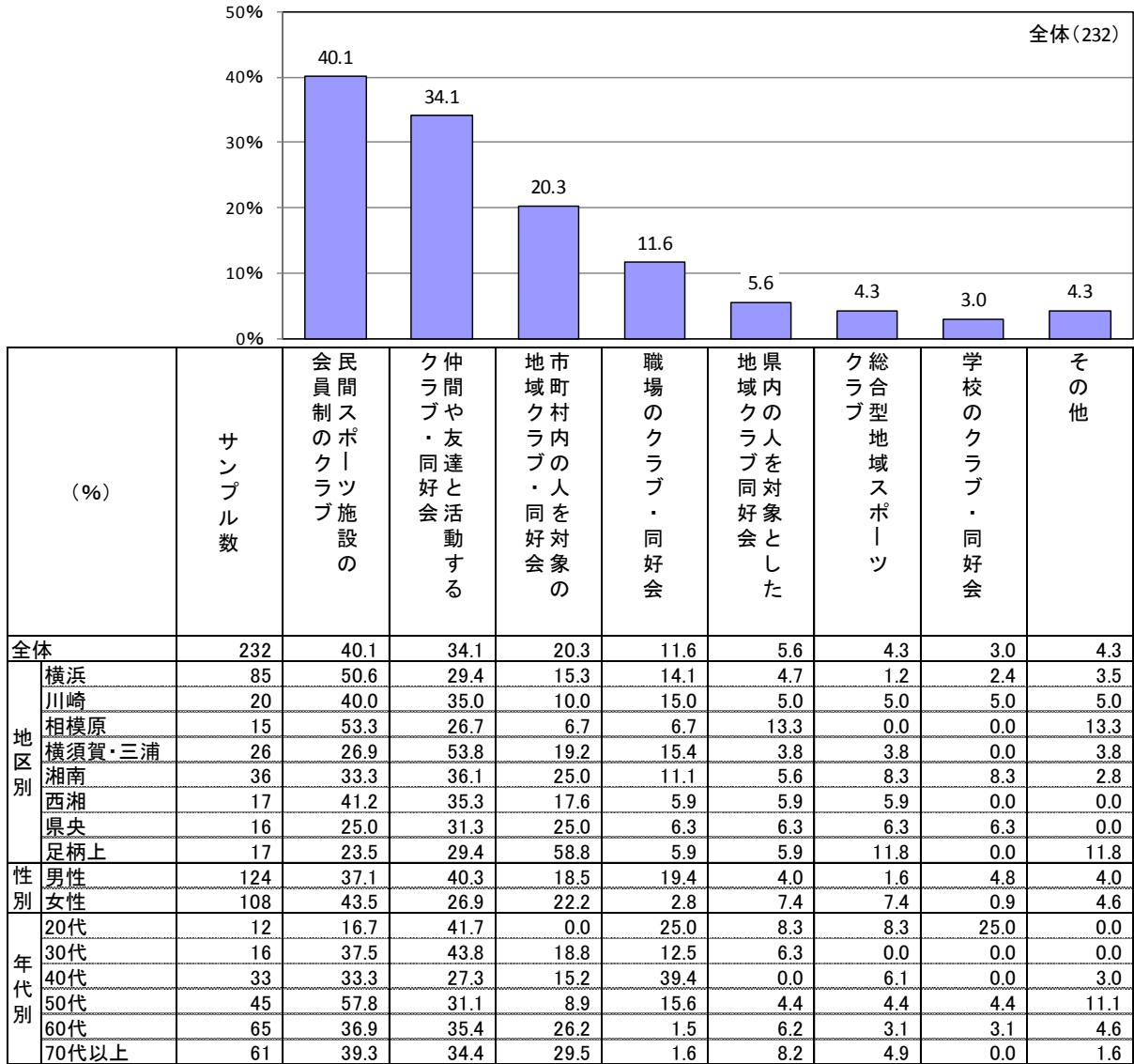
性別で見ると、「加入している」は男性(20.3%)が、女性に比べて高かった。

年代別で見ると、「加入している」は30代(10.2%)が他の年代に比べて低く、以降年代が上がるにつれ高くなった。

【図表5-5：運動やスポーツのクラブ・同好会への加入状況／単一回答】



【図表5-6：加入している運動やスポーツのクラブ・同好会の種類／複数回答】



なお、「その他」への回答は、次の通りであった（代表的回答例）。

- ・ ケアプラザ
- ・ 長寿会
- ・ 老人会
- ・ ゴルフクラブ

ウ 運動やスポーツのクラブ・同好会への加入動機及び目的

問12(4) クラブ・同好会に加入した動機や目的は何ですか。あてはまる番号に、3つまで○をつけてください。

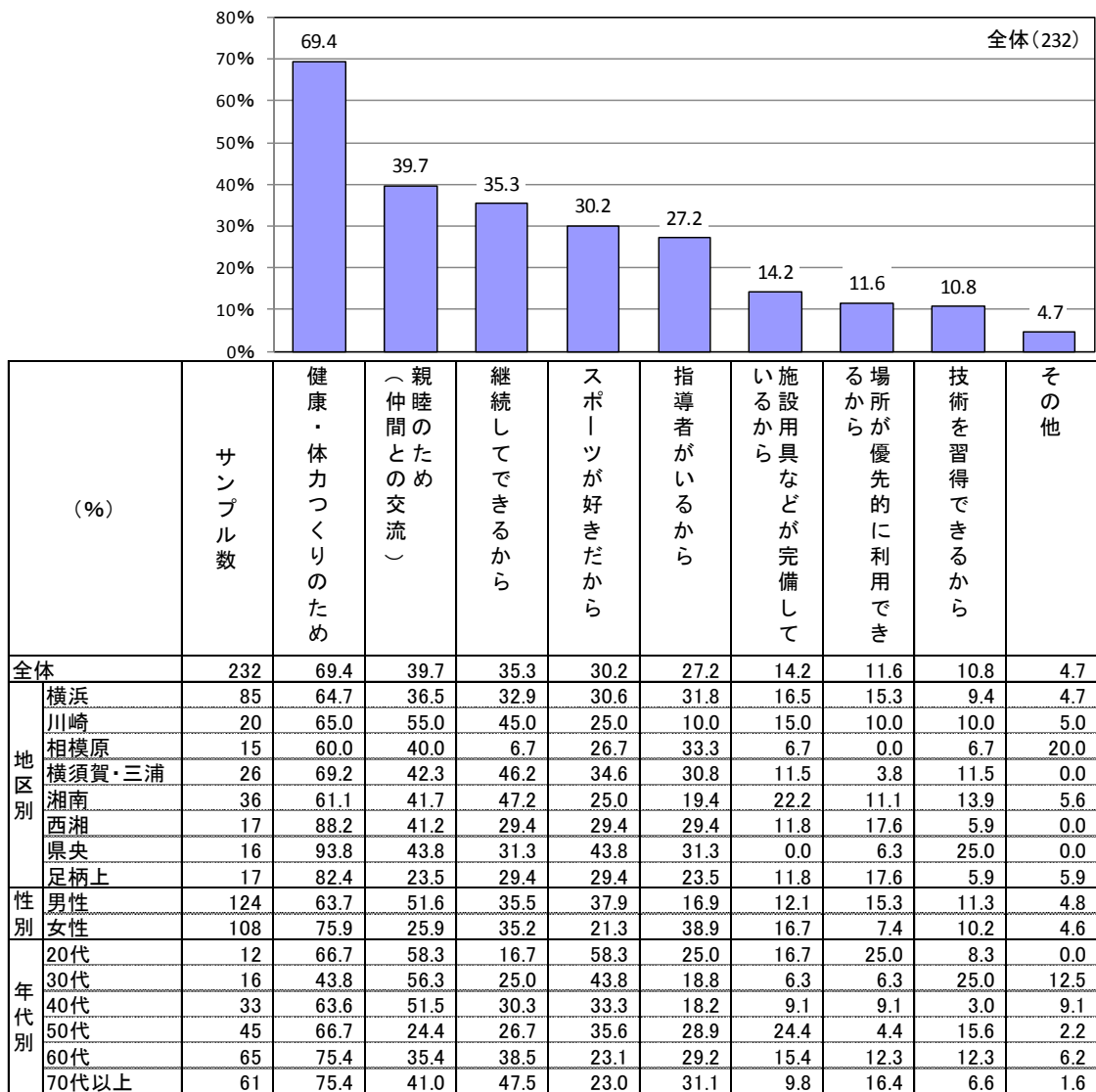
- | | |
|-------------------|---------------|
| 1 継続してできるから | 6 健康・体力づくりのため |
| 2 場所が優先的に利用できるから | 7 スポーツが好きだから |
| 3 施設用具などが完備しているから | 8 技術を習得できるから |
| 4 指導者がいるから | 9 その他() |
| 5 親睦のため(仲間との交流) | |

《全体集計結果》

[問12(1)]で1と答えた人(232人)に、そのクラブ・同好会に加入した動機や目的についてたずねたところ、「健康・体力づくりのため」(69.4%)が最も高く、次いで「親睦のため(仲間との交流)」(39.7%)、「継続してできるから」(35.3%)となった。

なお、属性別の結果のコメントは、回答者数(232人)が少ないため記載せず、【図表5-7】の提示にとどめる。

【図表5-7：運動やスポーツのクラブ・同好会への加入動機及び目的／複数回答（3つまで）】



なお、「その他」への回答は、次の通りであった（代表的回答例）。

- ・ 術後のリハビリの為
- ・ 種目に興味関心があるから
- ・ ストレス発散

エ 現非加入者の今後の加入意向

問12(5) 好きな運動やスポーツのクラブ・同好会があれば、加入したいと思いますか。1つだけ○をつけてください。

- | | |
|--------------|-----------|
| 1 ぜひ加入したい | |
| 2 できれば加入したい | → 問12(6)へ |
| 3 あまり加入したくない | → 問13(1)へ |
| 4 加入するつもりはない | |

《全体集計結果》

[問12(1)]で2と答えた人(935人)に、好きな運動やスポーツのクラブ・同好会への加入意向をたずねたところ、《加入したい計(「ぜひ加入したい」+「できれば加入したい」)》が30.8%、《加入したくない計(「あまり加入したくない」+「加入するつもりはない」)》が66.8%であった。

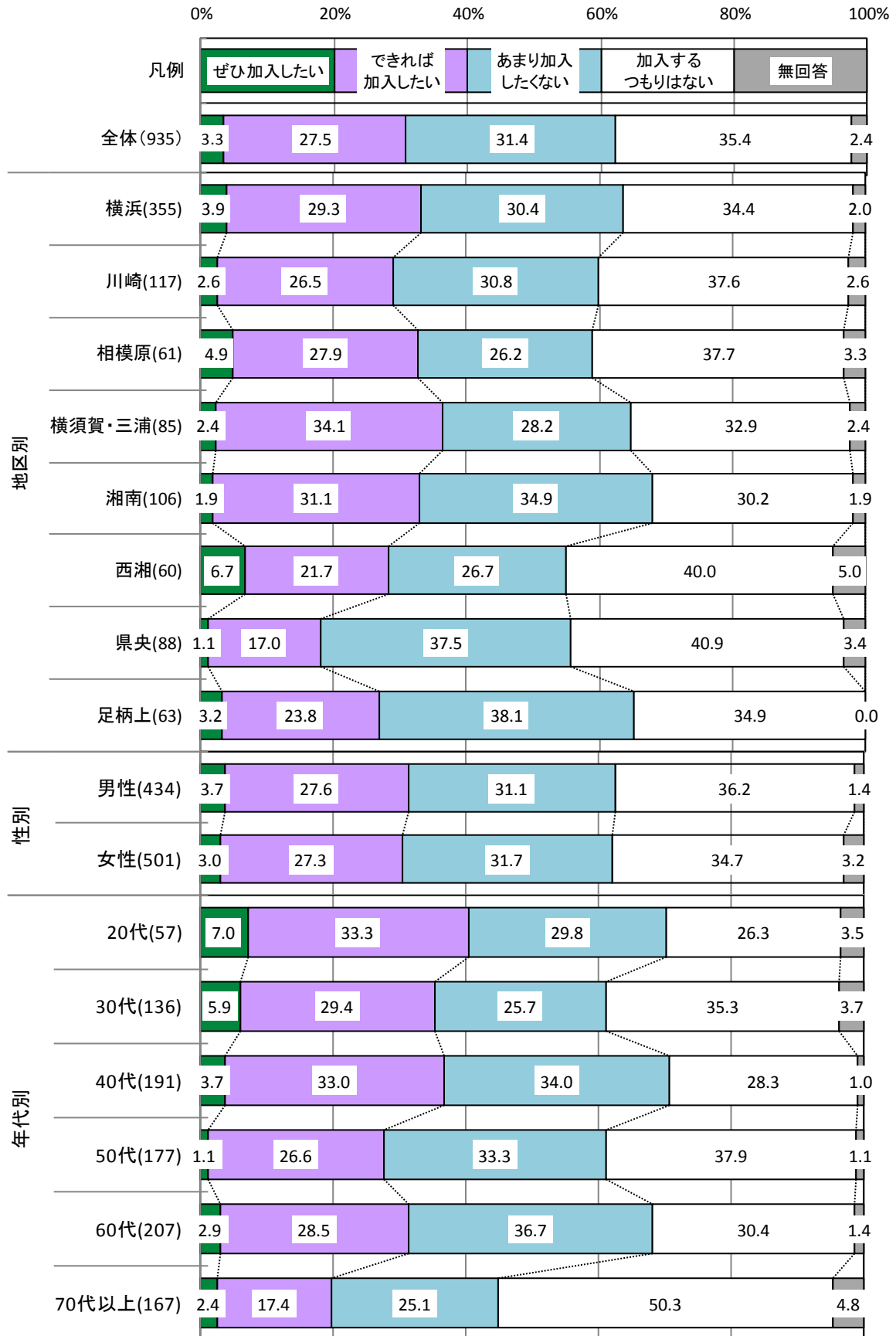
《属性別集計結果》

地区別でみると、《加入したい計》は横須賀・三浦地区(36.5%)で最も高く、県央地区(18.1%)で最も低かった。

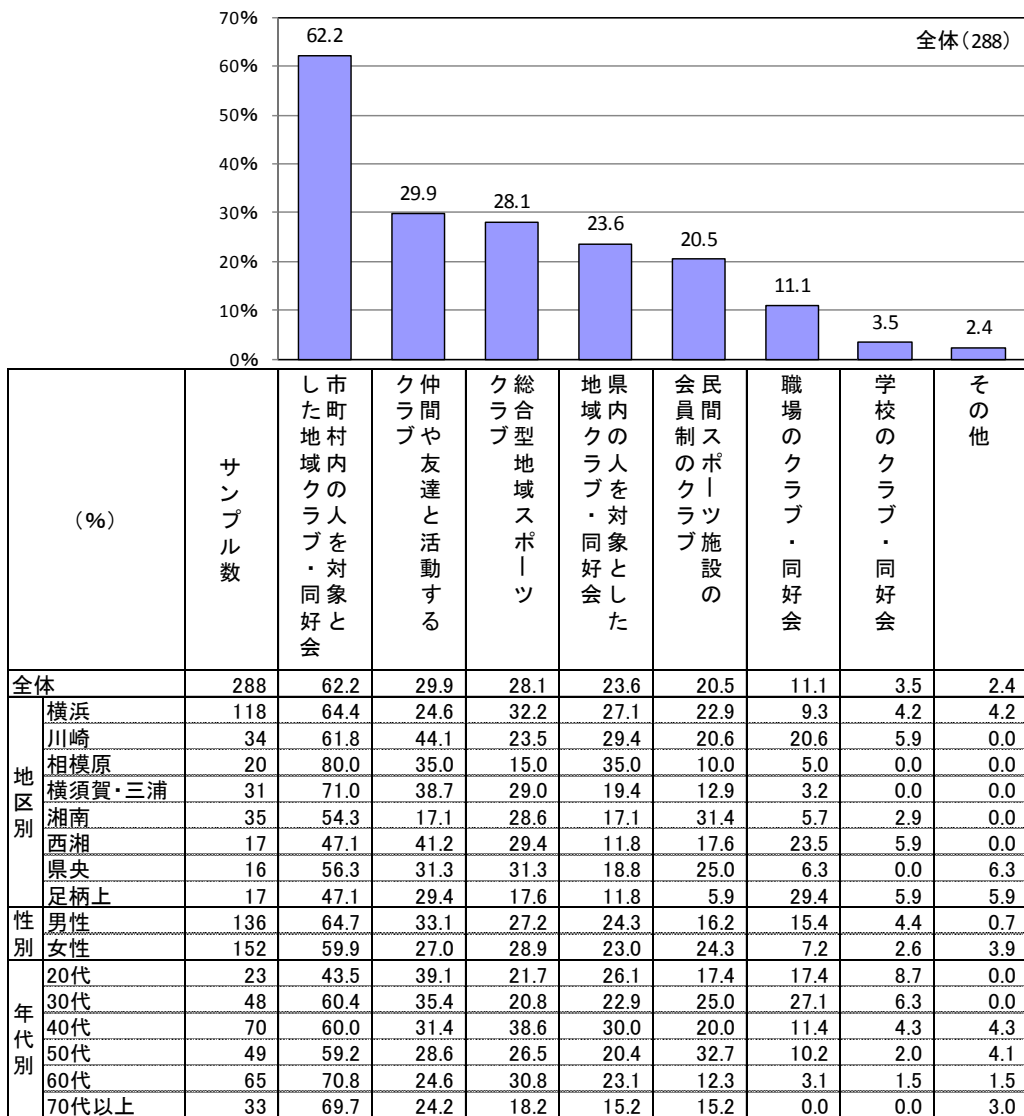
性別でみると、《加入したい計》の男女差は1ポイント以下であった。

年代別でみると、《加入したい計》は、20代が約4割(40.3%)で最も高く、70代以上で約2割(19.8%)と最も低かった。

【図表5-8：現非加入者の今後の加入意向／単一回答】



【図表5-9：加入したい運動やスポーツのクラブ・同好会／複数回答（3つまで）】



なお、「その他」への回答は、次の通りであった（代表的回答例）。

- ・ 一人で自由気ままに出来るもの
- ・ 家族で出来るスポーツクラブ

(4) スポーツ観戦について

ア スポーツ観戦への関心

問13(1) スポーツ観戦について関心がありますか。

1 ある →問13(2)(3)(4)へ

2 ない →問13(2)へ

《全体集計結果》

全員に、スポーツ観戦への関心についてたずねたところ、「ある」が63.5%、「ない」は28.9%であった。

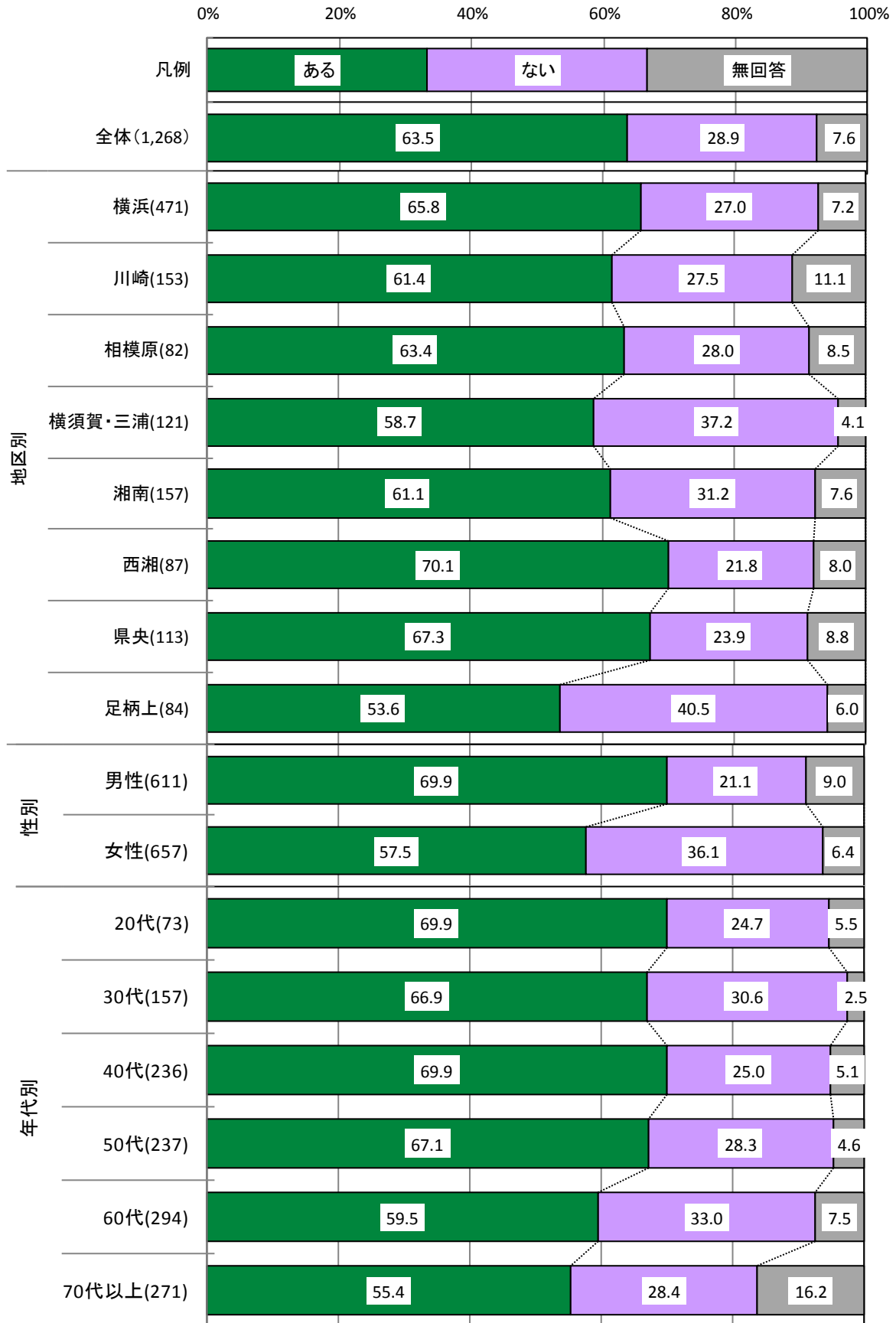
《属性別集計結果》

地区別でみると、「ある」は西湘地区(70.1%)が、「ない」は足柄上地区(40.5%)が、それぞれ他の地区に比べて最も高かった。

性別でみると、「ある」は男性(69.9%)が、女性に比べて高かった。

年代別でみると、「ある」は20代(69.9%)と40代(69.9%)で最も高く、40代以降は年代が上がるにつれ低くなった。

【図表5-10：スポーツ観戦への関心／単一回答】



イ スポーツ観戦経験

問13（2）この1年間に直接会場へ行ってスポーツ観戦をしましたか。

1 した	2 していない
------	---------

《全体集計結果》

全員に、この1年間、直接会場でのスポーツ観戦経験をたずねたところ、「した」が27.0%、「していない」が67.1%であった。

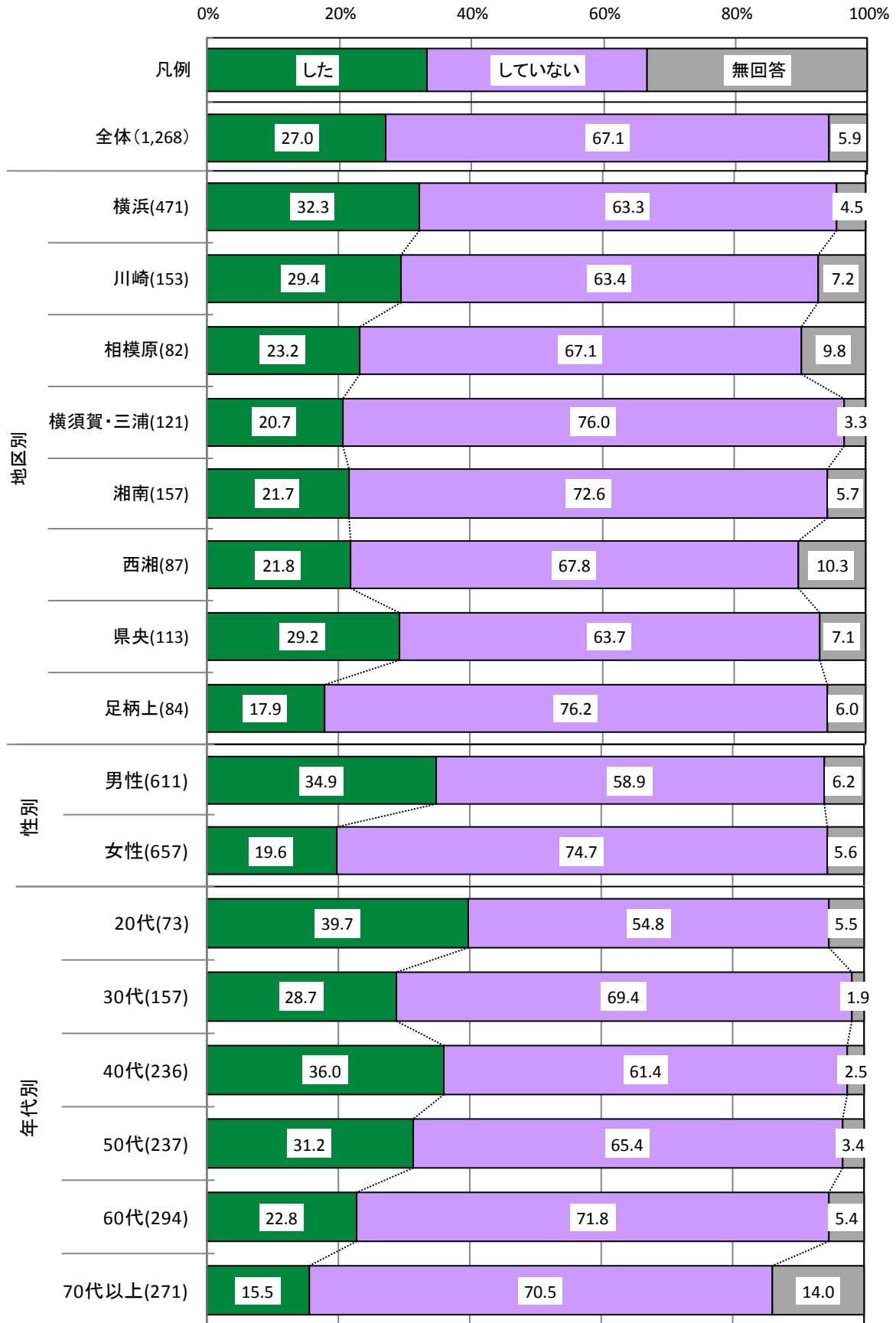
《属性別集計結果》

地区別でみると、「した」は横浜地区(32.3%)が最も高く、「していない」は足柄上地区(76.2%)、横須賀・三浦地区(76.0%)、湘南地区(72.6%)が他の地区に比べ高かった。

性別でみると、「した」は男性(34.9%)が、女性に比べて高かった。

年代別でみると、「した」は20代(39.7%)、40代(36.0%)の順に高く、40代以降は年代が上がるにつれ低くなった。

【図表5-11：スポーツ観戦経験／単一回答】



ウ 希望するスポーツ観戦レベル

問13(3) 直接会場へ行ってスポーツ観戦をしたらどのようなレベルのスポーツを観戦したいですか。あてはまる番号に、2つまで○をつけてください。

- 1 オリンピックやパラリンピックなど国際大会
- 2 国内のプロスポーツ
- 3 全国レベルの大会
- 4 県レベルの大会
- 5 その他 ()

《全体集計結果》

[問13(1)]で1と答えた人(805人)に、直接会場でのスポーツ観戦レベルの希望についてたずねたところ、「国内のプロスポーツ」(63.2%)が最も高く、次いで「オリンピックやパラリンピックなど国際大会」(55.7%)となった。

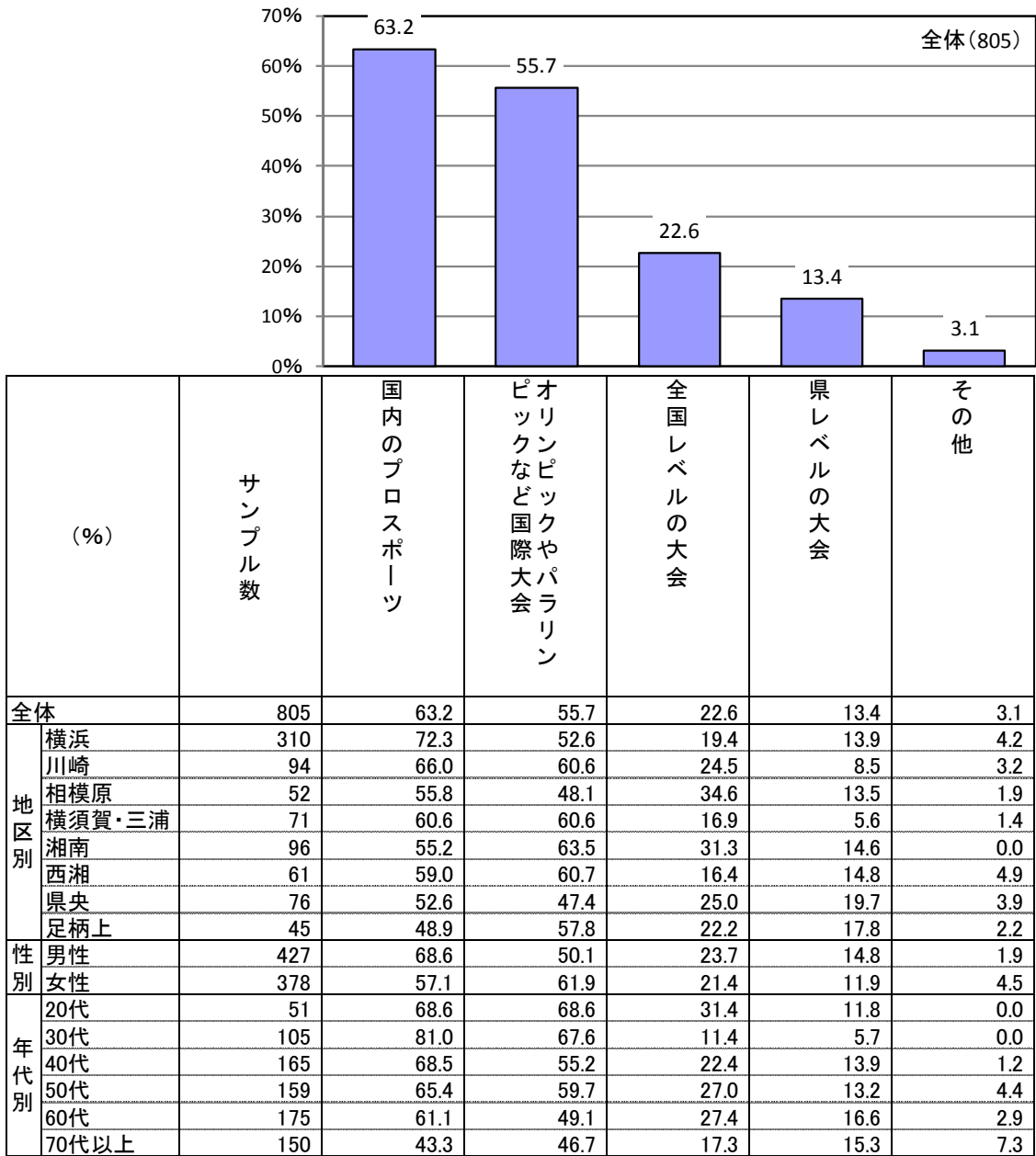
《属性別集計結果》

地区別でみると、「国内のプロスポーツ」は横浜地区(72.3%)、「オリンピックやパラリンピックなど国際大会」は湘南地区(63.5%)、「全国レベルの大会」は相模原地区(34.6%)で、それぞれ他の地区に比べて高かった。

性別でみると、「国内のプロスポーツ」は男性(68.6%)が女性に比べて高く、「オリンピックやパラリンピックなど国際大会」は女性(61.9%)が男性に比べて高かった。

年代別でみると、「国内のプロスポーツ」は30代(81.0%)で最も高かった。また、「オリンピックやパラリンピックなど国際大会」「全国レベルの大会」「県レベルの大会」は20代で最も高かった。

【図表5-12：希望するスポーツ観戦レベル／複数回答（2つまで）】



なお、「その他」への回答は、次の通りであった（代表的回答例）。

- ・ 子どもの出場する大会
- ・ 地区（町内）の大会が良い。
- ・ 母校の公式試合

エ 希望するスポーツ観戦競技

問13(4) 直接会場へ行ってスポーツ観戦をしたらどのような競技を観戦したいですか。あてはまる番号に、3つまで○をつけてください。

- | | |
|----------------------------------|---|
| 1 陸上競技 | 9 バレーボール
(シットティングバレーボールなどを含む) |
| 2 マラソン | 10 テニス、卓球、バドミントン
(車いすテニス、サウンドテーブル
テニスなどを含む) |
| 3 水泳競技 | 11 バasketボール
(車いすバケットボールなどを含む) |
| 4 柔道、剣道、相撲、空手 | 12 その他の球技スポーツ
(ラグビー、ハンドボールなど) |
| 5 ボクシング、レスリング | 13 その他のスポーツ (種目名) |
| 6 弓道、アーチェリー | |
| 7 野球、ソフトボール | |
| 8 サッカー、フットサル
(ブラインドサッカーなどを含む) | |

《全体集計結果》

[問13(1)]で1と答えた人(805人)に、直接会場でのスポーツ観戦を希望する競技についてたずねたところ、「野球、ソフトボール」(56.3%)が最も高く、次いで「サッカー、フットサル(ブラインドサッカーなどを含む)」(38.1%)、「テニス、卓球、バドミントン(車いすテニス、サウンドテーブルテニスなどを含む)」(25.6%)となった。

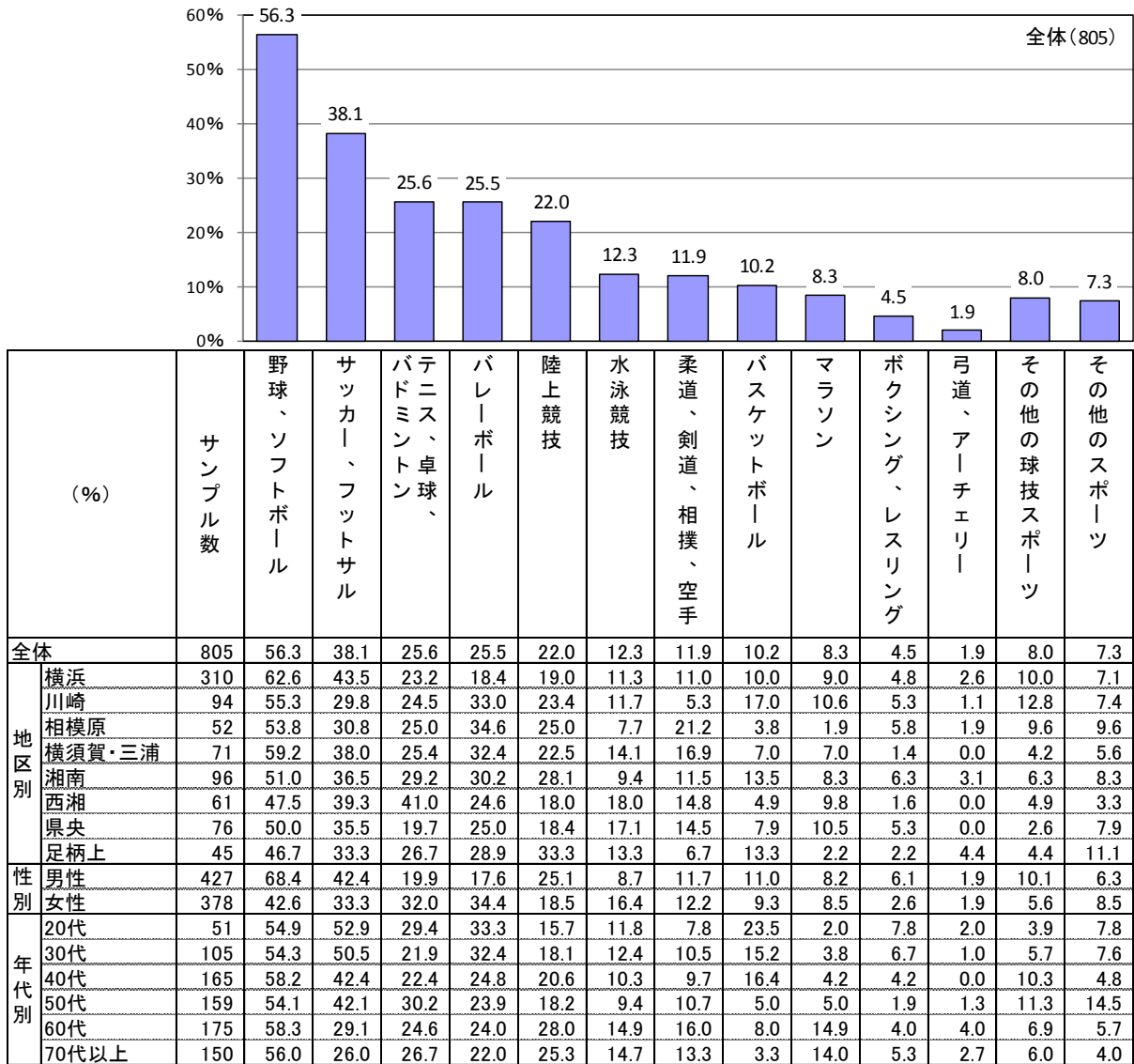
《属性別集計結果》

地区別でみると、横浜地区は「野球、ソフトボール」(62.6%)、「サッカー、フットサル」(43.5%)、西湘地区は「テニス、卓球、バドミントン(車いすテニス、サウンドテーブルテニスなどを含む)」(41.0%)、足柄上地区は「陸上競技」(33.3%)が、他の地区に比べて高かった。

性別でみると、「野球、ソフトボール」は男性(68.4%)が、女性に比べて高かった。「バレーボール(シットティングバレーボールなどを含む)」は女性(34.4%)が、男性に比べて高かった。

年代別でみると、「サッカー、フットサル(ブラインドサッカーなどを含む)」や「バレーボール(シットティングバレーボールなどを含む)」、「バスケボール(車いすバケットボールなどを含む)」は20代で最も高かった。また、40代は「野球、ソフトボール」(58.2%)、60代は「陸上競技」(28.0%)が、他の年代に比べて高かった。

【図表5-13：希望するスポーツ観戦競技／複数回答（3つまで）】



なお、「その他のスポーツ（種目名）」への回答は、次の通りであった（代表的回答例）。

- ・ フィギアスケート
- ・ ゴルフ
- ・ 箱根駅伝など
- ・ スケート

(5) スポーツに関するボランティア活動について

※平成18年度調査より実施

ア スポーツに関するボランティア活動経験

問14(1) この1年間にスポーツの指導や、イベントへの協力などスポーツに関するボランティア活動を行いましたか。

1 行った →問14(2)(3)へ 2 行わなかった →問14(3)へ

《全体集計結果》

全員に、この1年間のスポーツに関するボランティア活動についての経験をたずねたところ、「行った」は4.4%で、「行わなかった」は89.2%であった。

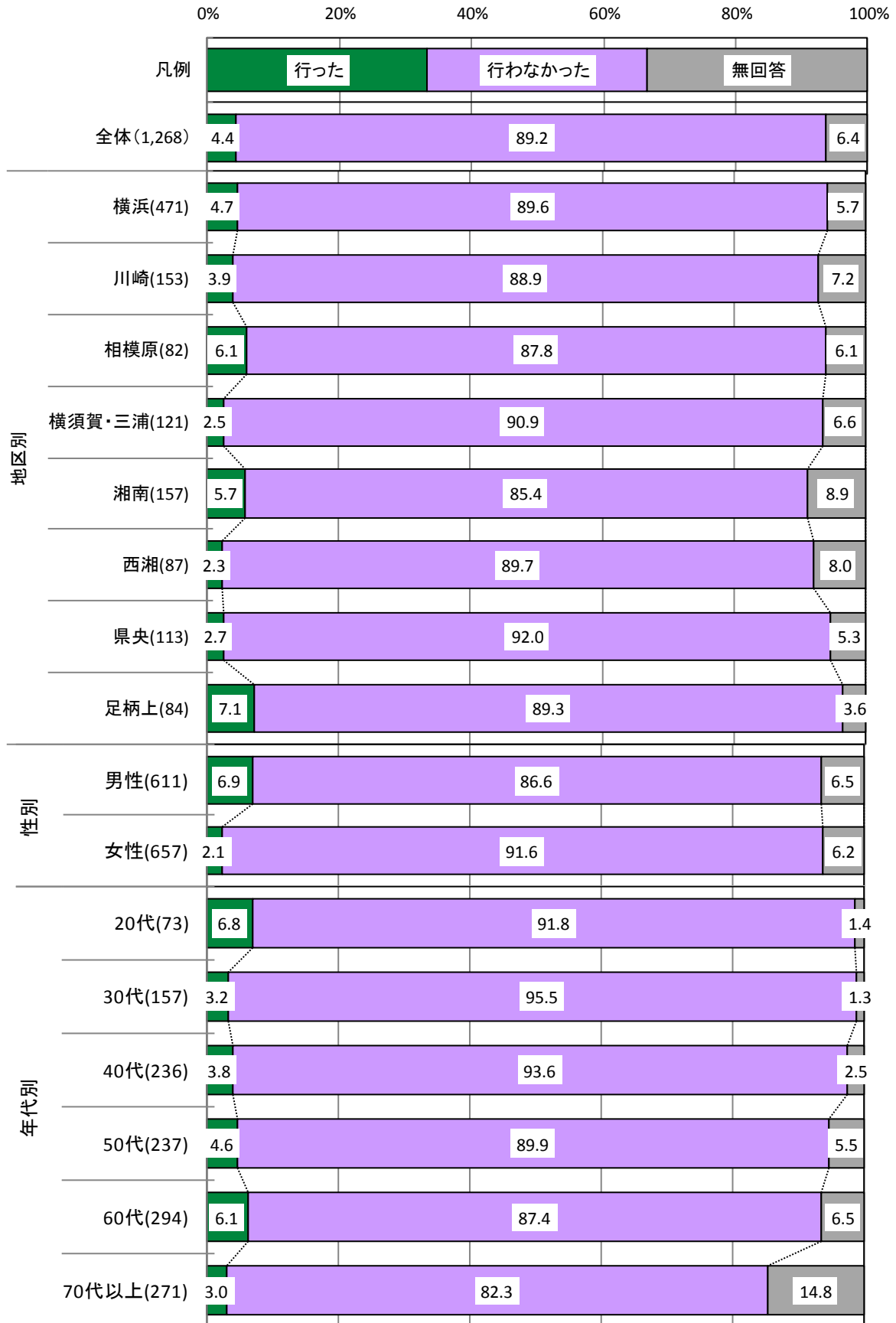
《属性別集計結果》

地区別でみると、「行った」は足柄上地区(7.1%)で最も高かった。

性別でみると、「行った」は男性(6.9%)が女性に比べて高かった。

年代別でみると、「行った」は、20代(6.8%)、60代(6.1%)が他の年代に比べて高かった。

【図表5-14：スポーツに関するボランティア活動経験／単一回答】



イ スポーツに関するボランティア活動の内容

問14(2) 行ったボランティア活動はどのようなものですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

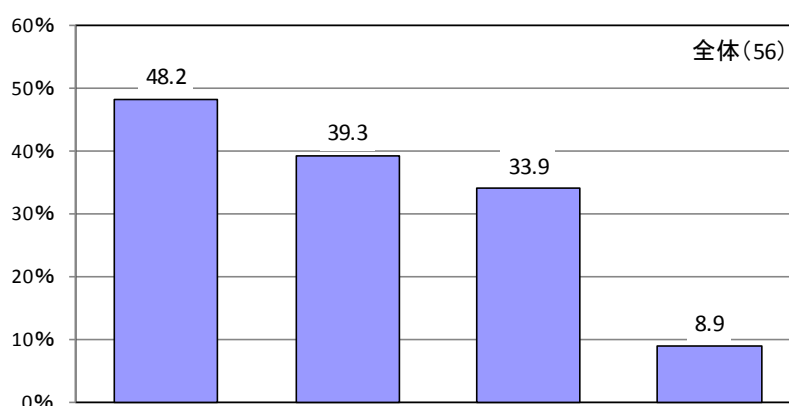
- 1 スポーツの指導
- 2 競技団体、自治会、クラブの役員などスポーツ活動の運営
- 3 スポーツ大会やスポーツイベントなどでのボランティア活動
- 4 その他 ()

《全体集計結果》

[問14(1)]で1と答えた人(56人)に、この1年間に行ったスポーツに関するボランティア活動の内容についてたずねたところ、「スポーツ大会やスポーツイベントなどでのボランティア活動」(48.2%)が最も高く、次いで「競技団体、自治会、クラブの役員などスポーツ活動の運営」(39.3%)、「スポーツの指導」(33.9%)となった。

なお、属性別の結果のコメントは、回答者数(56人)が少ないため記載せず、【図表5-15】の提示にとどめる。

【図表5-15：スポーツに関するボランティア活動の内容／複数回答】



(%)	サンプル数	スポーツのボランティア活動など	競技団体の役員など	スポーツの指導	その他	
全体	56	48.2	39.3	33.9	8.9	
地区別	横浜	22	45.5	36.4	36.4	4.5
	川崎	6	33.3	33.3	50.0	16.7
	相模原	5	20.0	40.0	20.0	40.0
	横須賀・三浦	3	100.0	33.3	0.0	0.0
	湘南	9	66.7	44.4	33.3	11.1
	西湘	2	100.0	0.0	0.0	0.0
	県央	3	33.3	66.7	66.7	0.0
	足柄上	6	33.3	50.0	33.3	0.0
性別	男性	42	50.0	33.3	40.5	9.5
	女性	14	42.9	57.1	14.3	7.1
年代別	20代	5	40.0	20.0	60.0	0.0
	30代	5	40.0	20.0	20.0	20.0
	40代	9	11.1	66.7	22.2	11.1
	50代	11	45.5	45.5	63.6	9.1
	60代	18	66.7	33.3	27.8	0.0
	70代以上	8	62.5	37.5	12.5	25.0

なお、「その他」への回答は、次の通りであった（代表的回答例）。

- ・ 同好会の手伝い
- ・ 少年野球のコーチ
- ・ 少年サッカーの審判

ウ スポーツに関するボランティア活動への今後の参加意向

問14（3） 今後、スポーツに関するボランティア活動を行いたいと思いますか。 1つだけ○をつけてください。

- | | |
|------------|-------------|
| 1 ぜひ行いたい | 3 あまり行いたくない |
| 2 できれば行いたい | 4 行うつもりはない |

《全体集計結果》

全員に、今後のスポーツに関するボランティア活動への参加意向をたずねたところ、《行いたい計（「ぜひ行いたい」＋「できれば行いたい」）》が22.2%、《行いたくない計（「あまり行いたくない」＋「行うつもりはない」）》は75.4%であった。

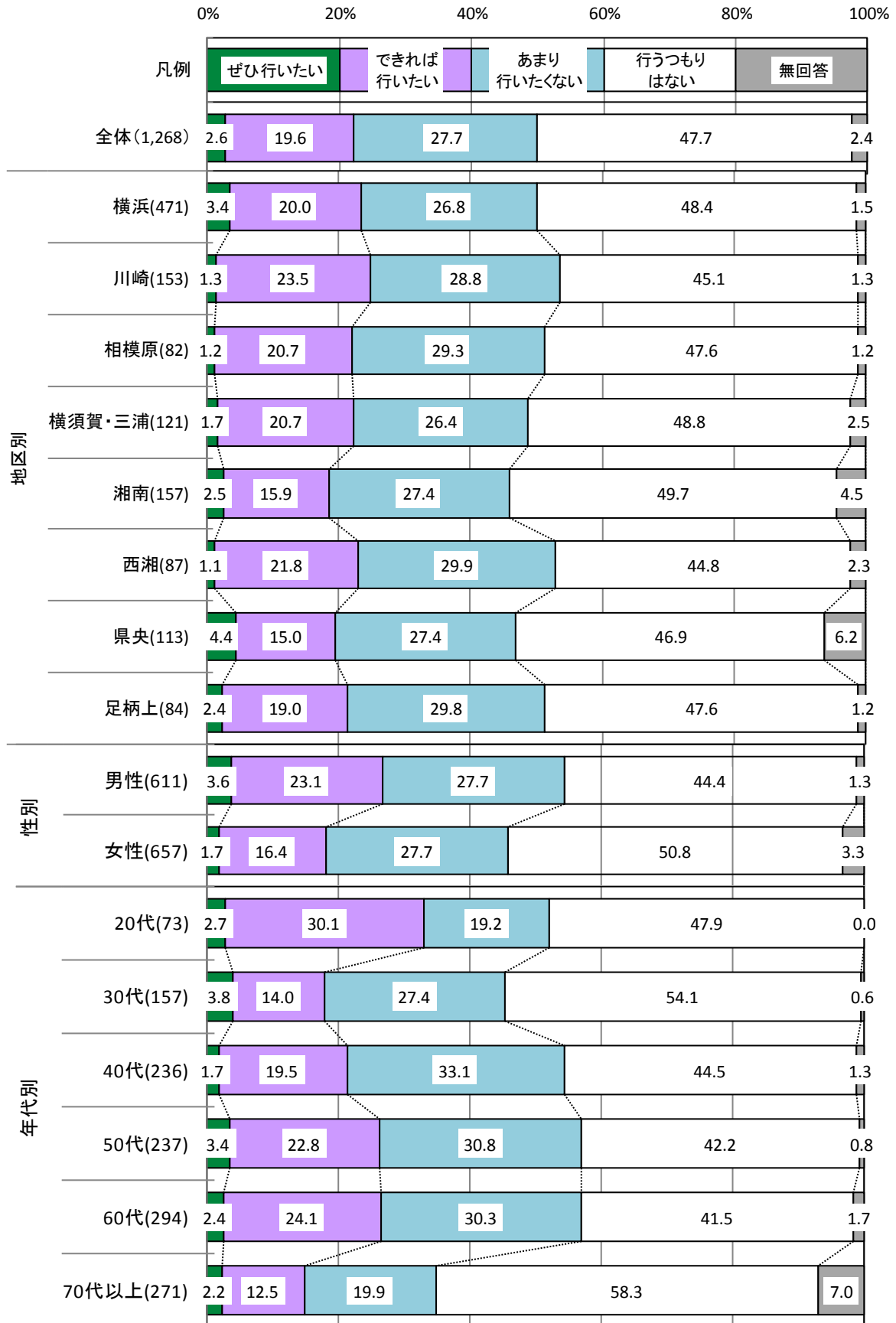
《属性別集計結果》

地区別でみると、《行いたい計》は川崎地区（24.8%）が最も高く、湘南地区（18.4%）が最も低かった。

性別でみると、《行いたい計》は男性（26.7%）が、女性に比べて高かった。

年代別でみると、《行いたい計》は20代（32.8%）で最も高く、70代以上（14.7%）で最も低かった。

【図表5-16：スポーツに関するボランティア活動への今後の参加意向／単一回答】



(6) 地域のスポーツ振興について

ア 地域のスポーツ振興に期待する効果

問15 (1) 自治会や町内会で行う地域のスポーツ振興にどのような効果を期待しますか。あてはまる番号に、3つまで○をつけてください。

- | | |
|----------------|---------------|
| 1 親子や家族の交流 | 7 地域の健康水準の改善 |
| 2 自由時間の有効活用 | 8 スポーツ施設の有効利用 |
| 3 地域のコミュニティの形成 | 9 その他 () |
| 4 世代間交流の促進 | 10 特になし |
| 5 青少年の健全育成 | 11 わからない |
| 6 生きがいづくり | |

《全体集計結果》

全員に、地域のスポーツ振興に期待する効果をたずねたところ、「地域のコミュニティの形成」(38.4%)が最も高く、次いで「世代間交流の促進」(24.1%)、「親子や家族の交流」(22.7%)、「生きがいづくり」(21.1%)となった。

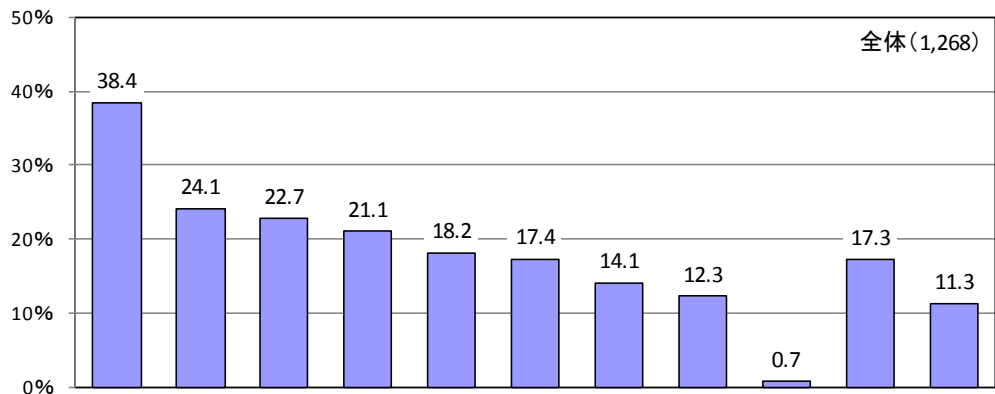
《属性別集計結果》

地区別でみると、湘南地区の「世代間交流の促進」(33.1%)、川崎地区の「親子や家族の交流」(30.1%)、足柄上地区の「青少年の健全育成」(23.8%)が、他の地区に比べて高かった。

性別でみると、「地域のコミュニティの形成」は男性(42.9%)が、女性に比べて高く、「生きがいづくり」は女性(23.0%)が、男性に比べて高かった。

年代別でみると、30代は「親子や家族の交流」(42.7%)、20代は「自由時間の有効活用」(24.7%)が、他の年代に比べて高く、70代以上は「スポーツ施設の有効利用」(8.5%)が他の年代に比べて低かった。また「生きがいづくり」は、60代まで年代が上がるにつれ高くなり、「親子や家族の交流」は30代が最も高く、以降年代が上がるにつれて低くなった。

【図表5-17：地域のスポーツ振興に期待する効果／複数回答（3つまで）】



(%)	サンプル数	地域のコミュニティの形成	世代間交流の促進	親子や家族の交流	生きがいづくり	スポーツ施設の有効利用	自由時間の有効活用	地域の健康水準の改善	青少年の健全育成	その他	特になし	わからない	
全体	1,268	38.4	24.1	22.7	21.1	18.2	17.4	14.1	12.3	0.7	17.3	11.3	
地区別	横浜	471	41.0	23.4	23.8	17.8	22.5	18.3	14.6	11.3	1.7	16.6	9.6
	川崎	153	35.3	26.1	30.1	16.3	17.6	18.3	12.4	10.5	0.0	17.6	13.7
	相模原	82	32.9	18.3	15.9	18.3	17.1	15.9	11.0	12.2	0.0	20.7	17.1
	横須賀・三浦	121	39.7	23.1	14.0	26.4	14.9	20.7	14.0	16.5	0.0	17.4	11.6
	湘南	157	40.8	33.1	24.2	27.4	17.2	16.6	14.0	10.8	0.0	13.4	10.2
	西湘	87	40.2	28.7	23.0	23.0	17.2	12.6	17.2	11.5	0.0	16.1	11.5
	県央	113	31.9	15.9	19.5	22.1	12.4	14.2	14.2	8.8	0.9	18.6	17.7
	足柄上	84	35.7	21.4	23.8	27.4	11.9	17.9	14.3	23.8	0.0	23.8	3.6
性別	男性	611	42.9	26.8	26.5	19.0	17.3	17.3	15.9	13.9	0.8	15.4	8.7
	女性	657	34.2	21.6	19.2	23.0	19.0	17.4	12.5	10.8	0.6	19.0	13.7
年代別	20代	73	39.7	27.4	24.7	19.2	23.3	24.7	12.3	16.4	0.0	8.2	16.4
	30代	157	43.3	25.5	42.7	12.7	20.4	15.9	12.7	15.9	1.3	10.2	8.3
	40代	236	35.2	20.8	31.8	15.3	24.2	16.5	13.6	14.8	0.4	17.4	9.3
	50代	237	42.6	28.3	21.9	19.0	21.9	16.0	15.2	11.0	1.3	14.3	11.0
	60代	294	40.8	26.5	14.6	27.2	17.0	18.7	13.6	9.5	0.0	18.7	10.9
	70代以上	271	31.7	19.2	12.2	26.6	8.5	16.6	15.5	11.1	1.1	24.7	14.0

なお、「その他」への回答は、次の通りであった（代表的回答例）。

- ・ 健康増進に役立つ
- ・ 高齢者の健康寿命に寄与する。
- ・ 防犯対策
- ・ 運営能力の育成、緊急時に役立つ

イ 県の取組みへの要望

問15 (2) スポーツ振興を図るために、県は今後どのような取組みをすべきだと思いますか。
あてはまる番号に、3つまで○をつけてください。

- 1 各種スポーツ行事・大会・教室の開催
- 2 地域のクラブやサークルの育成
- 3 総合型地域スポーツクラブの育成・支援
- 4 スポーツ指導者の養成
- 5 スポーツに関する広報活動
- 6 学校体育施設の開放・整備
- 7 各種スポーツ施設の整備
- 8 スポーツボランティアの支援
- 9 年齢や障害に応じたスポーツの開発・普及
- 10 公共スポーツ施設における健康・体力相談体制の整備
- 11 ジョギングなどができる道路整備
- 12 手軽にスポーツができる公園整備
- 13 ジュニアアスリートの発掘・育成
- 14 トップアスリートの育成
- 15 子どもの体力向上のための取組み
- 16 中高齢者の健康増進のための取組み
- 17 未病(※)を治すための取組み
- 18 その他 ()
- 19 特にない
- 20 わからない

※人の健康状態は、健康、病気と明確に区分するのではなく、健康と病気の間で連続的に変化しているものであり、その状態を「未病」といいます。

《全体集計結果》

全員に、スポーツ振興を図るための、県による今後の取組み内容についてたずねたところ、「手軽にスポーツができる公園整備」(29.1%)が最も高く、次いで「中高齢者の健康増進のための取組み」(28.2%)、「各種スポーツ施設の整備」(18.8%)となった。

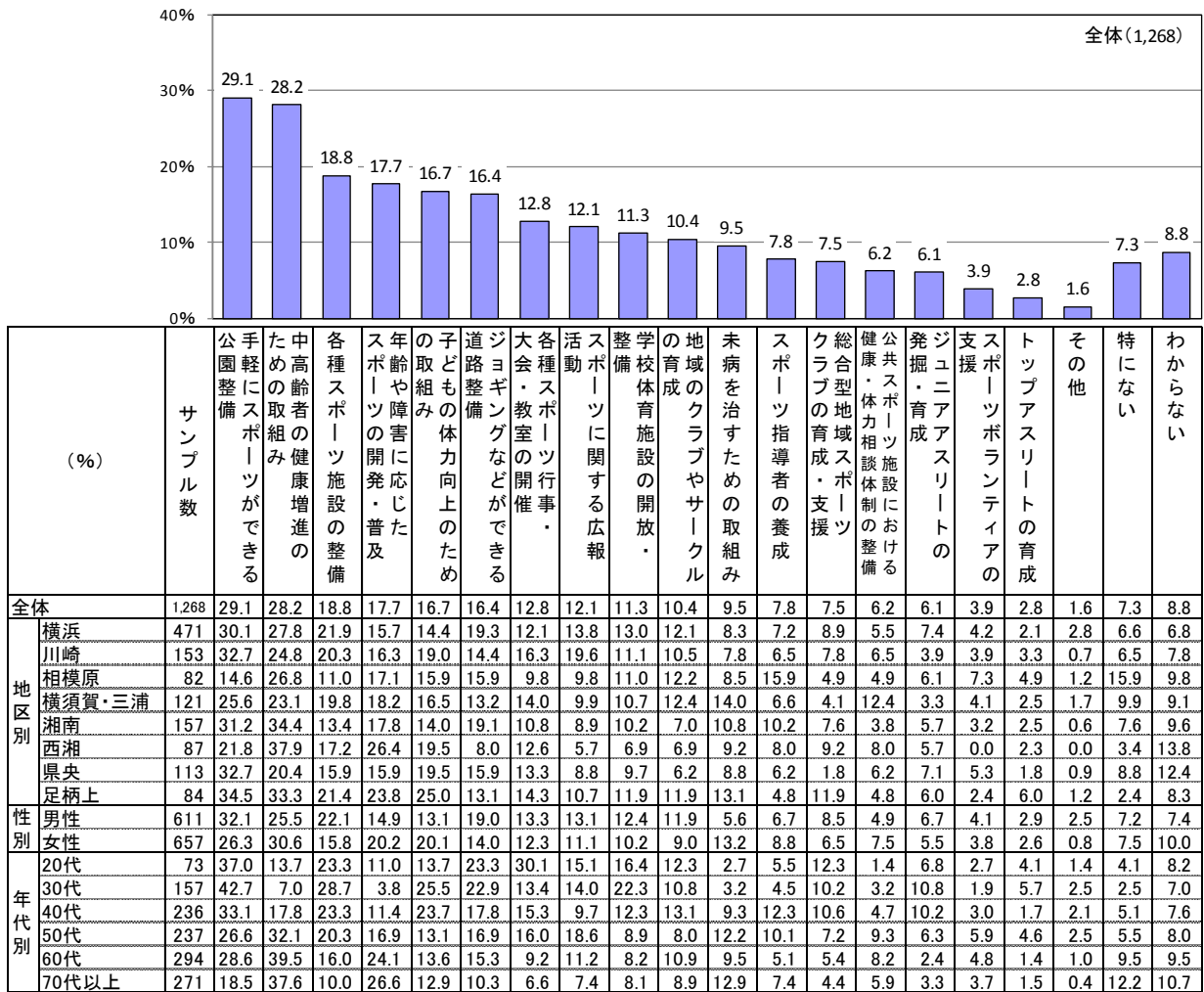
《属性別集計結果》

地区別でみると、西湘地区の「中高齢者の健康増進のための取組み」(37.9%)や「年齢や障害に応じたスポーツの開発・普及」(26.4%)が他の地区に比べて高かった。また、足柄上地区の「子どもの体力向上のための取組み」(25.0%)、川崎地区の「スポーツに関する広報活動」(19.6%)、相模原地区の「スポーツ指導者の養成」(15.9%)、横須賀・三浦地区の「公共スポーツ施設における健康・体力相談体制の整備」(12.4%)が、それぞれ他の地区に比べて高かった。

性別でみると、男性の「手軽にスポーツができる公園整備」(32.1%)や「各種スポーツ施設の整備」(22.1%)が女性に比べ高く、女性の「未病を治すための取組み」(13.2%)や「子どもの体力向上のための取組み」(20.1%)が男性に比べて高かった。

年代別でみると、20代の「各種スポーツ行事・大会・教室の開催」(30.1%)、30代の「手軽にスポーツができる公園整備」(42.7%)と「各種スポーツ施設の整備」(28.7%)と「学校体育施設の開放・整備」(22.3%)、40代の「スポーツ指導者の養成」(12.3%)、60代の「中高齢者の健康増進のための取組み」(39.5%)が、それぞれ他の年代に比べて高かった。

【図表5-18：県の取組みへの要望／複数回答（3つまで）】



(%)	サンプル数	公園整備	手軽にスポーツができる	中高齢者の健康増進のため	各種スポーツ施設の整備	年齢や障害に応じたスポーツの開発・普及	子どもの体力向上のため	道の整備	ジョギングなどができる	大会・教室の開催	各種スポーツ行事・活動	スポーツに関する広報	整備	学校体育施設の開放・	の育成	地域のクラブやサークル	未病を治すための取組み	スポーツ指導者の養成	クラブの育成・支援	総合型地域スポーツ	健康・体力相談体制の整備	公共スポーツ施設における	発掘・育成	ジュニアアスリートの	支援	スポーツボランティアの	トップアスリートの育成	その他	特にな	わからない		
全体	1,268	29.1	28.2	18.8	17.7	16.7	16.4	16.4	12.8	12.1	11.3	10.4	9.5	7.8	7.5	6.2	6.1	3.9	2.8	1.6	7.3	8.8										
地区別	横浜	471	30.1	27.8	21.9	15.7	14.4	19.3	12.1	13.8	13.0	12.1	8.3	7.2	8.9	5.5	7.4	4.2	2.1	2.8	6.6	6.8										
	川崎	153	32.7	24.8	20.3	16.3	19.0	14.4	16.3	19.6	11.1	10.5	7.8	6.5	7.8	6.5	3.9	3.9	3.3	0.7	6.5	7.8										
	相模原	82	14.6	26.8	11.0	17.1	15.9	15.9	9.8	9.8	11.0	12.2	8.5	15.9	4.9	4.9	6.1	7.3	4.9	1.2	15.9	9.8										
	横須賀・三浦	121	25.6	23.1	19.8	18.2	16.5	13.2	14.0	9.9	10.7	12.4	14.0	6.6	4.1	12.4	3.3	4.1	2.5	1.7	9.9	9.1										
	湘南	157	31.2	34.4	13.4	17.8	14.0	19.1	10.8	8.9	10.2	7.0	10.8	10.2	7.6	3.8	5.7	3.2	2.5	0.6	7.6	9.6										
	西湖	87	21.8	37.9	17.2	26.4	19.5	8.0	12.6	5.7	6.9	6.9	9.2	8.0	9.2	8.0	5.7	0.0	2.3	0.0	3.4	13.8										
	県央	113	32.7	20.4	15.9	15.9	19.5	15.9	13.3	8.8	9.7	6.2	8.8	6.2	1.8	6.2	7.1	5.3	1.8	0.9	8.8	12.4										
足柄上	84	34.5	33.3	21.4	23.8	25.0	13.1	14.3	10.7	11.9	11.9	13.1	4.8	11.9	4.8	6.0	2.4	6.0	1.2	2.4	8.3											
性別	男性	611	32.1	25.5	22.1	14.9	13.1	19.0	13.3	13.1	12.4	11.9	5.6	6.7	8.5	4.9	6.7	4.1	2.9	2.5	7.2	7.4										
	女性	657	26.3	30.6	15.8	20.2	20.1	14.0	12.3	11.1	10.2	9.0	13.2	8.8	6.5	7.5	5.5	3.8	2.6	0.8	7.5	10.0										
年代別	20代	73	37.0	13.7	23.3	11.0	13.7	23.3	30.1	15.1	16.4	12.3	2.7	5.5	12.3	1.4	6.8	2.7	4.1	1.4	4.1	8.2										
	30代	157	42.7	7.0	28.7	3.8	25.5	22.9	13.4	14.0	22.3	10.8	3.2	4.5	10.2	3.2	10.8	1.9	5.7	2.5	2.5	7.0										
	40代	236	33.1	17.8	23.3	11.4	23.7	17.8	15.3	9.7	12.3	13.1	9.3	12.3	10.6	4.7	10.2	3.0	1.7	2.1	5.1	7.6										
	50代	237	26.6	32.1	20.3	16.9	13.1	16.9	16.0	18.6	8.9	8.0	12.2	10.1	7.2	9.3	6.3	5.9	4.6	2.5	5.5	8.0										
	60代	294	28.6	39.5	16.0	24.1	13.6	15.3	9.2	11.2	8.2	10.9	9.5	5.1	5.4	8.2	2.4	4.8	1.4	1.0	9.5	9.5										
	70代以上	271	18.5	37.6	10.0	26.6	12.9	10.3	6.6	7.4	8.1	8.9	12.9	7.4	4.4	5.9	3.3	3.7	1.5	0.4	12.2	10.7										

なお、「その他」への回答は、次の通りであった（代表的回答例）。

- ・ サイクリングロード、自転車専用道の整備／運動が苦手な子供に対応できる教員の養成
- ・ スポーツに対して、身近でない人にきっかけ作りや、スポーツの楽しさを伝えることが必要だと思います。
- ・ 個人が参加しやすい環境をととのえる、子供がいないと、地域的な集まりは参加しづらい

IV 資 料

アンケート調査票

県民の体力・スポーツに関する調査

< 調査へのご協力のお願い >

神奈川県では、県民の皆様のスポーツ活動を普及・推進するために、広く皆様のご意見・ご要望を把握し、今後のスポーツ政策の参考にさせていただくことを目的に本調査を実施することといたしました。

皆様には、お手数をおかけしますが、ご協力をお願いします。

なお、皆様のご回答は全て統計的に処理し、調査票にご記入いただいた内容を統計の目的以外には使用せず、個別に公表することはありません。

< ご記入にあたってのお願い >

- 回答は、あてはまる項目の番号を1つ選び○で囲んでください。
なお、該当するものを複数選ぶ場合、「3つまで」、「すべて」など、選択数が指定されているものがありますので、ご注意ください。
- 回答が「その他」になった場合には、()内に具体的な内容をご記入ください。
- 質問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、ことわり書きにご注意ください。
- ご記入がお済みになった調査票は、同封の返信用封筒に入れ切手を貼らずに、**平成27年9月14日(月)までに**、ご返送くださるようお願いいたします。

< 記入上の不明な点、調査についてのお問い合わせは、次までお願いいたします。 >

神奈川県立体育センター事業部指導研究課調査研究班

住所： 藤沢市善行7-1-2
電話： 0466(81)5612
担当： 八木岡、田所

URL：<http://www.pref.kanagawa.jp/div/4317/>

※調査についてのお問い合わせは、お電話等によりお問い合わせいただくか、上記URLの「県民の体力・スポーツに関する調査への問い合わせフォーム」よりお願いします。

神奈川県教育委員会教育局生涯学習部スポーツ課生涯スポーツグループ

住所： 横浜市中区日本大通33
電話： 045(210)8378
担当： 東、清水

I はじめに、あなたご自身についておたずねします。

問1

- (1) お住まいの、市町村名を記入してください。

市・町・村

- (2) 性別をおしえてください。

1 男性	2 女性
------	------

- (3) 年代をおしえてください。

1 20代	5 60代
2 30代	6 70代
3 40代	7 80代以上
4 50代	

II 次に、あなたの健康・体力観についておたずねします。

問2

- (1) ご自身の健康について、どう思いますか。1つだけQをつけてください。

1 大いに健康である	2 まあ健康である	3 健康でない	4 わからない
------------	-----------	---------	---------

- (2) ご自身の体力について、どう思いますか。1つだけQをつけてください。

1 自信がある	2 普通である	3 自信がない	4 わからない
---------	---------	---------	---------

- (3) 日頃、肉体的な疲労を感じますか。1つだけQをつけてください。

1 大いに感じる	2 少し感じる	3 感じない	4 わからない
----------	---------	--------	---------

- (4) 日頃、精神的な疲労、ストレスを感じますか。1つだけQをつけてください。

1 大いに感じる	2 少し感じる	3 感じない	4 わからない
----------	---------	--------	---------

- (5) 日頃、体力の衰えを感じますか。1つだけQをつけてください。

1 大いに感じる	2 少し感じる	3 感じない	4 わからない
----------	---------	--------	---------

- (6) 日頃、運動不足を感じますか。1つだけQをつけてください。

1 大いに感じる	2 少し感じる	3 感じない	4 わからない
----------	---------	--------	---------

- (7) ご自身は肥満であると思いますか。1つだけQをつけてください。

1 非常に思う	2 思う	3 思わない	4 わからない
---------	------	--------	---------

(8) 日頃、健康や体力に注意していますか。1つだけ○をつけてください。

- | | | | | |
|---|--------------|-------|---|--------|
| 1 | 注意している | _____ | → | 問2(9)へ |
| 2 | 少し(時々)注意している | _____ | | |
| 3 | 注意していない | _____ | → | 問3(1)へ |

(9) 日頃、健康や体力の維持増進のために、心掛けていることはありますか。あてはまる番号に、3つまで○をつけてください。

- 1 食生活に気をつける
- 2 睡眠や休養を十分にとる
- 3 運動やスポーツ(体操や散歩を含む)をする
- 4 日常生活でできるだけ身体活動の機会を増やす
(積極的に階段を利用する、車の利用を控え徒歩で移動するなど)
- 5 規則正しい生活をする
- 6 酒、たばこなどを控える
- 7 定期的に健康診断を受診する。
- 8 その他 [_____]
- 9 特にない
- 10 わからない

Ⅲ あなたの運動・スポーツの実施状況についておたずねします。

問3 この1年間で1日あたり30分^{*}以上行った運動・スポーツは何ですか。

(1) 楽しみや比較的軽い運動として行うスポーツ (2) 野外活動等 (3) 競技として行うスポーツに分けて、回答してください。

※1日30分とは、1回10分程度の運動を合計して30分でも構いません。

(1) 楽しみや比較的軽い運動として行うスポーツ
あてはまる番号に、3つまで○をつけてください。

- 1 軽い球技(キャッチボールなど)
- 2 体操(縄跳びを含む)
- 3 エアロビックダンス、ヨガ
- 4 ウォーキング(散歩などを含む)
- 5 フォークダンス(社交ダンス、民踊、車いすダンスなどを含む)
- 6 ボウリング
- 7 ゲートボール、グラウンド・ゴルフ
- 8 ジョギング
- 9 軽い水泳(水中ウォーキングなどを含む)
- 10 室内運動器具(ダンベル、チューブなど)を使ってする運動
- 11 その他の軽い運動やスポーツ [種目名 _____]
- 12 していない

(2) 野外活動等

あてはまる番号に、3つまで○をつけてください。

- | | |
|---------------------------|----------------------|
| 1 スキー、スノーボード | 8 ハンググライダーなどのスカイスポーツ |
| 2 海水浴（遊泳） | 9 サイクリング |
| 3 スケート | 10 釣り |
| 4 登山、ハイキング | 11 その他の野外活動等 |
| 5 キャンプ | 〔 種目名 〕 |
| 6 ヨット、サーフィンなどの
マリンスポーツ | |
| 7 ゴルフ | 12 していない |

(3) 競技として行うスポーツ

あてはまる番号に、3つまで○をつけてください。

- | | |
|----------------------------------|---|
| 1 陸上競技 | 10 テニス、卓球、バドミントン
(車いすテニス、サウンドテーブル
テニスなどを含む) |
| 2 マラソン | 11 バasketボール
(車いすBasketボールなどを含む) |
| 3 水泳競技 | 12 その他の球技スポーツ
(ラグビー、ハンドボールなど) |
| 4 柔道、剣道、相撲、空手 | 13 その他のスポーツ
〔 種目名 〕 |
| 5 ボクシング、レスリング | 〔 種目名 〕 |
| 6 弓道、アーチェリー | |
| 7 野球、ソフトボール | 14 していない |
| 8 サッカー、フットサル
(ブラインドサッカーなどを含む) | |
| 9 バレーボール
(シットイングバレーボールなどを含む) | |

問3 (1) (2) (3) で、いずれかの運動・スポーツを行った方 → 問3 (4) (5) (6)へ
問3 (1) (2) (3) で、すべてに「していない」と答えた方 → 問3 (7)へ

(4) この1年間で1日に30分[※]以上運動・スポーツを、どの程度行いましたか。

あてはまる番号に、1つだけ○をつけてください。

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1 週に3日以上 (151日以上) | 5 3か月に1～2日程度 (4～11日) |
| 2 週に2日程度 (101日～150日) | 6 1～3日程度 |
| 3 週に1日程度 (51日～100日) | 7 わからない |
| 4 月に1～3日程度 (12日～50日) | |

※1日30分とは、1回10分程度の運動を合計して30分でも構いません。

(5) この1年間で運動・スポーツをした理由は何ですか。あてはまる番号に、3つまでQをつけてください。

- | | |
|--------------------|----------------|
| 1 健康・体力づくりのため | 7 友人、仲間との交流のため |
| 2 楽しみ、気晴らしのため | 8 美容や肥満解消のため |
| 3 運動不足の解消のため | 9 その他 () |
| 4 精神の修養や訓練のため | |
| 5 自己の記録や能力を向上させるため | |
| 6 家族の触れ合いのため | 10 わからない |

(6) 運動・スポーツをしてどんな効果がありましたか。あてはまる番号に、3つまでQをつけてください。

- | | |
|---------------|--------------|
| 1 健康・体力づくり | 7 友人、仲間との交流 |
| 2 楽しみ、気晴らし | 8 美容や肥満解消 |
| 3 運動不足の解消 | 9 その他 () |
| 4 精神の修養や訓練 | |
| 5 自己の記録や能力の向上 | 10 わからない |
| 6 家族の触れ合い | 11 特に効果はなかった |

(7) この1年間で運動やスポーツをしなかった理由は何ですか。あてはまる番号に、3つまでQをつけてください。

- | | |
|----------------------------|------------------|
| 1 仕事（家事・育児を含む）が忙しくて時間がないから | 8 補助者・介助者がいないから |
| 2 体が弱いから | 9 金がかかるから |
| 3 年をとったから | 10 運動・スポーツは嫌いだから |
| 4 場所や施設がないから | 11 機会がなかったから |
| 5 施設が利用しづらいか | 12 その他 () |
| 6 仲間がいないから | |
| 7 指導者がいないから | 13 わからない |

問4 運動・スポーツについてどのようにお考えですか。あてはまる番号に、1つだけQをつけてください。

- | |
|----------------------------|
| 1 運動・スポーツを十分に行っており、満足している |
| 2 運動・スポーツを行ってはいるが、もっと行いたい |
| 3 運動・スポーツを行いたいと思っはいるが、できない |
| 4 運動・スポーツに関心がない |

問5 あなたが、今後（も）行いたい（行ってみたい）運動・スポーツには何がありますか。

（1）楽しみや比較的軽い運動として行うスポーツ （2）野外活動等 （3）競技として行うスポーツに分けて、回答してください。

（1）楽しみや比較的軽い運動として行うスポーツ

あてはまる番号に、3つまで○をつけてください。

- | | | | |
|---|---------------------------------------|---------|---------------------------------|
| 1 | 軽い球技（キャッチボールなど） | 7 | ゲートボール、グラウンド・ゴルフ |
| 2 | 体操（縄跳びを含む） | 8 | ジョギング |
| 3 | エアロビックダンス、ヨガ | 9 | 軽い水泳（水中ウォーキングなどを含む） |
| 4 | ウォーキング（散歩などを含む） | 10 | 室内運動器具（ダンベル、チューブなど）
を使ってする運動 |
| 5 | フォークダンス
（社交ダンス、民踊、
車いすダンスなどを含む） | 11 | その他の軽い運動やスポーツ |
| 6 | ボウリング | 〔 種目名 〕 | |
| | | | |
| | | 12 | 比較的軽い運動・スポーツには関心がない |

（2）野外活動等

あてはまる番号に、3つまで○をつけてください。

- | | | | |
|---|-------------------------|---------|--------------------|
| 1 | スキー、スノーボード | 7 | ゴルフ |
| 2 | 海水浴（遊泳） | 8 | ハンググライダーなどのスカイスポーツ |
| 3 | スケート | 9 | サイクリング |
| 4 | 登山、ハイキング | 10 | 釣り |
| 5 | キャンプ | 11 | その他の野外活動等 |
| 6 | ヨット、サーフィンなどの
マリンスポーツ | 〔 種目名 〕 | |
| | | | |
| | | 12 | 野外活動等には関心がない |

（3）競技として行うスポーツ

あてはまる番号に、3つまで○をつけてください。

- | | | | |
|---|-----------------------------------|---------|--|
| 1 | 陸上競技 | 10 | テニス、卓球、バドミントン
（車いすテニス、サウンドテーブル
テニスなどを含む） |
| 2 | マラソン | 11 | バスケットボール
（車いすバスケットボールなどを含む） |
| 3 | 水泳競技 | 12 | その他の球技スポーツ
（ラグビー、ハンドボールなど） |
| 4 | 柔道、剣道、相撲、空手 | 13 | その他のスポーツ |
| 5 | ボクシング、レスリング | 〔 種目名 〕 | |
| 6 | 弓道、アーチェリー | | |
| 7 | 野球、ソフトボール | | |
| 8 | サッカー、フットサル
（ブラインドサッカーなどを含む） | 14 | 競技として行うスポーツには関心がない |
| 9 | バレーボール
（シットイング
バレーボールなどを含む） | | |

IV あなたが住んでいる市町村のスポーツ施設について、おたずねします。

問 6

- (1) 公立スポーツ施設（体育館、グラウンド、プール、テニスコート等）の設置状況はどうですか。あてはまる番号に、1つだけ○をつけてください。

- 1 十分整備されている
- 2 施設の数はあるが、整備内容が不十分
- 3 施設の数が少ないが、整備内容は十分
- 4 施設の数も整備内容も不十分
- 5 その他 []
- 6 わからない

- (2) 公立スポーツ施設（体育館、グラウンド、プール、テニスコート等）に対して要望等がありますか。あてはまる番号に、3つまで○をつけてください。

- 1 施設数の増加
- 2 指導者の配置
- 3 専門的なスタッフの配置
- 4 初心者向けのスポーツ教室やスポーツ行事の充実
- 5 利用手続き、料金支払い方法の簡略化
- 6 利用時間帯の拡大（早朝、夜間など）
- 7 利用案内など広報の充実
- 8 アフタースポーツのための施設（レストランなど）の充実
- 9 高齢者や障害者が利用しやすい施設・設備の整備
- 10 健康やスポーツに関する情報の充実
- 11 託児施設の充実
- 12 駐車場の整備
- 13 その他 []
- 14 わからない

- (3) この1年間で、学校の体育施設（運動場、体育館、プールなど）を、運動やスポーツの目的のために利用しましたか。（学校主催による運動会等への参加は除きます）

1 利用した → 問6 (5)へ 2 利用しなかった → 問6 (4)(5)へ

- (4) 利用しなかった理由は何ですか。あてはまる番号に、3つまで○をつけてください。

- 1 運動やスポーツに関心がないから
- 2 近くの学校体育施設は一般には開放していないから
- 3 利用できることを知らなかったから
- 4 施設・設備が良くないから
- 5 多目的トイレや更衣室など必要な施設・設備がないから
- 6 個人単位では、利用ができないから
- 7 時間帯が限られており、利用したいときにできないから
- 8 利用手続きが面倒だから
- 9 アフタースポーツのための施設(レストラン等)がないから
- 10 特にない
- 11 その他 []

(5) 今後、設置を希望する公共のスポーツ施設は何ですか。あてはまる番号に、3つまで○をつけてください。

1	屋内プール	11	柔・剣道場
2	屋外プール	12	弓道場
3	体育館	13	漕艇場・カヌー場
4	多目的運動広場	14	射撃場
5	陸上競技場	15	卓球場
6	野球場（ソフトボール場）	16	スケート場
7	テニスコート	17	キャンプ場
8	トレーニング場	18	フットサル場
9	サッカー・ラグビー場	19	その他〔
10	ゴルフ場	20	特にない

V 県のスポーツ施策についておたずねします。

問7 「総合型地域スポーツクラブ」※について知っていますか。1つだけ○をつけてください。

1	仕組みや特徴も含め、よく知っている
2	県内や地域に総合型地域スポーツクラブがあることは知っている
3	総合型地域スポーツクラブという言葉聞いたことがある
4	知らない

※「総合型地域スポーツクラブ」とは、地域住民が主体となって運営する多種目・多世代・多志向型のスポーツクラブのことを指します。

問8

(1) 「3033(サンマルサンサン)運動」※について知っていますか。1つだけ○をつけてください。

1	内容や効果について、よく知っている
2	「3033運動」という言葉の意味を知っている
3	「3033運動」という言葉は聞いたことはある
4	知らない → 問9(1)へ

※ 1日30分、週3回、3ヶ月間継続して運動やスポーツを行い、運動やスポーツをくらしの一部として習慣化することを、「3033(サンマルサンサン)運動」といいます。

(2) 「3033(サンマルサンサン)運動」を実践していますか。1つだけ○をつけてください。

1	実践している
2	実践していないが、これから実践したい
3	実践していないし、これからも実践するつもりはない

問9

(1) 「県民スポーツ週間」について知っていますか。1つだけ○をつけてください。

1	時期や内容について、よく知っている
2	「県民スポーツ週間」という言葉は知っている(聞いたことはある)
3	知らない → 問10へ

(2) 「県民スポーツ週間」のイベントに参加しましたか。

1	参加した
2	参加していない → 問10へ

(3) どのイベントに参加しましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1	県立体育センターでのイベント
2	西湘地区体育センターでのイベント
3	県立武道館でのイベント
4	市町村でのイベント
5	その他〔

VI あなたのスポーツ全般についてのご意見等をおたずねします。

問10 運動やスポーツに関する情報のうちどのような情報が欲しいと思いますか。あてはまる番号に、3つまで○をつけてください。

1	スポーツ行事やスポーツイベントの情報	
2	自分が参加できるスポーツ競技会の情報	
3	高齢者や障害者が参加しやすいイベントや教室の情報	
4	各種スポーツ教室の案内	
5	スポーツ施設の案内	
6	各種スポーツ指導者の紹介	
7	新しいスポーツ、気軽にできるスポーツなどの情報	
8	クラブ同好会などの活動案内	
9	健康・体力づくり情報	
10	スポーツに関する医学的・科学的情報	
11	その他	[]
12	特になし	

問11

(1) この1年間に県や市町村が主催するスポーツ行事に参加したことがありますか。
また、参加したスポーツ行事は何ですか。1つだけ○をつけてください。

1	参加した	
	→参加した行事	[]
2	見に行った	
	→見に行った行事	[]
3	参加しなかった	

(2) この1年間に県や市町村が主催するやスポーツ教室に参加したことがありますか。
また、参加したスポーツ種目は何か。

1	参加した	
	→参加した種目	[]
2	参加しなかった	

(3) 今後、県や市町村が主催するスポーツ行事やスポーツ教室に参加したいと思いますか。
また、どのようなスポーツ行事や教室に参加したいですか。1つだけ○をつけてください。

1	ぜひ参加したい	[] →	参加したい種目 []
2	できれば参加したい		
3	あまり参加したくない		
4	参加するつもりはない		

- (3) 今後、スポーツに関するボランティア活動を行いたいと思いますか。
1つだけ○をつけてください。

- | | | | |
|---|----------|---|-----------|
| 1 | ぜひ行いたい | 3 | あまり行いたくない |
| 2 | できれば行いたい | 4 | 行うつもりはない |

問15

- (1) 自治会や町内会で行う地域のスポーツ振興にどのような効果を期待しますか。あてはまる番号に、3つまで○をつけてください。

- | | | | |
|---|--------------|----|-------------|
| 1 | 親子や家族の交流 | 7 | 地域の健康水準の改善 |
| 2 | 自由時間の有効活用 | 8 | スポーツ施設の有効利用 |
| 3 | 地域のコミュニティの形成 | 9 | その他 [|
| 4 | 世代間交流の促進 | 10 | 特にな |
| 5 | 青少年の健全育成 | 11 | わからない |
| 6 | 生きがいづくり | | |

- (2) スポーツ振興を図るために、県は今後どのような取組みをすべきだと思いますか。あてはまる番号に、3つまで○をつけてください。

- | | |
|----|--------------------------|
| 1 | 各種スポーツ行事・大会・教室の開催 |
| 2 | 地域のクラブやサークルの育成 |
| 3 | 総合型地域スポーツクラブの育成・支援 |
| 4 | スポーツ指導者の養成 |
| 5 | スポーツに関する広報活動 |
| 6 | 学校体育施設の開放・整備 |
| 7 | 各種スポーツ施設の整備 |
| 8 | スポーツボランティアの支援 |
| 9 | 年齢や障害に応じたスポーツの開発・普及 |
| 10 | 公共スポーツ施設における健康・体力相談体制の整備 |
| 11 | ジョギングなどができる道路整備 |
| 12 | 手軽にスポーツができる公園整備 |
| 13 | ジュニアアスリートの発掘・育成 |
| 14 | トップアスリートの育成 |
| 15 | 子どもの体力向上のための取組み |
| 16 | 中高齢者の健康増進のための取組み |
| 17 | 未病(※)を治すための取組み |
| 18 | その他 [|
| 19 | 特にな |
| 20 | わからない |

※人の健康状態は、健康、病気と明確に区分するのではなく、健康と病気の間で連続的に変化しているものであり、その状態を「未病」といいます。

【本調査にご意見・ご要望がありましたらご自由にお書きください。】

質問は以上で終わりです。同封の封筒で切手を貼らずにお送りください。
いただいたご意見は、これからのスポーツ振興に役立ててまいります。
ご協力ありがとうございました。

誠に勝手ながら平成27年9月14日（月）までにご返送くださいますよう、
お願い申し上げます。

**県民の体力・スポーツに関する調査
結果報告書**

発 行 神奈川県立体育センター
〒251-0871 藤沢市善行7-1-2
電話 (0466) 81-2570

発 行 日 平成 28 (2016) 年 2 月



体育センター 電話(0466)81-2570 FAX(0466)83-4622
藤沢市善行7-1-2 〒251-0871



スポーツ振興くじ助成事業